

平成26年 (2014年)

久米島町議会会議録

第1回臨時会 (2月17日)	1日間
第2回定例会 (3月5日~25日)	21日間

久米島町議会

目 次

目 次	I
平成26年第1回久米島町議会臨時会会期日程	IV
平成26年第2回久米島町議会定例会会期日程	V
平成26年第2回定例会一般質問通告一覧表	VI

〈平成26年第1回久米島町議会臨時会（2月17日）〉

第1号（2月17日）

出席議員	1
議事日程第1号	2
開会	3
日程第1 会議録署名議員の指名	3
日程第2 会期の決定	3
日程第3 議案第1号 動産の買入について	3
日程第4 議案第2号 動産の買入について	5
日程第5 議案第3号 土地の取得について	6
日程第6 議案第4号 土地の取得について	9
閉会	10

〈平成26年第2回久米島町議会定例会（3月5日）〉

第1号（3月5日）

出席議員	13
議事日程第1号	14
開会	15
日程第1 会議録署名議員の指名	15
日程第2 会期の決定	15
日程第3 議長諸般の報告	15
日程第4 町長施政方針	15
日程第5 議案第5号 平成25年度久米島町一般会計補正予算(第6号)について	22
日程第6 議案第6号 平成25年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) について	31
日程第7 議案第7号 平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) について	33

日程第 8	議案第 9 号	平成25年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第 4 号） について	33
日程第 9	議案第 8 号	辺地に係る総合整備計画の一部変更について	35
日程第10	議案第15号	南部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務及び南部広域市 町村圏事務組合規約の変更について	36
日程第11	議案第16号	久米島町地域雇用創出推進基金条例の一部を改正する条例に ついて	37
日程第12	議案第17号	久米島町美ら島応援寄附条例について	38
日程第13	議案第18号	久米島町畜産担い手育成総合整備事業分担金徴収条例について	39
日程第14	議案第19号	久米島町火災予防条例の一部を改正する条例について	40
日程第15	議案第20号	久米島町消防手数料条例の一部を改正する条例について	41
日程第16	議案第21号	久米島町下水道条例の一部を改正する条例について	42
日程第17	議案第22号	久米島町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	43
日程第18	議案第23号	久米島町立学校給食センター条例の一部を改正する条例につ いて	44
日程第19	議案第24号	久米島町紬伝統工芸産業振興施設の指定管理者の指定について	45
日程第20	議案第25号	久米島町イーブ情報連絡施設の指定管理者の指定について	46
日程第21	議案第26号	久米島町高齢者コミュニティーセンター等の指定管理者の指定 について	46
日程第22	議案第27号	久米島町立学校施設使用条例の一部を改正する条例について	49
日程第23	議案第28号	町道の認定について	50
日程第24	議案第29号	町道の認定について	51
日程第25	議案第10号	平成26年度久米島町一般会計予算について	52
日程第26	議案第12号	平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算について	56
日程第27	議案第13号	平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算について	57
日程第28	議案第14号	平成26年度久米島町水道事業会計予算について	57
日程第29	議案第11号	平成26年度久米島町下水道事業特別会計予算について	58
	散会		60

〈平成26年第 2 回久米島町議会定例会（3月6日）〉

第 2 号（3月6日）

出席議員	63
議事日程第 2 号	64
開会	65
日程第 1 会議録署名議員の指名	65

日程第2	一般質問	65
	散会	125

〈平成26年第2回久米島町議会定例会（3月25日）〉

第3号（3月25日）

出席議員	127
議事日程第3号	128
開会	129
日程第1	会議録署名議員の指名 129
日程第2	議案第10号 平成26年度久米島町一般会計予算について 129
	議案第11号 平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算について
	議案第12号 平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算について
	議案第13号 平成26年度久米島町水道事業会計予算について
	議案第14号 平成26年度久米島町下水道事業特別会計予算について
日程第3	議案第30号 寄付により取得した土地の所有権確認に関する和解について 134
日程第4	同意第1号 教育委員会委員の任命について 135
日程第5	報告第1号 議員定数調査特別委員会報告について 136
閉会	138

平成26年第1回久米島町議会臨時会 会期日程

開 会 平成26年2月17日（月）
 閉 会 平成26年2月17日（月） 会期1日間

月 日	曜日	会議区分	開議時刻	摘 要
2月17日	月	本会議	午前10時00分	<ul style="list-style-type: none"> ○開会 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○議案審議 <ul style="list-style-type: none"> 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 ○閉会

平成26年第2回久米島町議会定例会 会期日程

開 会 平成26年3月5日（水）
 閉 会 平成26年3月25日（火） 会期21日間

月 日	曜日	会議別	開議時刻	摘 要																											
3月5日	水	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 会期の決定 ○ 議長諸般の報告 ○ 町長施政方針 ○ 議案審議 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>議案第5号</td> <td>議案第6号</td> <td>議案第7号</td> </tr> <tr> <td>議案第8号</td> <td>議案第9号</td> <td>議案第10号</td> </tr> <tr> <td>議案第11号</td> <td>議案第12号</td> <td>議案第13号</td> </tr> <tr> <td>議案第14号</td> <td>議案第15号</td> <td>議案第16号</td> </tr> <tr> <td>議案第17号</td> <td>議案第18号</td> <td>議案第19号</td> </tr> <tr> <td>議案第20号</td> <td>議案第21号</td> <td>議案第22号</td> </tr> <tr> <td>議案第23号</td> <td>議案第24号</td> <td>議案第25号</td> </tr> <tr> <td>議案第26号</td> <td>議案第27号</td> <td>議案第28号</td> </tr> <tr> <td>議案第29号</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ○ 散会 	議案第5号	議案第6号	議案第7号	議案第8号	議案第9号	議案第10号	議案第11号	議案第12号	議案第13号	議案第14号	議案第15号	議案第16号	議案第17号	議案第18号	議案第19号	議案第20号	議案第21号	議案第22号	議案第23号	議案第24号	議案第25号	議案第26号	議案第27号	議案第28号	議案第29号		
議案第5号	議案第6号	議案第7号																													
議案第8号	議案第9号	議案第10号																													
議案第11号	議案第12号	議案第13号																													
議案第14号	議案第15号	議案第16号																													
議案第17号	議案第18号	議案第19号																													
議案第20号	議案第21号	議案第22号																													
議案第23号	議案第24号	議案第25号																													
議案第26号	議案第27号	議案第28号																													
議案第29号																															
3月6日	木	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開議 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 一般質問 ○ 散会 																											
3月7日	金			予算審査特別委員会																											
3月8日	土	休 会																													
3月9日	日	休 会																													
3月10日	月			予算審査特別委員会																											
3月11日	火	休 会																													
3月12日	水	休 会																													
3月13日	木	休 会																													
3月14日	金	休 会																													
3月15日	土	休 会																													
3月16日	日	休 会																													
3月17日	月	休 会																													
3月18日	火	休 会																													
3月19日	水	休 会																													
3月20日	木	休 会																													
3月21日	金	休 会																													
3月22日	土	休 会																													
3月23日	日	休 会																													
3月24日	月	休 会																													
3月25日	火	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開議 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 議案審議 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>議案第10号</td> <td>議案第11号</td> <td>議案第12号</td> </tr> <tr> <td>議案第14号</td> <td>議案第30号</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同意第1号</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>報告第1号</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ○ 閉会 	議案第10号	議案第11号	議案第12号	議案第14号	議案第30号		同意第1号			報告第1号																	
議案第10号	議案第11号	議案第12号																													
議案第14号	議案第30号																														
同意第1号																															
報告第1号																															

平成26年第2回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	頁
1	幸地猛議員	1. 火葬場の建設について	65p～75p
		2. 橋梁の耐震構造検査について	
		3. 施政方針について	
2	仲村昌慧議員	1. 基地問題について	75p～83p
		2. パークゴルフについて	
		3. 綱曳きについて	
3	宇江原総清議員	1. 鳥島射爆撃場の早期返還について	83p～89p
		2. コンクリート護岸の撤去と潮害防備保安林の植栽について（河川等を含む）	
		3. 謝名堂・泊間の久米島一周線拡張工事の実施計画はどうなっているか	
4	玉城安雄議員	1. 26年度施政方針について	89p～99p
5	島袋完英議員	1. 観光・商工課の再配置について	99p～109p
		2. 具志川漁港の改良について	
		3. 県道イーフ線の改良工事について	
		4. 新庁舎建設について	
		5. 兼城港湾の整備について	
6	棚原哲也議員	1. 字真謝の旧仲原家の利活用について	109p～116p
		2. ハテノ浜、御願崎灯台設置場所及びトンバラ岩の帰属について	
		3. 町内の各漁港に放置されている廃船の処理について	
7	安村達明議員	1. アーラ林道の桜について	116p～125p
		2. 農業、畜産、漁業の専門的指導者について	
		3. 久米島高校の生徒募集について	

平成26年（2014）

第1回久米島町議会臨時会

1日目

2月17日

平成26年第1回久米島町議会臨時会

会議録 第1号

招集年月日	平成26年2月17日(月)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開閉会日時 及び宣言	開会	2月17日 午前10時00分	議長	喜久里 猛
	閉会	2月17日 午前10時37分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁 長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番		番	
会議録署名議員	1番	棚原 哲也	2番	幸地 猛
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲地 泰		
	係長	吉永 千枝美		
地方自治法第121条により説明のため議場に参加した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良 朝幸	教育課長		
副町長	大田 治雄	環境保全課長	佐久田 等	
教育長		建設課長		
総務課長	桃原 秀雄	産業振興課長		
町民課長		農業委員会事務局長		
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長		
税務課長		消防長		
福祉課長		行政改革推進室長	平田 明	
会計管理者				

平成26年 第1回久米島町議会臨時会

議事日程 [第1号]

平成26年2月17日(月)

午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名(久米島町議会会議規則第120条)	3 p
第2		会期の決定について	3 p
第3	議案第1号	動産の買入について	3 p
第4	議案第2号	動産の買入について	5 p
第5	議案第3号	土地の取得について	6 p
第6	議案第4号	土地の取得について	9 p
		閉会	10 p

(午前 10時00分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。これより本日の会議を開きます。本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、1番棚原哲也議員、2番幸地猛議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 喜久里猛

日程第2、会期の決定を議題といたします。お諮りします。

本臨時会の会期は、本日2月17日の1日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。従って、会期は本日の1日間に決定しました。

日程第3 動産の買入について

○ 議長 喜久里猛

日程第3 議案第1号、動産の買入についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

おはようございます。審議入る前にお詫び

を申し上げたいと思います。先ほど担当課よりご説明ありましたとおり、議案第3号、第4号については、今回の議案について金額については議会事項となりませんが、用地の取得、面積については5,000㎡を越すということで議会に提案する必要があるということで後ほど気づいて、そのために事後処理というかたちになりますが、事後処理については制度上大きな問題はありませんので、本議会に提案することになりました。誠に申し訳なく思っております。よろしくお願ひします。

それでは、議案第1号、動産の買入について、下記動産を買入することについて、地方自治法第96条第1項第8号の規定により議会の議決を求める。

記

1. 買入物件

漂着ごみ等改修運搬車両(2トン)ごみ収集塵芥車

2. 契約の相手方

住所 沖縄県浦添市牧港5丁目4番の7号
商号 いすゞ自動車九州株式会社沖縄支社
氏名 支社長 宇江城安孝

3. 契約の方法 指名競争入札

4. 買入価格 6,156,000円

平成26年2月17日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

動産の買入については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定に基づき議会の議決を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

次ページに売買契約書を添付しております。なお今回の入札については、4業者を指

名して、その内のいすゞ自動車さんが請負比率70.59%で落札しております。

先ほど申し上げたとおり、この内容については今申し上げたとおりでありますので、ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

ただいまのこの漂着ごみ改修運搬車両2トン車ですが、この金額について、例えば久米島在住の業者に委託するのとどっちがいいのかと、採算性についてどうなっているのか、ということは試算したことはあります？ これ買うわけでしょうね。ごみ塵芥収集車を買うと、買うのと久米島在住のそういった種の業者に委託するのとどっちがいいかということですよ。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 保全課長 佐久田等

今回のこの車両購入につきましては、一括交付金を導入しまして、次の議案の4トンのクレーン車とあと2トン車も同時に入札しました。その後に購入しました後は、私たち環境保全課の環境整備班の臨時職員がおりますので、海岸の漂着ごみの集中的な収集、そして県道、公共施設の環境美化、現在、不法投棄されたもののごみの回収と、その諸々に使用していきます。

あくまでも委託ではなくて、我々が県の一括交付金を導入して車を買って、自らそ

の作業を行うと。

現在、県の南部土木事務所、南部農林事務所におきましては、向こうも国の一括交付金を利用しまして、来る22、23の土、日から夕チジャミに流れ着いた漂着ごみをむこうはむこうでまた独自で回収する作業に入ります。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

言いたいのは、一括交付金であれ、税金なんです。そしたらこれを地元の業者に委託した方が安上がりであれば、一括交付金は別の事業に回してもいいんじゃないかということもあるわけですよ。そういうことは考えなかったのかということなんです。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 保全課長 佐久田等

委託の部分につきましては、県がその委託の事業を導入しまして回収することになっておりますので、町としましては、車両を購入して自分で頑張れる分は自分で回収し、車両を購入して事業を実施したいというふうに考えております。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

これはじゃあ、こういった塵芥等の収集については、県と町がダブルということになるわけですよ、ならないですか。そこを説明をもらいたい。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 保全課長 佐久田等

県は県の所管する農林海岸であれば農林と

海岸と土木事務所においては漁港関係とできるだけダブらないように、町は町が管理する海岸等ありますので、そういったダブらないような方法で、現在、調整しながら回収も行って、そして島内で各種ボランティアがけっこう漂着物を回収して、保全課に電話してどこどこに回収したごみを置いておきますから収集をお願いしますということで週に1回ぐらい電話来ますので、そういうものにもまた利用していきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

4番翁長学議員。

○ 4番 翁長学議員

納入期日がけっこう長い感じかしますが、この内容はどうなっていますか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 保全課長 佐久田等

2トンの塵芥収集車と4トンのクレーン車につきましては、発注後、受注生産になります。そして合わせてやはり東北の震災の関係で、需要がまだまだあるとそれでも約300日からそれ以上かかるということがありますので、目一杯の納期を設けまして早めに納めることができれば早めに納入するということで、調整しております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第1号、動産の買入についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第1号、動産の買入については原案のとおり可決されました。

日程第4 動産の買入について

○ 議長 喜久里猛

日程第4、議案第2号、動産の買入についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第2号、動産の買入について、下記の動産を買入することについて、地方自治法第96条第1項第8号の規定により議会の議決を求める。

記

1. 買入物件

漂着ごみ等改修運搬車両（クレーン付き4トン）ダンプ車

2. 契約の相手方

住所 沖縄県浦添市牧港5丁目4番の7号
商号 いすゞ自動車九州株式会社沖縄支社
支社長 宇江城安孝

3. 契約の方法 指名競争入札

4. 買入価格 7,884,000円

平成26年2月17日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

動産の買入については、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定に基づき議会の議決を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

次ページに契約証の写しを添付しております。なお今回は、先ほどの4社の指名をしております。そのうちの沖縄ふそう自動車さんが辞退して3社で入札しております。請負比率65.02%となっております。以上が第2号議案の内容となります。

ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第2号、動産の買入についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願ひします。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第2号、動産買入については原案のとおり可決されました。

日程第5 土地の取得について

○ 議長 喜久里猛

日程第5、議案第3号、土地の取得についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第3号、土地の取得について、球美の島緑化推進事業用地として、下記の土地を取得することについて、地方自治法第96条第1項の規定により議会の議決を求める。

記

1. 物件の所在地

久米島町字大田宇呂地1番地の23

2. 取得面積 6,418平方メートル

3. 取得予定価格 585万円

4. 契約の相手方

住所 久米島町字仲泊609番地

氏名 安里貞俊

平成26年2月17日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

球美の島緑化推進事業用地取得に供するため安里貞俊氏から用地を取得する必要があるため、久米島町議会の議決に付すべく契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

次ページに位置図、そして地籍図を添付しております。ご審議よろしくお願ひいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

この件については賛成ではあります。ただ、この種の事業というのは浦地川一帯を自然的な観光地とするために花木を適する河畔林、それを植栽するものを一括にイメージ図として配って、例えば景観条例、それのようにどこをどうするんだというようなかたちで構想をまとめてやって、その一部は、こうですよ、次はこうしますよというような段階的なものでやらないとつまり先を読めるような施策をしないと。ヒッチリビッチリやったら、この町民にとっても、どういうようなかたちで公図が造られているのか、全くわからないので他の関係課とフラット化して対応をしていただきたい、その注文だけです。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 保全課長 佐久田等

浦地川の河畔林のところまでこの事業が継続的に実施できるのであれば建設課とそのへんは調整して実施していきたいと思いますが現在の事業の実施箇所からすれば、そこまでの事業の予定はしていないものですから、今後建設課とどこまで調整して事業が進められるのかにつきましては、即答はできない部分もございますが、今後そういう事業がありましたら連携して進めていきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

この土地の購入について、そこにそういうのを造るのは良いと思うんですが、私はその前に場所的に、そこが本当に適地なのか、そ

れをよく吟味したのかどうかなんですね。例えば桜まつりやりました。何年か今年もやりましたけど、だるま山公園、そこではサクラはあるんだけども交通関係で危ないというようなことで、理由聞いたらそういうようなことでしたが、そこでは祭りじたいイベントはできないということで、ふれあい公園でやりましたよね。これ全国からも沖縄のサクラというのが注目されているんですが、祭りじたいイベントをサクラの無い所でやったというのは久米島だけじゃないかなと思うんですよ。全くサクラが1本もなくてね、そこで桜まつりやるということは、ちょっと考えられないと、これは島の人もそうだったし、そういう意見も言っていました。それから島外から来た人もめずらしいねというふうなことを言っていました。

私はそういうのも鑑みて登武那覇公園がありますよね。この方は何所から見ても丘が見えるんですよ。山城から過ぎて、謝名堂、泊までは、ですから一番景色も見晴らしも良い所なのでどうして、そこを緑化運動、花をいっぱいするようなことを考えなかったのかなと思うんですよ。私はだるま山公園もいいんですが、そういう花をやるんでしたら登武那覇公園入り口から頂上まで、そこをいっぱいにした方がかえって効果あるんじゃないかと思うんですけどどうですか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 保全課長 佐久田等

事業の場所につきましては、そこを選んだ経緯も現在、桜まつり確かにだるま山公園でしました。この事業を導入しまして、現在、用地を取得する場所にトイレや駐車場も大型

車両が入れる駐車場も整備していきます。そこでまず現在の桜まつりの会場としても利用できるように整備をしまして、そして今度クメノサクラやツツジ、ツバキが咲く頃にも、もう一度、花のカーニバルみたいに久米島でも1月後半から2月の下旬、クメノサクラが咲く頃にかけて、そういう花見が2回できるようなゾーニングをしようと思ひまして、そこに場所も設定して実施します。そしてクメノサクラが風にも台風等にも弱いというのがありますので、クメノサクラの造林としましては自衛隊へ上がる道路の左側の保安林に囲まれた風の当たらない場所にゾーニングをしまして、そこに現在、保全課が約3,000本近くクメノサクラの接ぎ木等をして確保しておりますので、そこに植栽をして花見のできるゾーニングの場所としては、そこがいんじゃないかということで用地も選定して事業を実施していく所存でございます。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

はい、わかりました。ただ、そこに花木を植えますが、あとの管理ですね、勿論ですけど、その花だけじゃなくて、そこは相当、周辺、防風林を植えないと結局、非常に難しいと思うんです管理がね。その防風林の計画があるのか、それとそこの管理は特別に専門の人も置くぐらいの考えがあるのかどうか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 保全課長 佐久田等

すぐ来年、再来年いきなりそれだけの物の花木も確保できませんので、やはり5、6年7、8年かけて保安林も育てながら事業導入

を考えております。そういう専門的な方々がないとなかなか難しい面もございますので、今、アドバイスを受けている北原農園の小橋川さんとかもいろいろアドバイスを受けて事業の導入も図っておりますので、また事業導入の平面図もカラーのがありますので、3月議会には、それをまたお配りして、ご理解を得たいと思ひます。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

ただいまの事業用地面図で、今回、取得予定用地の隣接する1-34とか1-36、こういう隣接する用地はもう取得済の町有地になっているのかどうか。

それと小さいのが2、3筆あるんですが、それも含めて町有地化されているのか。

また先ほど説明ありました左側の浦地川の南東側ですか、3-9ですか3-8ですか、三角になっている部分、そこについても同じように買い取り済なのか、お聞きしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 保全課長 佐久田等

まず最初に1-34につきましては、これも個人所有地でありまして、そこは山林となっております。当間さんという方の土地なんですが、そこも同時に取得しております。これはまた議会の議決に上程する金額や面積ではないために今回上げておりません。

そして3-8につきましては町有地、今回、議会に上程している2筆以外の大きい土地も山林で町有地となっております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第3号、土地の取得についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第3号、土地の取得については原案のとおり可決されました。

日程第6 土地の取得について

○ 議長 喜久里猛

日程第6、議案第4号、土地の取得についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第4号、土地の取得について、球美の島緑化推進事業用地として、下記の土地を取得することについて、地方自治法第96条第1項の規定により議会の議決を求める。

記

1. 物件の所在地

久米島町字大田宇呂地1番地の24

2. 取得面積 5,546平方メートル

3. 取得予定価格 506万円

4. 契約の相手方

住所 久米島町字大田247番地

氏名 新垣達雄

平成26年2月17日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

球美の島緑化推進事業用地取得に供するため新垣達雄氏から用地を取得する必要があるため、久米島町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

次ページに位置図、その次のページに黄色い色塗りされた箇所がこの該当する土地であります。ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

先ほどの3号議案も同じなんですけど、このヘーバー当たりの単価、これはどこが出したもののなのか、役場なのか、それとも県それともまたその地域のそのへんの相場なのか、場合によってはそれが遙かに高い値段であって側のまた農家の人たちにも影響がでるといふうなものになるものなんかどうかお聞きします。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 保全課長 佐久田等

県内の3不動産鑑定所に不動産鑑定の見積依頼をしまして、あおい不動産という不動産

鑑定所が落札しました。その不動産のそれに基づいた鑑定を貰っておりますのでそれに基づいて提示して契約をいたしました。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

へーべーあたり何円になるんですか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 保全課長 佐久田等

安里さんの土地につきましては、㎡当たり911円、下の新垣さんの土地につきましては㎡当たり912円となっております。

○ 議長 喜久里猛

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第4号、土地の取得についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第4号、土地の取得については原案のとおり可決されました。

○ 議長 喜久里猛

以上で本臨時会に付議されました事件は全て終了しました。

これで、平成26年第1回久米島町議会臨時会を閉会します。

お疲れ様でした。

(閉会 午前10時37分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号1番） 棚原 哲也

署名議員（議席番号2番） 幸地 猛

平成26年（2014年）

第2回久米島町議会定例会

1日目

3月5日

平成26年第2回久米島町議会定例会

会議録 第1号

招集年月日	平成26年3月5日（水曜日）			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	3月5日 午前10時14分	議長	喜久里 猛
	散会	3月5日 午後2時51分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	3番	平良 義徳	4番	翁長 学
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲地 泰		
	係長	吉永 千枝美		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良 朝幸	教育課長	保久村 学	
副町長	大田 治雄	環境保全課長	佐久田 等	
教育長	比嘉 隆	建設課長	真栄平 建正	
総務課長	桃原 秀雄	産業振興課長	仲村渠 一男	
町民課長	平良 朝幸	農業委員会事務局長	上江洲 勝志	
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長	津波 実	
税務課長	田端 智	消防長	上里 浩	
福祉課長	山城 保雄	行政改革推進室長	平田 明	
会計管理者	儀間 由紀			

平成26年 第2回久米島町議会定例会

議事日程〔第1号〕
平成26年3月5日(水)
午前10時14分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名(久米島町議会会議規則第120条)	15p
第2		会期の決定	15p
第3		議長諸般の報告	15p
第4		町長施政方針	15p
第5	議案第5号	平成25年度久米島町一般会計補正予算(第6号)について	22p
第6	議案第6号	平成25年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	31p
第7	議案第7号	平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	33p
第8	議案第9号	平成25年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	33p
第9	議案第8号	辺地に係る総合整備計画の一部変更について	35p
第10	議案第15号	南部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務及び南部広域市町村圏事務組合同規約の変更について	36p
第11	議案第16号	久米島町地域雇用創出推進基金条例の一部を改正する条例について	37p
第12	議案第17号	久米島町美ら島応援寄附条例について	38p
第13	議案第18号	久米島町畜産担い手育成総合整備事業分担金徴収条例について	39p
第14	議案第19号	久米島町火災予防条例の一部を改正する条例について	40p
第15	議案第20号	久米島町消防手数料条例の一部を改正する条例について	41p
第16	議案第21号	久米島町下水道条例の一部を改正する条例について	42p
第17	議案第22号	久米島町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	43p
第18	議案第23号	久米島町立学校給食センター条例の一部を改正する条例について	44p
第19	議案第24号	久米島町紬伝統工芸産業振興施設の指定管理者の指定について	45p
第20	議案第25号	久米島町イーブ情報連絡施設の指定管理者の指定について	46p
第21	議案第26号	久米島町高齢者コミュニティーセンター等の指定管理者の指定について	46p
第22	議案第27号	久米島町立学校施設使用条例の一部を改正する条例について	49p
第23	議案第28号	町道の認定について	50p
第24	議案第29号	町道の認定について	51p
第25	議案第10号	平成26年度久米島町一般会計予算について	52p
第26	議案第12号	平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算について	56p
第27	議案第13号	平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算について	57p
第28	議案第14号	平成26年度久米島町水道事業会計予算について	57p
第29	議案第11号	平成26年度久米島町下水道事業特別会計予算について	58p
		散会	60p

(午前 10時14分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。3月定例会の開会に先立ち一言ご挨拶申し上げます。

本定例会は町長の施政方針をはじめ平成26年度の当初予算を審議する重要な議会であります。

執行部におかれましては、議会運営及び議会審議が円滑に行われますよう、議案等の説明にあたっては関係資料等を十分準備して臨んでいただきたいと思います。

各議員におかれましては、本会議において十分審議を尽くされ適正妥当な議決に達せられますようお願い申し上げます。

ただいまから平成26年第2回久米島町議会定例会を開会します。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、3番平良義徳議員、4番翁長学議員を指名します。

日程第2 会期の決定

○ 議長 喜久里猛

日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日3月5日から3月25日までの21日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。従って、会期は本日3月5日から3月25日までの21日間に決定しました。

日程第3 議長諸般の報告

○ 議長 喜久里猛

日程第3、議長諸般の報告を行います。

平成25年12月19日から私が出席しました会議等の内容をお手元に配布してありますので、ご覧になっていただきたいと思います。

次に、地方自治法第235条の2第3項の規定により、例月現金出納検査の結果をお手元に配布してあります。朗読は省略します。

次に、町長から平成25年12月以降の町政一般報告書が別紙のとおりありましたので、お手元に配布してあります。朗読は省略いたします。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4 町長施政方針

○ 議長 喜久里猛

日程第4、これから町長の施政方針を行います。

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

おはようございます。私から平成26年度施政方針を述べたいと思います。

平成26年度施政方針

はじめに

平成26年3月議会の開会にあたり、町政運営に対する私の所信を申し上げます。

我が国の経済は、政府の金融緩和、財政出動及び公共工事などにより回復基調にあるとしています。本年4月の消費税増税後についても大型補正などにより景気が失速することのないよう国としての対策を打ち出していますが、政府の経済成長戦略対策を見極めつつ、本町独自の施策に反映させて、町の経済活性化につなげていくことが重要です。

沖縄県においても沖縄振興特別推進交付金制度がスタートして公共工事をはじめとするハード事業や各種産業施策に伴う事業発給が増加していることから景気回復基調が続いております。特に格安航空会社LCC就航の増加や大型クルーズ船の寄港回数増加で国内外から入域客が増加している観光産業の景況感がよくなっています。

しかし、普天間基地移設や尖閣諸島に関わる問題などで膠着した状況が続く中で、今後の展開によっては沖縄県の政治経済の先行きに不透明感が出ることも予測されます。

久米島町では、沖縄振興特別推進交付金を活用して農水産業、商工観光、建設部、福祉、教育分野などにおいて、これまでの制度的に困難であった事業に対する予算充当が可能になったことで、町内の景況感の改善につながることを期待されます。

しかし、町の主要財源となっている地方交付税は合併特例措置の10年間を経て終了し、平成25年度から5カ年で徐々に交付額が減少することから景況感の改善に努めるつつも地方税等の自主財源の確保をはじめ職員定数の見直し、事務事業の民営化、指定管理者制度への移行、事務事業の業務委託推進、公共施設の統廃合など効率的かつ効果的な財政運営に努めてまいります。

このような状況において、久米島町は地域の活力源となる人口の減少が続いていることから、新たな産業の創出による雇用の場の確保、子育てしやすい環境の創出が求められています。また、久米島の未来を担う人材の育成は最重要課題の一つであります。引き続き久米島高校の魅力化、その前提となる幼小中の学力向上など引き続き取り組まなければならない課題が山積しています。

新産業創出については、久米島の主要産業の1つに成長した海洋深層水関連産業を活性化させる大型プロジェクトに着手します。昨年6月に真謝地先で稼働した沖縄県の海洋温度差発電実証設備が国内外から注目される中、久米島町は国が国内の沿岸地域数カ所に設置を予定している「海洋エネルギー実証フィールド」について沖縄県と共同で設置を申請します。同フィールドは国内外の企業・大学などが海洋エネルギー分野の研究を行うための拠点となり、波及効果として海洋深層水の複合利用高度化にもつながり、新産業の創出が大きく期待できます。

また、国際的にも注目される研究により、海外との交流増加は久米島の産業を世界的にアピールできるチャンスであり、そのための体制づくりが急務となっております。

以上、産業創出に取り組みつつ、既存産業の発展、住民生活、教育、福祉分野について引き続き積極的な施策展開を図ってまいります。

1. 産業の振興

(1) 農業の振興

本町の基幹産業である農業は、農業従事者の高齢化に加え、担い手不足問題や円高による農業資材等の高騰などにより経営が圧迫さ

れ、たいへん厳しい状況にあります。

現状を打開するためには、国の農業政策である人・農地プランの積極的な活用により、担い手育成や農地集積を進めていくと同時に栽培技術や経営技術の改善向上など、関係機関との連携強化を図りながら取り組んでまいります。

また、地域で採れたものは地域で消費する地産地消運動を推進するため、農産物直売所を整備します。さらに循環型農業を目指し、堆肥センターの機構強化を図るため木材破碎機を導入します。

次に、個別政策について申し上げます。さとうきびについては、去年のイネヨトウの異常発生や大干ばつ等により、今製糖期においても平年を下回る見込みであり、大変厳しい状況にあります。

さとうきびの作付面積の減少や単収の減収がたいへん深刻な問題となっておりますが、今年度はさとうきび増産基金の活用により耕作放棄地の解消、肥培管理の徹底、病虫害防除、収穫体制の強化などにより生産拡大を図ってまいります。

野菜栽培については、生産拡大を図るため小規模ハウスを導入します。花卉については、安定的な出荷ができるよう集出荷場の冷蔵庫を整備します。また、海洋深層水の冷熱を利用した野菜栽培実証施設を整備し実証事業を行います。甘藷については、昨年アリモドキゾウムシが根絶され作付け面積が拡大しますので、安定的に出荷できるよう集出荷場に冷蔵庫を整備します。

畜産については、全国的に肉用牛取引価格も上昇傾向にあり明るい兆しが見えてきました。しかし、農家の高齢化などにより母牛頭

数が減少傾向にあります。今後とも関係者が連携をとりながら久米島をブランド牛としての定着が図られるよう、繁殖牛共済掛金助成事業、優良雌牛自家保留支援事業、優良雌牛導入支援事業などにより、畜産振興に取り組んでまいります。

また、「くめじま山羊活性化事業」により、久米島の山羊ブランド化に向けて取り組んでまいります。

(2) 漁業の振興

漁業については、日本と台湾の漁業協定により漁場が狭まれるなど、漁業取り巻く環境は厳しいものがありますが、農業とともに島の基幹産業であり、次の施策により漁業振興に取り組んでまいります。

パヤオ（浮魚蕉）漁業については、マグロなどの水産物が安定して水揚げできるよう中層浮魚礁を設置します。

モズク養殖については、安定的な出荷ができるようモズク加工場の技能強化を行います。

車エビ養殖についても、産地協議会を中心にPR活動を図りながら販路拡大に努めてまいります。

水産物の安定生産を図るためには、水産物保存施設や水産物加工施設の整備、直売所を整備します。

(3) 商工業の振興

長引く経済低迷の影響で簡単にものが売れない状況が長期にわたり久米島の商工業にも大きな打撃を与えており、その対策が最重要課題となっております。モノ余りの時代にモノを売るのは、全国で通用する魅力のある特産品をつくるのが重要です。久米島の素材を生かした特産品を開発し販売するため、久

米島特産品開発販売促進事業に商工会と連携して取り組んでまいります。

また、本町の有望な地域資源である海洋深層水関連の事業拡充を図るとともに全国の海洋深層水取水地域との連携を図り、海洋深層水全国展開事業を進めてまいります。

伝統織物工芸品は全国的な不況のあおりを受け販売不振が続いておりますが、今年度は久米島紬が国の無形文化財の指定を受けてから10周年を迎えます。これを機に久米島紬販売促進事業により東京で展示販売会を行うなど久米島紬を全国的にPRすることに、新商品開発や新たな販路開拓も視野に入れて、積極的な事業の展開を図ってまいります。

(4) 観光産業の振興

全国的な不況が続く中で起きた東日本大震災の影響などにより、平成22年度の缶購入域客9万1千544人から平成23年度は7万9千544人と激減し、観光関連産業が大きな打撃を受けましたが、平成24年度、平成25年度と順調に回復してきています。

離島である久米島のリーディング産業の役割を果たしている観光の低迷は、他の産業や久米島経済に大きな影響を及ぼします。このような状況を打開するため、久米島観光誘客促進事業や久米島観光受入体制整備事業など、観光協会との連携を図りながら各種イベントやプロモーションにより対策の強化を図ってまいります。

また、昨年、儀間嘉手苅地先に36ホールを有する本格的なパークゴルフ場がオープンしたことで、県内外から誘客促進を図ります。

さらに、久米島マラソン大会などのスポーツイベント、プロ野球キャンプや陸上競技等のスポーツ合宿、修学旅行生などを対象にし

た民泊事業、久米島町体験交流方観光商品開発販売事業により、新たに観光商品の開発に取り組みながら入域客の増を図ってまいります。

(5) 交通の確保

離島を結ぶ航路、航空路は住民の生活や地域経済にとって重要な交通手段であり、また都市圏との交流、物流、観光、産業活動に欠くことのできない重要な役割を果たしております。

航空路線については、安定的運航の確保と機材の大型化、またはジェット便の増便について航空会社や沖縄県に求めてまいります。

航路については、安定的運行の確保や運賃の低減を図るため離島航路運行安定支援事業によりリース船舶の買取の支援を沖縄県と連携して行います。

さらに、高速輸送時代に対応する高速船の導入についても関係機関と協議を重ね、輸送体制の拡充、利便性の向上について取り組んでまいります。

2. 教育の充実

(1) 学校教育・人材教育

人権尊重の精神を柱に久米島町の将来を担う子どもたちの健やかな成長を育むため、「知・徳・体」と調和のとれた子ども達の育成、特に学力向上推進を図り支援員の配置、塾の開設、各種検定補助を実施いたします。

また、自然、伝統文化など地域の豊かな教育資源の活用により、島に誇りをもてるよう子ども達の育成に努めてまいります。

学校教育においては、児童生徒一人ひとりに基礎的、基本的な知識、能力を確実に習得させるため、個に応じた指導の実施、目的意識を高める指導の方法の改善、充実を図るた

め、適切な教育課程の編成、実施に努めます。

4月開校の球美中学校につきましては、生徒の躍動感が感じられ、生徒、保護者から統廃合してよかったと評価されるよう、また、町雇用の教職員も1名配置し、学習環境の充実に努めてまいります。

また、なかさと交流、佐賀市との中学生交流・海外ホームステイ事業を継続実施し、児童生徒がリーダーとなれるよう支援を行うとともに、久米島高校から国立大学入学者への支援、久米島高校とハワイの高校との交流を支援し、子どもたちが視野を広げ将来の目的に向かって羽ばたいていけるよう人材育成基金を活用し拡充に努めます。

幼稚園においては、核家族化社会での保護者の多忙解消を図る観点から、保護者が安心して仕事に専念できるよう、園終了後、午後の預かり保育を実施します。また、将来において給食の提供等も検討しつつ、幼稚園の統廃合を推進します。

(2) 生涯学習の振興

進展する国際化、情報化、少子高齢化の中にあって多様化、高度化するニーズに応えられるよう生涯学習環境の整備が求められています。各種講座、講演会等を開催し心豊かな生涯学習社会の実現に取り組んでまいります。

(3) 文化の振興

琉球王朝や中国から文化の影響を受けて、今日に至るまで長い歴史をとおして発展してきた久米島の伝統文化を守り継承していくと同時に自然との調和がとれた新しい文化をつくる活動を積極的に展開し、文化薫る取り組みを図ってまいります。

文化振興の拠点となる久米島博物館につい

ては、行事、展示を中心に企画展、特別展、講演会、イベントを開催し、久米島の文化財、文化を発信し、来館者に好評を得られるよう引き続き運営に傾注してまいります。

また、ホテルの里、久米島ホテル館については、周辺地域の環境整備も図りながら、環境学習・自然学習の拠点としての確立に向け推進します。町内外より要望があります図書館建設については、建設検討委員会を設置し推進してまいります。

(4) 学校給食

学校給食につきましては、昨今の世界情勢の中、原油価格や食材価格の高騰により学校給食のまかない材料等に大きな影響がありますが、今後もおいしい給食、安心・安全な給食の提供に努めてまいります。給食センターも老朽化しているため、改築に向け調整を図ってまいります。

3. 福祉の充実

町民福祉につきましては、保健・医療・福祉サービスの連携による地域福祉の充実を図り、すべての町民が安心して健やかに暮らせる福祉のまちづくりに積極的に取り組んでまいります。

(1) 母子保健・児童福祉

乳幼児、児童生徒に対する各種予防接種、妊産婦から乳幼児までの健診、訪問指導等を実施し、妊産婦、乳幼児の健康管理や発達障害児の支援に努めてまいります。

また、近年は家族の形態も多様化し、支援の必要な家庭や児童虐待予防に取り組む必要があり、母子保健推進員や関係機関と連携し子育て支援に取り組んでまいります。

(2) 健康づくり

生活習慣からくる肥満に伴う糖尿病とその

予備群が受診者の約75%、心筋梗塞や脳梗塞を引き起こす動脈硬化の原因となる高LDLコレステロール値異常が約62%等、また、65歳未満者の死亡率が非常に高い等の町民の健康状態は非常に厳しい状況にあります。

そこで町民の健康意識の増勢と健康改善を推進するため、久米島町健康プロジェクトを充実させ、町民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図ってまいります。

(3) 高齢者福祉

高齢化率が約25%と超高齢化社会が到来し、独居老人や老人夫婦世帯の増加、また、介護を要する方や認知症の方等の高齢化の問題が重要な課題となっており、社会福祉協議会や介護事業所等の関係機関と連携し事業推進を図ってまいります。

高齢化対策事業として、配食サービス事業やふれあいコール事業を活用し、一人暮らし等高齢者世帯の安否確認を行い、高齢者の安心・安全の確保に努めてまいります。また、認知症者の見守り、支え合い体制づくりや、SOS徘徊ネットワーク構築等、認知症への理解と家族の支援を行ってまいります。

(4) 障害者福祉

障害者の閉じこもり対策として、居場所づくりや就労支援の場として地域活動支援センター「さくら」の機能強化を図ってまいります。また、就労以降については就労支援事業主と連携し、就労支援の推進を図ってまいります。

(5) 生活困窮者対策

本町においては生活困窮者が増加傾向にあり、その要因として生活習慣による健康悪化、高齢化、母子世帯の増加等様々な要因が挙げられます。また、親から子への生活困窮の連

鎖を防ぐため、家庭環境や生活環境の改善、母子家庭等の教育・就労支援の取り組みを行ってまいります。

4. 環境保全と地域美化

豊かな自然環境の中で、快適で潤いのある活気に満ちた生活を営むことは町民みんなの願いであり、そのための住みよい環境づくりは、行政に課せられた重要な責務であります。

(1) ゴミ対策

ゴミ排出量の推移は、可燃処理収集ゴミは減少傾向にあるものの、一般廃棄物については現代社会の生活形態が大量生産、大量消費、大量廃棄という浪費型の生活様式になり、排出されるゴミの量も年々増加しております。これからも廃棄物の減量化や適正処理及びゴミの不法投棄対策の監視及び回収等に努めてまいります。

(2) 環境美化・赤土流出防止

公共施設及び町道や公園、観光施設等の環境美化作業を継続し強化します。

緑化推進事業は、引き続き久米島に自生する花や花木等を保護増殖し、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備やアーラ及びだるま山を中心としたサクラの花見の名称づくりを実施します。

花の植栽については、NPO法人及び地域住民・ボランティア団体とも連携しながら緑と花を増やしてまいります。

また、赤土流出防止については、南部保健所などの関係機関と連携、協力し、引き続き監視体制及び指導の強化を行います。

5. 生活基盤の整備

町民の生活・福祉の向上及び産業振興の基盤となる町道、農道、漁港等の整備を積極的に進めると同時に、県で事業実施しておりま

す県道整備、港湾整備、河川整備、排水路整備、水質保全についても積極的に取り組んでまいります。

また、安心してつかえる水を確保、供給し、観光にも配慮した上下水道事業を推進してまいります。

(1) 町道整備

継続事業で進めている久米島縦断道路改修工事、大原河川道路改良工事及び銭田橋改修工事の早期完了に努めます。

老朽化が進んでいる道路につきましては、道路ストック総点検調査の継続実施により補修、改修の必要箇所を把握し、工事実施に向けて取り組んでまいります。また、未整備道路の整備にも鋭意取り組んでまいります。

(2) 農業基盤整備

中山間地域総合整備事業、農業基盤整備促進事業により、農道、排水路整備を継続して進めてまいります。

また、畑地かんがい施設の老朽化にともない施設の維持管理費が増大しており、その経費軽減、施設の長寿命化を図るため仲里中部地区において地域農業水利施設ストックマネージメント事業により設備更新を継続して取り組んでまいります。

(3) 漁港の整備

漁村地域整備交付金事業により鳥島漁港、儀間漁港において漁業従事者の安全確保と就労環境の改善を図るための除破堤等の整備を継続して取り組んでまいります。

また、漁港も老朽化が進んでいるため水産物供給基盤機能保全事業により補修改修に努めてまいります。

(4) 水道事業

平成25年度に山城浄水場系の儀間ダムが完

成し、安心・安全な水をより安定的に供給することが可能になりました。今後、老朽化した主要管路及び機器計装等の整備を計画的に進めていきます。

下水道事業について、イーフ・清水浄化センターの機能強化を図るため、長寿命化事業による自家発電設備等の改築工事を実施します。

委託関係については、銭田地区の実施設計、そして次年度以降の整備に向け儀間、嘉手苅、山城地区の基本設計を実施します。

また、未収金の解消については、相談員を配置し、引き続き取り組みの強化を図ってまいります。

6. 情報通信基盤整備

離島である久米島にとって情報通信基盤は、日常生活から教育・産業・福祉・防災などたいへん重要な役割を果たしています。インターネット基盤整備については、平成14年度にADSLサービスを皮切りに平成24年度に旧具志川村地区の光インターネットサービス提供に続き、25年度は旧仲里村地区についても一部サービスが供用されました。このようなブロードバンド回線の普及に併せて、総務省の地域ICT推進事業により整備した「公衆WiFi」網を今後、防災・福祉・観光など町民や観光客の安心・安全を図るツールとして積極的に活用を図ってまいります。

7. 消防・防災

平成23年の東日本大震災後、国民の防災意識が高まり、全国各地で防災のみならず減災に対する取り組みが積極的に行われております。

本町においても、久米島地域防災計画を定期的に見直し、各防災関係機関が連携して災

害に強い町づくりを目指します。

また、各種災害の予防と被害の軽減に努め、貴い人命や貴重な財産を守るため、日々の訓練の積み重ねをはじめ、消防力の「充実・強化」に取り組んでまいります。

(1) 消防力強化

広域災害時や消防救急業務に迅速かつ効率的に対応するため、県内各消防本部と共同で消防救急デジタル無線の整備を行います。

(2) 救急業務

救命率の向上、傷病者の負担軽減など質の高い救急医療を住民に提供するため、計画的に病院実習や追加講習を実施します。

また、応急手当の普及活動においても、実際に住民による応急手当の救命効果の事例が得られており、本年度も継続して応急手当普及啓発を推進します。

(3) 火災予防

平成23年6月に住宅用火災警報器の設置が義務づけられてから3年が経過しましたが、久米島町においては設置率が49%と止まっているのが現状であります。このようなことから住宅用火災警報器の設置推進強化を図り、町民を火災から守ると同時に久米島町から住宅火災を無くすよう努力してまいります。

また、地域の防災力を高めるために、消防団や自主防災組織及び女性消防クラブの育成強化を図り、「自分たちの地域は自分たちで守る」を基本に社会環境の変化に即した消防、防災体制の充実強化を図り、引き続き、災害に強い島づくりに取り組んでまいります。

よって、平成26年度予算案の総額は、次のとおりであります。

一 般 会 計 7,572,527千円
国民健康保険特別会計 1,247,505千円

後期高齢者医療特別会計 71,033千円
下水道事業特別会計 305,471千円
水道事業会計 304,645千円
合 計 9,501,181千円

以上、平成26年度の町政運営にあたり私の所信や予算案などについて述べてまいりました。厳しい社会情勢の中で、小さな島が生き抜くためには、町民の皆様とともに知恵を出し合い、協力しながら行う協働のまちづくりが求められます。

これからも子どもたちが明るく元気で、若者が将来に夢をもち、お年寄りが安心して暮らせるまちづくりに一生懸命取り組んでまいりますので、町民の皆さまと議員各位のご理解、ご協力をお願いして、私の施政方針いたします。

平成26年3月5日

久米島町長 平良朝幸

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで町長の施政方針を終わります。

日程第5 平成25年度久米島町一般会計補正予算(第6号)について

○ 議長 喜久里猛

日程第5、議案第5号、平成25年度久米島町一般会計補正予算についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

おはようございます。それでは、議案第5号、平成25年度久米島町一般会計補正予算(第6号)の概要についてご説明申し上げます。

予算書の1枚目ですが、平成25年度久米島町一般会計予算の補正予算（第6号）概要につきましては、歳入歳出をそれぞれ2億5千889万2千円を増額し、総額82億4千918万6千円といたします。

予算書の1ページになりますが、歳入歳出の主な内容についてご説明いたします。歳入につきましては、1款町税を810万8千円を減額としております。

続いて、第3款利子割交付金179万3千円を減額しております。

次に、6款地方消費税交付金は117万5千円の減額となっております。

続いて、7款自動車所得税交付金は269万5千円の増額となっております。

次に、9款地方交付税は普通交付税の追加交付により258万円を増額しております。

次に、13款国庫支出金では4千327万5千円の増額となっております。主な内容としまして、保育所運営負担金が359万6千円の減額。銭田橋整備事業にかかる国庫補助金が546万5千円の増額。仲里中学校9号棟改築事業に係る公立学校施設整備費国庫負担金が4千202万7千円の増額となっております。

続きまして、予算書の2ページに移ります。15款県支出金では1億4千230万円の増額となっております。主な内容としましては、沖縄振興特別調整交付金の県支援分が967万2千円の減額。震災等緊急雇用対応事業が215万8千円の減額。さとうきび安定生産確立対策事業が1千837万3千円の減額。農地集積協力金交付金事業が1千101万7千円の減額。仲里中学校9号棟改築事業への県補助金が1億9千199万5千円の増額となっております。

続いて、16款財産収入では326万8千円の増

額となっております。主な内容は、町有地の売り払い収入310万円と各種基金への利息収入が追加計上となっております。

次に、17款寄附金は670万円の増額となっております。主な内容は奨学金貸付基金への指定寄附332万円。ふるさと納税寄附金438万円となっております。

次に、18款繰入金は328万5千円の減額となっております。主なものとしましては、地域雇用創出推進基金からの繰入金が110万5千円の減額。前村幸秀人材育成基金からの繰入金が218万円の減額となっております。

次に、20款諸収入は1千265万1千円の増額となっております。主な内容としましては、介護予防支援事業の介護予防サービス計画費が190万8千円。過年度分の堆肥センター製品販売上料が331万6千円。奥武島海洋深層水施設の事業負担金として184万6千円などが計上されております。

次に、21款地方債では過疎債ソフト事業分が490万円の減額。浮き魚礁漁場整備事業が600万円の減額。産地水産業支援強化事業が150万円の減額。水産物供給基盤機能保全事業が500万円の減額。消防ポンプ付き自動車整備事業が290万円の減額。県営かんがい排水事業が1千310万円の減額。県営水質保全対策事業の220万円の減額。仲里中学校12号棟改修事業が460万円の減額。具志川城址保存修理事業が190万円の減額となり、仲里中学校9号棟改築事業に充当する合併特例債を新たに1億130万円追加計上しております。

今年度の起債限度額は6億3千660万7千円となります。

以上が歳入予算の補正内容となっております。

続きまして、歳出に移りたいと思います。
3ページをお開きください。1款議会費は19
万1千円の増額となっております。

続いて、2款総務費は1千279万3千円の減
額となっております。主な内容として、退職
手当特別負担金が822万7千円の減額。非常勤
職員に係る社会保険、雇用保険、傷害保険料
等を1千48万6千円減額し、財政調整基金積立
基金が516万6千円増額。奨学資金貸付基金へ
の積立金が332万円増額。ふるさと寄付金積
立金が438万円の増額となっております。そ
の他、沖縄振興特別調整交付金関連事業の事
業間での組み替え補正を行っております。

続いて、3款民生費の2千412万円の増額と
なっております。主なものとしましては、国
民健康保険特別会計への操出金3千259万5千
円を計上しております。また、法人保育園運
営費補助金を344万6千円の減額としておりま
す。

次に、4款衛生費では709万円の減額とな
っております。主な内容は、男女特有のがん
検診事業が70万円の減額。健診事業が75万円
の減額。健康増進事業が89万9千円の減額。
環境美化推進事業が87万3千円の減額。子ど
も医療費助成事業が76万7千円の減額。リサ
イクルセンター運営事業が118万円の減額と
なっております。

続いて、6款農林水産業費は4千628万円の
減額となっております。主な内容は農業振興
事業において堆肥購入補助金を109万6千円を
増額し、さとうきび安定生産確立対策事業で
は1千837万3千円の減額。県営かんがい排水
事業が1千307万8千円の減額。中山間地域直
接支払事業の補助金が143万8千円の減額。農
地集積協力金交付事業では1千101万7千円の

減額。産地水産支援強化事業の補助金が290
万円減額となっております。

次に、7款商工費では288万4千円の減額と
なっております。主な内容としましては、職
員の給与等の不用額の減額となっております。

次に、8款土木費は1千980万9千円の減額
となっております。主な内容は、銭田橋整備
事業において708万2千円を増額し、下水道事
業特別会計への操出金2千45万4千円を減額。
兼城ターミナル建設概略設計費300万円を減
額しております。

続いて、9款消防費では275万7千円の減額
となっております。主な内容は、職員給与等
の不用額を減額となっております。

予算書の4ページになりますが、10款教育
費は3億2千709万1千円の増額となっておりま
すが、主な内容は、仲里中学校9号棟改築事
業に要する経費3億4千447万円の追加計上と
なっております。その他、各項目において不
用額の減額等を行っております。

以上が平成25年度久米島町一般会計補正予
算（第6号）の主な概要となっております。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひいたします。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

106ページ、繰越明許費がございます。前
年度も結構ありましたが、今年も総額で11億

1千万円余り。その中で個別に理由等を述べてもらいたいと思っております。

総務費の沖縄振興特別調整交付金1億1千800万円余りですね、額が大きいです。せっかく当初予算で予算処置したが、執行されていないということでしょうか。

次の6款の産地水産業支援強化事業、これもほぼ7割、8割以上ですか、1億3千828万円の繰越です。

次の漁村地域整備交付金事業、これも1億6千13万円の繰越と。下の水産物供給基盤機能保全事業が満額ですね。久米島縦断線整備事業、これもほぼ60%ぐらいの繰越です。銭田橋整備事業についても9千700万円余りということで、せっかく当初予算で予算をとって、この分は町民に直接還元される補助予算だと思うんです。それについて担当課から説明を求めます。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進課長 中村幸雄

ただいま質問のありました繰越明許費の事業の中で、総務費の沖縄振興特別調整交付金事業、繰越額が1億1千809万4千円となっておりますが、一括交付金の事業は各課それぞれ跨がるんですが、やはり工事の進捗の中において赤土流出防止関係とか、いろんな事業の手続きにちょっと時間を要していて、そういったものが繰越の要因となっております。計画を適切に管理しながら今後繰越のないように進めていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

6款農林水産業費の中の産地水産業支援強化事業の1億6千550万8千円の事業費に対して繰越額が1億3千828万円となっておりますが、これは今年度の5月頃に事業の認定を受けまして、国の予算の付け方が一括して設計、施工も予算が付きまして、当初から今年度は設計のみということでやっております。あと工事費の分は繰り越して次年度早期に着工できるようにやっていきたいと思っております。それとソフト事業の部分も一緒になっておりまして、運営計画であるとか、こういった加工品をつくっていくか、どのように流通していくかというソフト事業もセットになっておりまして、それも並行して進めていきたいと思っております。今年度で設計は終わる予定でございますので、次年度早期に工事に着工できるように取り組んでいきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

漁村地域整備交付金事業につきましては1億6千万円余りの繰越額となっておりますが、これにつきましては鳥島地区の漁港の波除堤の工事であります。当初、計画しておりました波除堤の杭の長さにつきまして土質調査の実施箇所が1カ所だったということで、工事の中で土質調査を実施しまして、更に詳しい土質を調査しました結果、杭の延長の検討、あるいは安定計算、県との調整、それに時間を要しまして、今回工事は発注しているんですが一時停止ということで工期が伸びたという関係で繰越となっております。

次に、水産物供給基盤機能保全事業、これは全額繰越となっております。機能保全計画

書の承認認可を受けまして、この事業が実施されるわけなんです、この計画書の提出にかかる予算が補正予算でつきまして、その実施に伴って今回のこの事業についても遅れてきているというような状況です。計画書が認可されるのが、たぶん今年度3月末中旬だと思えます。それとこの事業実施できるのが委託事業工事入っているんですけど、次年度以降にしか実施できないという状況で全額繰越となっております。

次の、久米島縦断線整備事業につきましては用地交渉拡幅工事ということで、用地交渉で同意がスムーズに取れなかったということで今回繰越となっております。そして銭田橋の整備事業につきましては、これは当初から翌債ということで25年度と26年度に跨がっての承認を得ております。そのために今年度9千700万円の繰越ということになっております。

○ 議長 喜久里猛

幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

その中で、今担当課長からお話がありました久米島縦断線、用地交渉が遅れているということです。ちょうど堆肥センターの続きだと思えるんですが、これは例えば今年度中に用地交渉を終了して、次年度しっかり工事が着工できるものか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

用地交渉につきましては今取り組みやっております、次年度分も含めて精力的に進めていきたいと考えております。今年度分についてもスムーズに用地交渉はできてきており

ます。

○ 議長 喜久里猛

他に質疑ありませんか。

宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

3ページの衛生費、補正で709万円減額されております。それは主にがん検診ということですが、がん検診の減額の理由は何かということ。

2点目は、6款の農林水産費、これも4千628万円の減であるが、堆肥関係の予算は増額していると。その増額しているのはチップーのためのものだと思いますが、全体として下がっている理由は何かということ伺います。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

検診関係においては、当初は対象者の何パーセントというかたちでやるんですが、その目標に達していないので、その分を今回補正するということになります。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

款のトータルは多岐にわたっております、できれば目ごとのところで、どの部分ということのご質問だと答えやすいですが。款トータルではなかなか、どの部分といっても全部説明しないといけないくなるんですよ。

○ 議長 喜久里猛

宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

がん検診については、私、前回の定例会に

おいても小児がんの件について話しましたが、私はこれを重点に置いた予算の、補正予算ではありますが、それに対応してほしかったということです。機会あらば、今、県の方と町の福祉課の方で小児がんについて調査している途中であります。もっと詳しく調査するという予定であります。そのためにも調査にかかるものとか、がん検診における費用、これも含めて対応していただきたいということです。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

今回の補正は、当初で検診事業にかかるものとか、女性特有のがんとか、そういうもので予算を組んでおきまして、それが目標部分達成できなかったのが減額ということであり、今議員から質問がありますものは、また別の観点になると思いますので、それは必要とあらばまた予算を計上するかたちになると思いますので、今回は当初予算で計上した分の実施できない分の減額といういうことになります。

○ 議長 喜久里猛

宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

女性のがん検診も非常に重要だと思っております。ぜひこれを充実させたかたちでの今後の予算のあり方を考えてほしいということでもあります。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前10時29分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前10時29分)

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

説明いたします。まず、予算書の61ページを開けて下さい。金額の大きいものですね、61ページの真ん中あたりになりますが、その後、さとうきび安定生産確立対策事業1千837万3千円の減額がございますが、これはハーベスターの整備です。当初予算で2台予定していたものが1台になったということで、1台分は減額でございます。

先ほど堆肥センターの件でご質問ございましたが、これにつきましては60ページの一番下の部分に堆肥購入補助で109万6千円ございますが、これについては今現在さとうきび関係の堆肥については、さとうきび増産基金事業をつかって8割補助で行っております。さとうきび以外の作物については、一般財源対応で2分の1補助、そして袋詰めについては100円の補助になっております。その分の使用量が増えたために、その増額補正となっております。それ以外についてはほとんど過不足の減額となっております。

以上でございます。またご不明な点がございましたら再度承ります。

○ 議長 喜久里猛

宇江原総清議員の本件に関する質疑は3回になりましたが、会議規則第55条但し書きの規定によって特に発言を許します。

宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

堆肥については、久米島における農業生産について欠かせないものであって、チップターの活用というような施政方針にもありますとおり、そういうような導入も大いに歓迎です。私が言いたいのは、それと同時に、毎回言っていますが、プロジェクト推進室と連携をと

って、景観条例に基づく、例えばフクギの枝の活用とか、こういったものも十分に考えて対応してほしいなという要望です。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

私の方から3点ほど質問したいと思えます。まず、歳入の3ページ、町税の部分ですが、個人の方で滞納繰越分248万円、固定資産税で271万円減額補正されております。当初は町税の分が598万円、固定資産税が1千397万円、この減額補正は…。

○ 議長 喜久里猛

ごめんなさい、発議の途中ですが何ページのどこですか。

○ 13番 玉城安雄議員

歳入の7ページです。

町税の個人の部で滞納繰越分が248万円の減額で、固定資産税で271万円、法人の部で15万円の減額補正されています。個人の部で当初598万円固定資産税で1千397万円計上されていましたが、減額補正の原因は何なのか。徴収できなかったのか。不納欠損なのか説明をお願いしたいと思います。

続きまして、歳出49ページの児童福祉総務費ですね。その中で小児慢性特定疾患等交付事業というのがありますが、この事業は25年度から新規に55万円計上されたんですが、15万円減額ということで不用額としてされているのか。実際、何名助成を受けたか、そこらへんお答えできればお願いしたいと思います。

続きまして、76ページの土木費の港湾管理費の中で3番目、兼城港湾ターミナルの管理

事業の委託料が300万円減額されています。25年度1回目の補正で300万円計上し、今回300万円の減ということですが、そこらへんの説明、事業が実施できなかったのか、どういう経緯でできなかったのか、そこらへんの説明をお願いしたいと思います。以上3点よろしく申し上げます。

○ 議長 喜久里猛

田端智税務課長。

○ 税務課長 田端智

7ページの税の歳入についてお答えいたします。この減については当初予算が過去3年分の平均ということでの予算計上になっています。当初予算を組む段階では滞納額というのは確定しておりませんので、それを過去の平均で計上しております。248万円減額しておりますが、350万円程度の滞納繰越があるということでの減額となっております。差額分については過去のもの平均で出したために、これだけの差が出ております。固定資産についても同じようなかたちです。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

小児慢性特定疾患渡航費助成事業の減ですが、予算計上は7名の、1人当たり最高5回まで認めていますので、35往復の予算として組んでおりました。実際今8名で20往復を予定していて、その差額は減額ということになっております。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

兼城港湾ターミナル概略設計の委託費の減について申し上げます。補正で300万円の補

正をいただいたんですが、いま県の方で兼城港の花咲地区、そして兼城地区、両方で県の港湾工事が実施されております。花咲地区については荷役の数量が相当数多くなったということで、県としましても町としましても非常に重要度が高くなっているということで、その分を県の方で優先的に進めていただきたいと要望しております。

そして兼城地区につきましても、現在のフェリーが着岸していますバース、それにつきましてもターミナルがある前面にバースを整備して接岸場所を異動してもらいたいということで要望して現在の工事が進んでおります。

県の事業の中でも久米島の方に相当数の予算が投入されております。そして更にターミナルの整備も併せて要望したんですが、国、県と調整していく中で、平成27年度完了予定ではありますが、それ以後に事業が更にかかるんじゃないかということで、この部分を優先して整備していきたいということで、バース部分を優先して検討しましても、ターミナルについては非常に28年度までに整備が厳しいんじゃないかという調整となっております。今回予算減としております。

○ 議長 喜久里猛

玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

税金の方では、町長も施政方針で一般財源の確保等を訴えていますので、ぜひそこらへん頑張ってもらって徴収していただきたいと思っております。

小児慢性特定疾患は何名の利用があったかというのが答弁が漏れていますのでお願いします。

それとターミナルの方は、ぜひまた県の方と調整して早期に着工できるようによろしくお願ひしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

利用しているのは8名です。

○ 議長 喜久里猛

よろしいですか。

他にありませんか。

仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

3点ほど質疑します。まず、9ページの土木使用料で町営住宅の使用料が192万円減になった理由をお伺いします。

それから、16ページ、パークゴルフ場の雑収入の中でパークゴルフ場用具破損弁償金が6千円計上されています。これまでかなりのクラブが破損されていると思いますが、それが弁償全てされているのかどうか、お伺いします。

それから、21ページの奨学金の貸付基金、指定寄附で332万円の貸付基金と先ほど説明ありましたが、どの団体からの指定があったのかお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

まず、初めに、町営住宅の収入減ですが、当初予算では過去3カ年の平均の予算を計上しておりましたが、目標としましては徴収率96%を目標に今頑張っていますが、なかなか96%までは徴収できなくて、94%ぐらいまでしか徴収できないということで、その差額を今回は減というかたちで進めていますが、年

度内までは、それ以上に徴収できるように努めてまいりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

パークゴルフ場の用具の破損につきまして、オープン当初は、クラブが新しい状態でしたのでだいたい同じものを地域で用具を売っているお店で購入して、その分を弁償してくださいということをお願いしておりました。どんどん使い込むうちに古くなってきて、それではいけないんじゃないかと思ひまして、今のところ1つのクラブが破損しましたら3千円を徴収するようになっております。しかし、これは次年度以降どんどん古くなっていきますので、本当にこの金額が妥当かどうか今後検討して、これが千円になるのか、そのへんも現場とも調整して対応していきたいと思います。破損した分については、そういう感じで別のものを納めてもらうとか、今回のように現金で納める方法で、それはちゃんと対応しております。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

奨学金に寄附されている方々ですが、久米島郷友会連合会、それからコンサルの方が1件ございました。あと成年、トゥシビーをやった団体の方が3団体、それから個人が5名、合計で10団体の寄附がございました。その方々には、町長、教育長名でお礼状も差し上げております。

○ 議長 喜久里猛

仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

町営住宅について再質疑します。町営住宅の使用料の滞納が大口の滞納がないのか。実はその住宅に一旦入ると、ずっと入っている状態が続いている状況だと思います。若い人たちが島に帰ってきて住みたい、家が探せない状況があります。その状況の中で、既に子どもたちが卒業して生活も安定してきているのにそこにずっと住んでいる方たちが、それでいいのかどうか。そういう人たちの追跡調査も必要じゃないかどうか、そこをお伺いします。

それから、奨学金について、非常にありがたい324万円余りの寄附がなされました。今貸し付けの残高が570万円ありますので約900万円が進学、専門学校進学等につかっていたきたいという無利息の制度がありますので、実は3月1日の卒業式の日には保護者何名かで話し合っ、進学で非常に金がかかると。教育ローンの借り入れをしているんだけど、それでも足りない。実はこの制度を僕が話したら、ほとんどの人が、こういう制度が久米島町にあるということが知らされていないということで、ぜひこれを保護者の方に知らせて、こういう制度を利用させるように教育委員会の方でも考えていただきたいと思いますが、その方もお聞きしたいと思います。よろしくお祈いします。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

町営住宅の使用料の件ですが、大口の滞納者が現在2、3名ほどおりまして、その方々には重々説明して、いま分納方式ということで毎月少しずつ徴収しているところであります。後追い調査ということなんです、やは

り子どもたちが卒業して、夫婦とか1人世帯とか確かにあるんですが、やはりこれは年間の所得で査定していますので、後追い調査も必要かなと思っていますので、そのへんも再度後追い調査もしていきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

奨学金につきましては、たくさんの方々に利用していただきたいと思っております。手元に資料がございませんが、現在約40名近くの方が利用しています。毎年貸し付け終わる方と新たに借りる方々がバランスが崩れる場合があるんですが、そういったときに奨学金の利用が厳しいときがあります。

今現在、奨学金貸し付けの募集を行っている期間中でありまして、毎年2月から3月にかけて募集を行っております。これにつきましては町の広報の方に募集について記載しておりますので、それをご覧になって教育委員会の方に問い合わせしていただきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第5号、平成25年度久米島町一般会計補正予算についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第5号、平成25年度久米島町一般会計補正予算については原案のとおり可決されました。

日程第6 平成25年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

○ 議長 喜久里猛

日程第6、議案第6号、平成25年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)についてを議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第6号、平成25年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)の概要についてご説明いたします。

予算書の1ページをお開き下さい。平成25年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)は、歳入歳出の予算額にそれぞれ805万8千円を増額し、歳入歳出の総額を12億9千370万3千円と定める。

予算書の2ページ目になりますが、歳入歳出の計上概要としまして、歳入、5款国庫支出金2千953万3千円を減額し、8款兼支出金92万8千円、10款共同事業交付金360万8千円、12款繰入金3千37万円、14款諸収入268万5千円を増額補正するものであります。

予算書の3ページですが、歳出においては、1款総務費109万2千円、7款共同事業拠出金1千516万2千円、8款保険事業費354万1千円を減額し、2款保険給付費2千736万8千円、11款諸支出金48万5千円を増額補正するものであります。

以上が、平成25年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の概要となります。

平成26年3月1日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしく申し上げます。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

6ページ、療養給付費等国庫負担金9千200万円の減です。その理由ですね、なぜ減ったのか。それと一般会計からの繰入金が3千200万円あります。その両方は一対なのか。例えば国庫補助金がそれだけ減ったから自動的に一般会計から、補填しましょうということなのか。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

当初の国保会計の予算の組み方ですが、療養給付費に全部組んで、事業費の確定が最近ありましたので、それに基づいて介護給付納付金、それから国庫高齢者医療支援交付金が決定しましたので、それに割り振りして、ですから療養給付費を減額して介護と後期を増やしているという割り振りの決定がありましたので、それに減らして増やしていくというかたちです。

それから、一般会計繰入については、補填部分は今回、保険基盤安定繰入金で減額になるんですが、その他の部分は一般会計から国

保の赤字分の補填というかたちで当初一般会計との絡みで予算の規模の問題で、今回補正でその分を補填していくということで増額になっています。

○ 議長 喜久里猛

幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

担当課の福祉課の方で医療費軽減ということで、健康運動とかいろいろやっていると思いますが、9千万円減になっていますが、町の医療費が減ってきたのか。例えばいろんなかたちで事業をやっていると思うんですが、その影響があって医療費が落ちて、それだけ補助が減ったのか、それとの関連もございますか。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

まずは予算編成のときには過去3カ年の平均をとって計上してきておりまして、その結果になっています。町の医療費ですが、過去3カ年の実績においても入院、それから入院外、歯科、トータルして減ってきております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第6号、平成25年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成

の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第6号、平成25年度久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)については、原案のとおり可決されました。

日程第7 平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

○ 議長 喜久里猛

日程第7、議案第7号、平成25年度久米島後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)についてを議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第7号、平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の概要についてご説明いたします。

予算書の1ページ目、平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)は、歳入歳出の予算額にそれぞれ103万6千円を増額し、歳入歳出の総額を7千398万4千円と定める。

予算書の2ページ目になりますが、歳入歳出の計上概要としましては、歳入、3款繰入金70万9千円。5款諸収入32万7千円を増額補正するものであります。

3ページ目になりますが、歳出においては、2款後期高齢者医療広域連合納付金70万9千円。3款諸支出金32万7千円を増額補正するものであります。

以上が、平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)に関する概要となります。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願いたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第7号、平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第7号、平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)については、原案のとおり可決されました。

日程第8 平成25年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第4号)について

○ 議長 喜久里猛

日程第8、議案第9号、平成25年度久米島下水道事業特別会計補正予算(第4号)につ

いてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第9号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計補正予算(第4号)の概要についてご説明いたします。

予算書の1ページをお開き下さい。平成25年度久米島町下水道事業特別会計補正(第4号)の予算概要について、歳入歳出それぞれ2千45万4千円を減額し、総額4億760万3千円と定めます。

主な概要といたしまして予算書の6ページ。歳入としましては、3款1項繰入金で2千45万4千円の減額となっております。

7ページ目になりますが、歳出としましては、下水道事業費の職員給与等で2万9千円の増額。11節需用費で電気使用量を10万1千円増額。12節役務費で複写機パフォーマンスチャージ料を7万2千円増額。13節委託料で下水道台帳管理システム構築業務委託費用2千45万4千円を減額。14節使用料及び賃借料で組み替えにより車輛賃借料を20万2千円減額。農業集落排水事業の11節需用費の組み替えにより、電気使用量で5万3千円を増額。修繕料で5万3千円を減額となっております。

この他、本年度中に完成しない見込みが生じたことから、沖縄振興公共投資交付金事業について繰越明許費を設定しております。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

委託料の減額、7ページ、下水道、まだやってないところもありますので、進めているところがあると思うんですが、どうしてこれだけの減額になるのか、説明をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

津波実上下水道課長。

○ 上下水道課長 津波実

ただいまの件ですが、委託料となっておりますが、これは工事の方の委託ではなくて下水道台帳の委託料となっております。この部分につきましては9月の補正で確保してたんなんですが、準備を進めていく中で、かなりの資料が見当たらないと、探せない、設計等がなかなか探せない部分が多々ありまして、これにかなりの資料を集めるのに時間がかかるだろうと予想されまして、今年度中には整備できないということが予想されたものですから、これを減額にして、25年度は減額にして26年度の当初からやろうということで、26年度の当初予算の方で上げてあります。

○ 議長 喜久里猛

島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

資料が探せないという説明ですが、これは合併前の資料ですか。それとも職員の仕事の怠慢というのか、そういうのもあるのかどうか、お願いします。

○ 議長 喜久里猛

津波実上下水道課長。

○ 上下水道課長 津波実

これにつきましては、合併以前も含まれております。工事の部分の図面等がなかなかどこに置いてあるのか探せなくて、その資料を集めることができないという状況です。

○ 議長 喜久里猛

島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

それは探せる可能性はあるんですか。

○ 議長 喜久里猛

津波実上下水道課長。

○ 上下水道課長 津波実

その考えでいま探しております。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第9号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第4号）についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○ 議長 喜久里猛

挙手全員です。従って、議案第9号、平成25年度久米島町下水道事業特別会計補正予算（第4号）については、原案のとおり可決されました。

日程第9 辺地に係る総合整備計画の一部変更について

○ 議長 喜久里猛

日程第9、議案第8号、辺地に係る総合整備計画の一部変更についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

（大田治雄副町長登壇）

○ 副町長 大田治雄

議案第8号、辺地に係る総合整備計画の一部変更について。

辺地に係る総合整備（平成20年度から平成28年度）の一部変更について、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第5項の規定により、別紙のとおり議会の議決を求めます。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由、辺地に係る総合整備計画の一部変更に伴い議会の議決を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

なお、次ページに別紙としまして、辺地総合整備計画、24年度から28年度、対象地区としましては久米島町宇江城辺地、比嘉辺地、儀間辺地、仲泊辺地、西銘辺地となっております。総合整備計画の内容等については1ページ以降別紙の方で示しております。それぞれの計画書、平面位置図等が添付されております。細かい内容については省略し提案申し上げます。

ご審議よろしくお願いいたします。

（大田治雄副町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第8号、辺地に係る総合整備計画の一部変更についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第8号、辺地総合整備計画の一部変更については、原案のとおり可決されました。

日程第10 南部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務及び南部広域市町村圏事務組合規約の変更について

○ 議長 喜久里猛

日程第10、議案第15号、南部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務及び南部広域市町村圏事務組合規約の変更についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第15号、南部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務及び南部広域市町村圏事務組合規約の変更について。

地方自治法第286条第1項の規定により、南部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務及び南部広域市町村圏事務組合規約を別紙の通り変更することについて議会の議決を求

める。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由、南部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務に浦添市、豊見城市、南城市及び糸満市に係る社会福祉法第30条第1項第1号の規定する所管長が行うこととされている事務を加え、南部広域市町村圏事務組合規約を変更することについて協議したいので、地方自治法第290条規定によりこの案を提出する。

次ページに、その一部改正する規約、別表第2に4番として以下のとおり加わります。なお、その次のページにおいては新旧の対照表、左側が現行、右側が改正案を明記しております。そのページ以降についても同様でございます。

ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第15号、南部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務及び南部広域市町村圏事務組合規約の変更についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第15号、南部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務及び南部広域市町村圏事務組合同規約の変更については、原案のとおり可決されました。

日程第11 久米島町地域雇用創出推進基金
条例の一部を改正する条例につ
いて

○ 議長 喜久里猛

日程第11、議案第16号、久米島町地域雇用創出推進基金条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第16号、久米島町地域雇用創出推進基金条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町地域雇用創出推進基金条例の一部を改正する条例。

久米島町地域雇用創出推進基金条例の一部を次のように改正する。

大枠の中で左側が改正前、右側が改正後となります。なお、下線の引かれた箇所が今回の改正部分であります。

附則としましては、この条例は公布の日から施行する。

提案理由、町内における雇用機会の創出について引き続き推進する必要がある。これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議よろしくお願いたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

この条例制定されておりますが、今までにその効果、この条例にかかる範囲内での良かった、悪かった、そういう点はありますか。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前11時51分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前11時52分)

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

この件については、行政内部の臨時職員を雇用するために充てております。効果という部分に関しては、行政の事務補助的な部分で住民サービスのために十分発揮されていると思います。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第16号、久米島町地域雇用創出推進基金条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成

の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第16号、久米島町地域雇用創出推進基金条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

日程第12 久米島町美ら島応援寄附条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第12、議案第17号、久米島町美ら島応援寄附条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第17号、久米島町美ら島応援寄附条例。上記議案を提出する。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町美ら島応援寄附条例。文言については割愛したいと思います。第1条、目的を示しております。第2条については、事業の区分についてを示しております。そして第3条については、寄附金の指定等を示しております。第4条については、基金の設置についてを示しております。第5条については、基金への積み立てについてを示しております。第6条については、寄附金の管理運用についてを示しております。

次ページになりまして、第7条は、基金の運用益金の処理についてを示しております。第8条については、基金の処分についてを示しております。第9条については、基金の繰

り替え運用についてを示しております。第10条は運用状況の公表についてを示しております。第11条については委任についてを示しております。

なお、附則、この条例は公布の日から施行する。

提案理由。生産者、消費者、商品メーカー及び町が行う産直提携事業に要する財源に充てる基金を設置する必要がある。これがこの条例案を提案する理由であります。

ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで、提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第17号、久米島町美ら島応援寄附条例についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第17号、久米島町美ら島応援寄附条例については、原案のとおり可決されました。

○ 議長 喜久里猛

これで午前の部は終わりたいと思います。

休憩します。(午前11時58分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後1時31分)

日程第13 久米島町畜産担い手育成総合整備事業分担金徴収条例について

○ **議長 喜久里猛**

日程第13号、議案第18号、久米島町畜産担い手育成総合整備事業分担金徴収条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ **副町長 大田治雄**

議案第18号、久米島町畜産担い手育成総合整備事業分担金徴収条例。

上記議案を提出する。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町畜産担い手育成総合整備事業分担金徴収条例、本文については割愛したいと思います。

第1条については、趣旨及び目的。第2条は納税義務者。第3条は分担金の額。第4条は分担金の賦課。第5条は徴収の延期。第6条は処分。第7条は委任。

附則としまして、この条例は交付の日から施行する。

提案理由

公益財団法人沖縄農業振興公社が久米島町において実施する畜産担い手育成総合整備事業に要する費用について、地方自治法224条の規定に基づき事業参加者により分担金を徴収する必要がある。これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議よろしくお願いたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ **議長 喜久里猛**

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

2番幸地猛議員。

○ **2番 幸地猛議員**

提案理由の事業参加者、納税義務者とありますが、これから新たに事業が導入されるわけですか、それともこれまでそういった事業参加者が現在いるかどうか、そのへんのところをお願いします。

○ **議長 喜久里猛**

仲村渠一男産業振興課長。

○ **産業振興課長 仲村渠一男**

今回の久米島の第3地区に畜産担い手育成総合整備事業につきましては、町内の今15畜産農家が参加して、今事業の計画の策定を進めているところでございます。こちらでいう事業参加者と申し上げますのは、今回の事業に参加する15畜産農家が対象になります。

○ **議長 喜久里猛**

2番幸地猛議員。

○ **2番 幸地猛議員**

じゃあ、新規にはいないということでしょうか。

○ **議長 喜久里猛**

仲村渠一男産業振興課長。

○ **産業振興課長 仲村渠一男**

新規と申しますか、今回の事業は計画が26年度で計画を作って、それに参加者を募集しまして、実際のスタートは26年度から設計に入ります。そういう意味においては15名全員が新規の事業参加者ということになります。それと合わせて過去に第1地区という事業をやっております。第2地区を2回事業をやっ

て、今回がこの事業では3回目の実施ということになります。従って、今回の15名の参加者はそういう意味においては、新規参加者ということになります。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

この費用は一括納入ですか、例えば年度毎に、例えば分担金を分けて、そういったかたちの納入になりますか？

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

まず今回の事業につきましては、26年度から一応5カ年計画で事業を実施していきませんが、総事業費が6億2千797万5千円の事業となります。草地造成の分については補助率が90%、草地以外の分については83%ということで、トータル的に見て、農家負担が約15%ぐらいございますので、その納入の納め方については、この分担金条例で賦課をしまして納め方については、これから県と畜産公社と町と詰めてやっていくこととなりますが、おそらく分割払いということになると思います。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午後1時35分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後1時39分)

他に質疑ありませんか。

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

本件の対象業は15ということの説明がありましたけれども、町長の施政方針にありましたように、久米島山羊活性化事業、それもその中に該当するわけですね。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

山羊の活性化事業と全く別の事業になります。

○ 議長 喜久里猛

他にありますか。

○ 議長 喜久里猛

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありますか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第18号、久米島町畜産担い手育成総合整備事業分担金徴収条例についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第18号、久米島町畜産担い手育成総合整備事業分担金徴収条例については原案のとおり可決されました。

日程第14 久米島町火災予防条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第14 議案第19号、久米島町火災予防条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第19号、久米島町火災予防条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町火災予防条例の一部を改正する条例、久米島町火災予防条例の一部を次のように改正する。本文の朗読については割愛したいと思います。右側が改正後、左側が改正前となっております。そのうちの下線の引かれた箇所が今回の改正箇所になります。

ページを捲りまして最後のページ。

附則

この条例は平成26年4月1日から施行する。

提案理由

久米島町火災予防条例の一部改正について、条例中の文字に誤りがあったため修正する必要がある。これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第19号、久米島町火災予防条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第19号、久米島町火災予防条例の一部を改正する条例については原案のとおり可決されました。

日程第15 久米島町消防手数料条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第15 議案第20号、久米島町消防手数料条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第20号、久米島町消防手数料条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町消防手数料条例の一部を改正する条例、久米島町消防手数料条例の一部を次のように改正する。これに関しましても大枠の中で左側が改正前、右側が改正後そして下線の引かれた箇所が今回の改正内容となります。

ページを捲りまして最後の方になります。

附則

この条例は平成26年4月1日から施行する。

提案理由

地方公共団体の手数料の標準に関する制令

の一部を改正する制令が交付されたことに伴い久米島町消防手数料条例の改正する必要がある。これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第20号、久米島町消防手数料条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第20号、久米島町消防手数料条例の一部を改正する条例については原案のとおり可決されました。

日程第16 久米島町下水道条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第16 議案第21号、久米島町下水道条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第21号、久米島町下水道条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町下水道条例の一部を改正する条例、久米島町下水道条例の一部を次のように改正する。大枠の中で、左側が改正前、右側が改正後となります。下線の引かれた箇所、

「100分の105」を「改正後には消費税相当額を加算した金額」に改正になります。

附則

この条例は平成26年4月1日から施行する。

提案理由

消費税法の一部改正に伴い、久米島町下水道条例の一部を改正する必要がある。これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

これが変わることによって町民にはどういふ影響がありますか。良くなるのか負担になるのか。

○ 議長 喜久里猛

津波実上下水道課長。

○ 上下水道課長 津波実

当然、計算した水道料金に現在でも100分

の105を乗じた消費税価格を加算した金額が水道料金ということになります。例えば下水道料金でしたら今現在、基本料金で525円になるんですが、これが540円となりまして、15円増額になることになります。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

ということは、今水道料金の105ですよ。これ改正後は全く水道料金にかかる消費税分になるということですか。

○ 議長 喜久里猛

津波実上下水道課長。

○ 上下水道課長 津波実

従前の計算しました水道料金に現在も100分の105を得た金額をプラスした金額になります。これが100分の105ではなくて100分の108を乗じて得た金額ということになります。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第21号、久米島町下水道条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第21号、久米島町下水道条例の一部を改正する条例につい

ては原案のとおり可決されました。

日程第17 久米島町水道事業給水条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第17 議案第22号、久米島町水道事業給水条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

議案第22号、久米島町水道事業給水条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町水道事業給水条例の一部を改正する条例、久米島町水道事業条例の一部を次のように改正します。改正前「100分の105を乗じて得たとする」を「消費税相当額を加算した」に訂正する分であります。

この条例につきましては、消費税がこれから4月に8%、そして時期は詳しくわかりませんが、10%また続いて上がるということで消費税分を加算した金額というふうに条例を改正すものであります。

附則

この条例は平成26年4月1日から施行する。

提案理由

消費税法の一部改正に伴い、久米島町水道事業給水条例の一部を改正する必要がある。これがこの条例案を提出する理由であります。

以上、ご審議よろしくお願ひします。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第22号、久米島町水道事業給水条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願ひします。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第22号、久米島町水道給水条例の一部を改正する条例については原案のとおり可決されました。

日程第18 久米島町立学校給食センター条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第18、議案第23号、久米島町立学校給食センター条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第23号、久米島町立学校給食センター

条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町立学校給食センター条例の一部を改正する条例、久米島町立学校給食センター条例の一部を次のように改正します。大枠の中で左側が改正前、右側が改正後となりますが、一番下の方に久米島中学校、仲里中学校の統廃合に伴って右側にある球美中学校に名称を変えるものであります。

附則

この条例は平成26年4月1日から施行する。

提案理由

久米島中立、久米島中学校と仲里中学校の統合を行うために給食校の名称を変更する必要があるため地方自治法第96条第1項第1号の規定に基づき議会の議決を求めます。これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議よろしくお願ひします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第23号、久米島町立学校給食センター条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第23号、久米島町立学校給食センター条例の一部を改正する条例については原案のとおり可決されました。

日程第19 久米島紬伝統工芸産業振興施設の指定管理者の指定について

○ 議長 喜久里猛

日程第19 議案第24号、久米島紬伝統工芸産業振興施設の指定管理者の指定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第24号、久米島紬伝統工芸産業振興施設の指定管理者の指定について、久米島紬伝統工芸産業振興施設の指定管理者を次の団体に指定したいので、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求める。

記

1. 施設の名称及び位置

(1) 久米島真謝ユイマール館

所在地 久米島町字真謝1878番地の1

(2) 久米島比嘉ユイマール館

所在地 久米島町字比嘉97番地の7

(3) 久米島宇江城ユイマール館

所在地 久米島町字宇江城66番地

2. 団体の名称

久米島紬事業協同組合

住 所 久米島町字真謝1878番地の1

代表者 理事長 松元徹

3. 指定の期間

平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

指定管理者制度による事業目的の効果、向上と行政コストの削減を図る。これがこの議案を提出する理由であります。

なお、次ページには添付書類を備えております。

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第24号、久米島紬伝統工芸産業振興施設の指定管理者の指定についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第24号、久米島紬伝統工芸産業振興施設の指定管理者の指定については原案のとおり可決されました。

**日程第20 久米島町イーフ情報連絡施設の
指定管理者の指定について**

○ 議長 喜久里猛

日程第20 議案第25号、久米島町イーフ情報連絡施設の指定管理者の指定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第25号、久米島町イーフ情報連絡施設の指定管理者の指定について。久米島町イーフ情報連絡施設の指定管理者を次の団体に指定したいので、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求める。

記

1. 施設の名称及び位置

久米島町イーフ情報連絡施設

久米島町字比嘉160番地の57

2. 団体の名称

社団法人 久米島町観光協会

住 所 久米島町字仲泊962番地の2

代 表 者 会長 比嘉護

3. 指定の期間

平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

指定管理者による事業目的の効果、向上と行政コストの削減を図る。これがこの議案を提出する理由であります。次ページに添付書類を備えております。

ご審議よろしくお願ひいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第25号、久米島町イーフ情報連絡施設の指定管理者の指定についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第25号、久米島町イーフ情報連絡施設の指定管理者の指定については原案のとおり可決されました。

**日程第21 久米島町高齢者コミュニティー
センター等の指定管理者の指定
について**

○ 議長 喜久里猛

日程第21 議案第26号、久米島町高齢者コミュニティーセンター等の指定管理者の指定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第26号、久米島町高齢者コミュニティーセンター等の指定管理者の指定について。久米島町高齢者コミュニティーセンター等の

指定管理者を次の団体に指定したいので、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求める。

記

1. 施設の名称及び位置

(1) 久米島町高齢者コミュニティーセンター

久米島町字真我里366番地

(2) 久米島町地域福祉センター

久米島町字中泊587番地

(3) 久米島町老人福祉センター

久米島町字大田584番地の1

2. 団体の名称

社会福祉法人 久米島町社会福祉協議会

住 所 久米島町字比嘉97番地の4

代表者 会長 儀間光明

3. 指定の期間

平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

指定管理者制度の導入により行政サービスの質的向上と行政コストの削減を図る。これがこの議案を提出する理由であります。

次ページ以降、添付書類を備えております。

ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

この指定管理についてですが、今お聞きし

たいのは、大田の方の老人福祉センター、これについてであります。施設はいろいろあるんですが、ほとんど利用されていないんじゃないかなというふうなことなんです。それで総務課長とも相談行ったんですが、福祉課の方で今の状態がいいんじゃないかということでお断りされたわけですが、実際、今の状態が良いという状況、要するに福祉課にとって良いのか、住民にとってはどうなのか、それを検討したところがあるのかどうか。

例えばいろいろ施設があるんだけど、ほとんど使われていないんじゃないかなと思うんです。ただこれに書いてあるのは、PTA団体とか、保育園、お遊戯会、大田の敬老会とか、また三味線教室、まつりの実行委員会とかありますが、合併以前は老人福祉センターは、けっこう賑わっているというか、けっこう人が集まっていたんですよ。というのは管理者がいて、常時そこに職員がいて、施設ですから常にお年寄りたちも集まりやすかったわけですよ。今無人になっていますよね。無人になっていて、どうしてその方がいいのか、福祉課の考えがそうなのであれば非常に矛盾するんじゃないかなと思ってお聞きしたいんですよ。福祉課にとって良い都合になっているのか、実際今まで利用していた人たちはどう思っているのか、それを検討したことがあるのかどうかですね。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

この施設事態が老人福祉センターということで、老人の活動の拠点という目的で造ってありますので、いろんな活動が今されておりますが、財政的ないろんな課題があって今無

人になっています。

社協の方で施設の草刈りや施設内の清掃、それから台風時の対策とか、いろんなかたちで管理は十分されているものと思います。社協にあった方が効果があるというのは、財政的にも社協の方に老人の活動を含めて支援しないといけませんので、そこを指定管理することによって町の財政的にも非常に良いという判断がありますので、引き続き社協の方が良いということであります。

○ 議長 喜久里猛

8 番島袋完英議員。

○ 8 番 島袋完英議員

だからそれは皆さんだけの判断でしょう。要するに社協と。社協と福祉課の方だけの協議であって、私が出した総務課長に提案したのは文化協会と民俗芸能保存会合同で事務職を要するに事務局を一緒にして、そこに常時管理させるとこういう提案をしたわけですよ。そうすることによって常にそこに人を集めようと老人から子ども、本来は老人の施設ですから元々老人が優先ですが、とにかくそこに人が集まるような施設にしようというようなことを提案して、それと同時に私たちのクラブ活動も今まで以上に活動できると、今センターの日にちの取り合いとかやっていますよね。何曜日何曜日というような、また開かないとか、だからそのホールを管理できれば、常に事務局もそこにおいて、両方ともクラブの活動多いにできるということで、一番の有効利用じゃないかというようなことを話したんですが、今の社協に任せた方が良いというようなこと、私はこれは今見ていると本来の機能を発揮していないと思うんですよ。無人で、結局それ今でも家賃収入を得ようと

ということなのか、事務所に貸しているでしょう。そういうもの事態が本来の目的と違うんじゃないですか。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

一般の方から、例えばそこが使いにくいとか、そういう苦情は聞いておりませんので、その開いている場合の時には、使いたい人が申請して、十分に使えるような状況にはなっているとは思うんですよ。ただ機能していないんじゃないかなという分については活動する団体が少なくなったのか、ちょっとこのへんは把握しておりませんが、各団体が申請すれば十分活用できるような状況にはなっています。ただ、離島医療組合に貸しているのは離島医療組合事態が事務所の場所がないということで、この老人福祉センターの前管理人がいた所、空いていましたので、そこを一時的に借用させているという状況です。

○ 議長 喜久里猛

8 番島袋完英議員。

○ 8 番 島袋完英議員

いくら説明しても納得はできないんですが、これ町としては施設に管理人置かなくてもいいからというように指定しているんですか。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

いた方が好ましいのはあるんですが、通いで鍵の管理したり、そういうものも十分やっておりますので、特に人を配置するだけの余裕がないということもありますので、今までの状況で進めていきたいということでありま

す。

○ 議長 喜久里猛

島袋議員の本件に関する質疑は、既に3回になりましたが、会議規則第56条但し書きの規定によって、特に発言を許します。

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

今の説明でも全然解釈が違いますので、この質疑に対してね。だって住民からはそういう苦情がないというのはそれは当たり前でしょう。久米島の人、苦情言いますか。思っても言いませんよ。そこに管理する人がいればもっと気軽に申し込みもできるわけですよ。改善センターみたいに。ですから本当に福祉それから文化そういうのを思い切って推進しようというようなあれでしたら、そういう施設の管理ももっと考えてもらいたいなと思いましたが、町長はどう思いますか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

公共施設につきましては、これまで、旧具志川村、旧仲里村と同じような施設がいろいろあって、それも統廃合していろいろ機能的に使おうということで今施設統廃合委員会でも議論しているわけですが、ただ老人福祉センターにつきましては、やはり社協に管理をさせて、老人クラブの活動の拠点にしようという思いで前からずっと指定管理をしているわけなんですけど、今、島袋議員がおっしゃいました管理人も置かないで指定管理ということがありますが、しかしながらこれはやはり施設によっては費用対効果の問題とか、いろいろな部分があって管理人を置かなくても施設としてやっぱり存続させるということもあ

り得ると思うんですね。ただ施設についてはいろいろ将来的には集約するという方向で、また新たに必要性が生じたら新たな施設に集約するとそういう方向性で考えた方がいいんじゃないかなというふうに私自身は思っています。

○ 8番 島袋完英議員

議長、休憩をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午後2時09分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後2時12分)

他にありませんか

○ 議長 喜久里猛

質疑を終わります。

討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第26号、久米島町高齢者コミュニティセンター等の指定管理者の指定についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(多数挙手)

○ 議長 喜久里猛

挙手多数です。従って、議案第26号、久米島町高齢者コミュニティセンター等の指定管理者の指定については原案のとおり可決されました。

日程第22 久米島町立学校施設使用条例の一部を改正する条例について

○ 議長 喜久里猛

日程第22、議案第27号、久米島町立学校施

設使用条例の一部を改正する条例についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第27号、久米島町立学校施設使用の条例の一部を改正する条例。

上記議案を提出する。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

久米島町立学校施設使用条例の一部を改正する条例、久米島町立学校施設使用条例の一部を次のように改正します。大枠の中で左側が改正前、右側が改正後となります。なお下線の引かれた箇所の文言が今回の改正内容となります。

附則

この条例は平成26年4月1日から施行する。

提案理由

久米島町立久米島中学校と仲里中学校の統合を行うために学校の名称を変更する必要があるため地方自治法第96条第1項第1号の規定に基づき議会の議決を求める。これがこの条例案を提出する理由であります。

ご審議よろしく申し上げます。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。
これから質疑を行います。
質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。
これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第27号、久米島町立学校施設使用条例の一部を改正する条例についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第27号、久米島町立学校施設使用条例の一部を改正する条例については原案のとおり可決されました。

日程第23 町道の認定について

○ 議長 喜久里猛

日程第23、議案第28号、町道の認定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第28号、町道の認定について道路法第8条の規定により、次のとおり町道の路線を認定する。

記

路線番号 252

路線名 比嘉26号線

起 点 久米島町字比嘉54の4

終 点 久米島町字比嘉23

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

町道の路線を認定するには道路法第8条第2項の規定により議会の議決を得る必要があ

る。これがこの議案を提出する理由であります。2枚目に航空写真の方の赤いラインの入った箇所が今回の予定箇所となります。ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

この道路は今回認定されるわけだけでも、以前から部落においては、いろいろ話題が上がっていました。今回、認定できて非常に良かったと思うんですが、今回認定するにあたって、そこを認定をして近いうちに道路工事入るのかどうか、そのための認定なのかお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

平成26年度の地方施設改善事業、これ生活福祉部の事業なんです、それをもって事業実施していきたいということで県の方に今要望書を上げているところであります。

○ 議長 喜久里猛

他にありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第28号、町道の認定についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第28号、町道の認定については原案のとおり可決されました。

日程第24 町道の認定について

○ 議長 喜久里猛

日程第24 議案第29号、町道の認定についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第29号、町道の認定について道路法第8条の規定により、次のとおり町道の路線を認定する。

記

路線番号 256

路線名 真謝26号線

起 点 久米島町字真謝2022の7

終 点 久米島町字阿嘉180の18

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

町道の路線を認定するには道路法第8条第2項の規定により議会の議決を得る必要があります。これがこの議案を提出する理由であります。なお次ページに赤いラインの入ったこれは元々県道の旧道路になります。新しい道路ができて、その旧道路部分を町道に認定替えするということになります。ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第29号、町道の認定についてを採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手全員)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第29号、町道の認定については原案のとおり可決されました。

日程第25 平成26年度久米島町一般会計予算について

○ 議長 喜久里猛

日程第25、議案第10号、平成26年度久米島町一般会計予算についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第10号、平成26年度久米島町一般会計予算の概要についてご説明申し上げます。

平成26年度久米島町一般会計予算は、歳入歳出の総額を75億7千252万7千円と定める。対前年度と比較しますと2億9千257万1千円の

増額となり増減率は4%の増となりました。

平成26年度は消費税率の引き上げによる景気への影響の他TPP交渉に伴う農政改革等の社会的要因による多くの課題が予想されま
す。本町においては、地方交付税の合併算定替が終了し、激変緩和期間の2年目となります。また少子高齢化の進展に伴い増加する社会保障費の増加など先行き不透明感が根強く、本町をとりまく状況は以前として厳しい状況であります。さらなる発展に向けた町づくりを進めるために重要な年となります。このため「参画と責任選択」と「集中を基本」に最大の行政効果が得られるように予算編成を行いました。

なお、当初予算では概算額を計上しており、国、県の動向や社会情勢を注視しながら必要に応じて補正予算で対応していきたく考えております。

まずは、歳入予算についてご説明いたします。

増額となった主な要因としましては、次年度で3年目となる沖縄振興特別調整交付金が県支援分を含め4億755万8千円を計上しており、その他、産地水産業強化支援事業、漁村地域整備交付金事業、水産物給水基盤機能保全事業、銭田橋整備事業等の大型の建設事業を予定していることから、県支出金が2億4千731万9千円の増額となったことが要因となります。その他の需要につきましては、平成26年27年度にわたって消防緊急デジタル無線を県内の各消防本部と共同で整備します。その財源として緊急防災減災事業債8千20万を計上しております。

また、特定防衛施設周辺調整交付金6千万円を活用して比嘉公民館整備事業、水産加工

物施設関連道路整備事業を予定しております。

それでは主な歳入項目についてご説明いたします。

予算書の1ページになります。1款町税では6億3千859万4千円を計上しております。対前年度比483万6千円の減となっております。

続いて6款、地方消費税交付金では、消費税率の引き上げに伴う増収分として対前年度比1千202万2千円増額の7千525万2千円を計上しております。

次に9款、地方交付税においては、普通交付税は合併特例措置の終了に伴う一本算定による減額を見込み対前年度比4千万円の減の31億円を計上しております。

一方、特別交付税では離島航路運行維持に要する経費への特別交付税措置を見込み対前年度比3千300万円増の2億5千300万円を計上しております。

続きまして2ページ目になりますが、13款国庫支出金においては、対前年度比1億2千677万5千円減の4億2千138万7千円を計上しております。減額となった主な要因としましては、昨年度までの国庫補助金として計上しておりました銭田橋整備事業への補助金の2億円が沖縄振興公共投資交付金事業として、県支出金扱いとなったことが要因となります。

その他、国庫支出金では大原下線整備事業として4千万円、道路ストック総点検事業として880万円をそれぞれ計上しております。

続いて15款、県支出金は19億4千487万6千円を計上しており、主な内容として沖縄振興特別調整交付金では、農林水産業関連事業の他、観光産業や教育分野を中心に県支援分を含めて4億755万8千円を計上しております。

その他、震災等救急雇用対策事業に1千146万2千円、農業基盤整備促進事業に1億2千635万円、中山間地域総合整備事業に4千414万円、産地水産業支援強化事業に2億1千994万1千円、漁村地域整備交付金事業に2億900万円、水産物供給基盤機能保全事業に1億8千万円、久米島縦断道路整備事業に4千万円、銭田橋整備事業に2億円を計上しております。

予算書の3ページに入ります。21款町債では対前年度比2億520万円増の7億4千250万円を計上しております。主なものとして過疎債相当事業分として1億1千510万円、離島航路運行安定化支援事業へ充当するために辺地対策事業債を1億220万円、消防救急デジタル無線整備事業への充当する緊急防災減災事業債として8千20万円、臨時財政対策債として2億円を計上しております。

以上が主な歳入予算の概要となっております。平成26年度も、これまで同様徹底した歳出削減に取り組みつつ町税や使用料等にかかる未収金について、債権管理条例や債権管理マニュアル等に基づき、徴収対策を強化し、自主財源確保に努めてまいります。

続きまして、歳出予算についてご説明いたします。平成25年度より事業予算書を導入して予算書には各事業及び財源内訳を明記しておりますのでご覧ください。

予算書の4ページ目になります。1款議会費については対前年度比327万7千円増の8千825万8千円となっております。

続きまして2款総務費につきましては対前年度比6千138万8千円増の14億1千394万2千円となっております。主な内容としましては沖縄振興調整交付金事業の30事業4億8千404万4千円を計上しております。

その他、第2次久米島町総合計画策定業務にかかる経費として416万1千円、財政調整基金積立金を2千45万1千円、庁舎等新築基金積立金1千26万4千円等を計上しております。

続いて3款民生費は対前年度比3千253万円増の14億7千156万7千円の計上となっております。主な内容としまして、社会福祉総務費の国民健康保険特別会計繰出金が1億7千782万8千円を計上しております。補助金につきましては町社会福祉協議会へ2千100万円を計上しております。また新規事業として久米島町障害者相談支援事業に400万円を計上しております。介護保険事業については沖縄県介護保険広域連合への負担金1億5千295万4千円を計上しております。老人医療事業費では後期高齢者医療特別会計繰出金を3千680万7千円を計上しております。また法人保育園支援事業では運営費補助金として2億3千946万6千円を計上しております。

次に4款衛生費は対策事業644万円減の3億2千270万6千円を計上となっております。

主なものとして、沖縄県離島医療組合負担金が県と負担割合に基づき5千645万2千円を計上しております。また男女特有の癌検診事業として312万3千円、生涯にわたる健康管理システムの構築事業として621万6千円を計上しております。

また環境衛生費では環境美化推進事業として3千822万7千円、久米島町一般廃棄物処理基本計画策定事業にかかる経費として441万円を計上しております。

続きまして6款農林水産業費では対前年度比では4千985万1千円増の13億2千27万2千円を計上しております。主な内容としまして農地費において中山間地域総合整備事業に5千5

4万7千円、農業基盤整備促進事業に1億3千320万円を計上しております。また構造改善事業費では青年就農給付金事業の1千650万円、新規就農一環支援事業に1千739万8千円を計上しております。水産業振興費では、浮魚礁漁場整備事業が6千400万円を計上しております。産地水産業強化支援事業が2億6千589万円を計上しております。また漁港建設費では、漁村地域整備交付金事業に2億2千万、水産物供給基盤機能保全事業に2億円を計上しております。

次に、7款商工費は対前年度比1億3千326万7千円増の2億8千652万5千円を計上しております。離島航路運営費等補助事業として3千854万2千円、離島空路運行安定化支援事業として1億221万円を計上しております。

また県の震災等緊急雇用対応事業を活用して実施する久米島町体験型交流型観光商品開発販売促進事業として668万円を計上しております。その他、各種補助金については商工業振興、観光業振興を目的に各事業を展開して、町の活性化を図ります。

続いて8款土木費では、対前年度比2億2千335万8千円増の7億3千260万4千円を計上しております。まず土木総務費においては特定防衛施設周辺調整交付金を活用して実施する比嘉公民館の整備事業に3千630万円を計上しております。

次に、道路新設改良費で久米島縦断線整備事業が5千20万円、銭田橋整備事業が2億5千400万円、大原下線整備事業が5千30万円それぞれ計上しております。その他新規事業として道路ストック総合点検整備に1千110万円、新港通り駐車場整備に510万円、地方改善施設整備に2千万円を計上しております。

また、特別会計拠出金では下水道事業特別会計に1億7千930万2千円を計上しております。

予算書の5ページ目に入ります。9款消防費では対前年度比3千964万5千円増の3億1千879万8千円を計上しております。主なものとして沖縄消防緊急デジタル無線整備事業として8千198万2千円を計上しております。

次に、10款教育費では、対前年度比7千534万1千円減の6億2千123万1千円の計上となっております。

学力向上の推進及び人材育成に向けた各事業費を計上しております。

主な内容としましては、新規に開校する球美中学校への加配教員にかかる人件費として中学校管理運営事業に657万円を計上しております。その他、久米島高校支援事業、ALT配置事業、特別支援教育事業、離島へき地における学習支援事業を、それぞれ計上しております。

人材育成事業では、久米島町奨学金事業、前村幸秀人材育成事業、なかさと交流事業、佐賀市中学生交流事業、海外ホームステイ派遣事業などをそれぞれ計上しております。

最後に12款公債費につきましては、対前年度比1億4千408万7千円減の9億4千677万3千円を計上しております。

元利金の内訳として元金償還分8億4千731万3千円、利子償還分9千876万円を計上しております。

以上が平成26年度久米島町一般会計予算概要となっております。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

次に、中村幸雄プロジェクト推進室長から訂正がございます。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ちょっと訂正の発言ということでよろしくお願ひします。

予算書、26年度一般会計予算書、56ページの沖縄振興特別調整交付金、これ一括交付金事業なんですが、47番の久米島優良繁殖雌牛自家保留支援振興事業810万円計上しておりますが、一括交付金の補助要件に該当しないため取り下げた事業であります。予算入力ちょっと確認作業の誤りにより予算計上してしまいました。今後の対応として補正予算で減額の措置を行いたいと考えてます。今後、確認作業等十分気を付けてまいりますので、ご了承お願ひいたします。

なお、本事業については121ページの農林水産事業費の補助金、これは単独一般財源対応なんですが、久米島優良繁殖雌牛自家保留支援振興事業450万円を予算計上しております。以上です。

○ 議長 喜久里猛

これで訂正を終わります。

本案については後日予定されております予算審査特別委員会において、細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくようご協力お願ひいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「進行」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

日程第26 平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算について

○ 議長 喜久里猛

日程第26、議案第11、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。
大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第11号、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算概要についてご説明を申し上げます。

予算書の1ページをお開きください。平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算は歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ12億4千750万5千円と定めます。歳入歳出とも前年度比と比較すると111万9千円(1%)の増額で共同事業拠出金の見込額が増額となる見込みとなることから予算総額の増と見込んでおります。

予算書の5ページ目になりますが、歳入の主な概要としましてご説明いたします。

1款国民健康保険税につきましては、対前年度比マイナス251万8千円(△1%)の減で、直近の調定額を基に算出しており、新年度の7月本算定後に調整して参ります。

5款国庫支出金では、充当財源である療養給付費が減額見込みとなっております。

財政調整交付金につきましては、対象需要額が年度末に算定されますので、過去の実績等を勘案して算出した結果、減額見込みとして計上しております。

10款共同事業交付金の減額につきましては、沖縄県国民健康保険連合会からの共同事業拠出金額を元に負担割合等を過去の伸び率等に基づいて算出し対前年度比715万1千円(1%)の増額を見込んでおります。

12款繰入金におきましては、215万円の増額見込みとしております。

6ページ目に入りますが、歳出におきましては、2款保険給付費1項療養給付費において対前年度832万7千円(1%)の増額を見込んでおり各年度において流行の病気等が蔓延した場合に大幅な増減が出ることから過去の実績を踏まえて算出した結果、増額見込みとして計上しております。

7款共同事業交付金の増額につきましては沖縄県国民健康保険連合会からの共同事業拠出金を元に負担割合等を過去の伸び率等に基づいて算出し、対前年度比445万7千円(1%)の増額を見込んで計上しております。

以上が平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算の主な概要となっております。

平成26年3月5日提出
久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願いいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

本案についても後日予定されております予算審査特別委員会において、細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくようご協力をお願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

日程第27 平成26年度久米島町後期高齢者 医療特別会計予算について

○ 議長 喜久里猛

日程第27、議案第12号、平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算についてを議題とします。本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第12号、平成25年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算の概要についてご説明いたします。

予算書の1ページをお開きください。

平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ7千103万3千円と定める。

2ページ目になりますが、1款後期高齢者医療保険料におきましては、年金保険者から国保連合会を通じ75歳以上で年額18万円以上の年金を受給している者のデータが市町村へ送付される。そのデータを被保険者と突合し、合致した者を特別徴収対象者候補として抽出する。その抽出結果を基に特別徴収、普通徴収として3千400万3千円、対前年度比マイナス174万4千円(△1.04%)の減と見込んでおります。

3款繰入金では、事務費等の繰入金として56万3千円、保険基盤安定繰入金として保険料の軽減を受けた被保険者分を県3/4、町1/4が支援するもので、特定財源分の一般会計の県負担金として収入後、町負担分を含め、3千624万4千円、対前年度比113万3千円(1.03

%)後期高齢者特別会計へ繰り出す予算となっております。

3ページ目になりますが、歳出におきましては、後期高齢者医療広域連合会費で平成26年度後期高齢者医療保険料決定後に町で徴収したものを広域連合会へ納付する額及び保険基盤安定として、国、県分に町負担分を合算した繰入金を2款後期高齢者医療広域連合負担金として予算計上しております。

以上が平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算の概要であります。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願ひいたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

本案についても後日予定されております予算審査特別委員会において、細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくようご協力お願ひいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

日程第28 平成26年度久米島町水道事業会計予算について

○ 議長 喜久里猛

日程第28、議案第13号、平成26年度久米島町水道事業会計予算についてを議題とします。本案について提案理由の説明を求めます。

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

平成26年度久米島町水道事業会計予算(案)の概要をご説明申し上げます。

1 ページをお開きください。

第2条 給水戸数3,854戸。年間給水量1,006,227m³を予定しております。

第3条 収益的収入及び支出の第1款収入の水道事業収益は2億5千673万2千円を予定し、第1項営業収益は前年度の実績をもとに積算して、2億1千543万2千円で主に給水収益となっております。第2項営業外収益は4千129万9千円で、地方公益企業会計制度の見直しにともなう収入となっております。

第1款支出の水道事業費用は2億4千852万1千円を予定し、第1項営業費用では主に修繕費、動力費、薬品費、材料費、委託料等となっております。第2項営業外費用は主に支払利息と消費税となっております。水道事業経営におきましては、各施設の機器及び配水管等の老朽化に伴い修繕費と材料費に費用を要すると見込み、地方公営企業会計制度の見直しや消費税率引き上げによって平成26年度予算は前年度に比ばまして収入支出とも予算増となっております。予定損益計算においては、821万1千円の純利益を見込んでおります。

第4条の資本的収入及び支出では、当年度は、資本的収入においては167万6千円、資本的支出は5千612万4千円を予定し、主に儀間ダム建設負担金、企業債償還金となっております。収入額が支出額に不足する額5千444万8千円は過年度分損益勘定留保資金と消費税資本的収支調整額をもって補填する予定であります。今年度も「安全な水を安定的に供給する」ことを最大の責務とし、業務を行ってまいります。

3 ページ以降に実施計画書、損益計算書、貸借対照表等の資料を添付しております。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

本案についても後日予定されております予算審査特別委員会において、細部にわたって質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくようご協力をお願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

日程第29 平成26年度久米島町下水道事業特別会計予算について

○ 議長 喜久里猛

日程第29、議案第14号、平成26年度久米島町下水道事業特別会計予算についてを議題とします。本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

議案第14号、平成26年度久米島町下水道事業特別会計予算の概要についてご説明いたします。

予算書の1 ページをお開きください。

平成25年度久米島町の下水道事業特別会計の予算総額は、歳入歳出それぞれ3億547万1千円と定め、対前年度7千803万8千円の減額額予算となっております。

歳入予算についてご説明いたします。予算

書の2ページ目になります。

1 款使用料及び手数料、1 目下水道使用料におきましては、2千396万5千円で、内訳としまして下水道事業、現年度分の81%を見込みで2千91万6千円、農業集落排水事業、現年度分が95%見込み85万2千円、滞納分の3割の219万7千円を過年度分として計上しております。

2 款国庫支出金では、平成26年度下水道建設費1億680万円の10分の6と3分の2の補助率で6千930万円となっております。

3 款繰入金は、1億7千940万2千円となっております。

6 款町債は3千280万円となっております。

以上が歳入の主な内容となっております。

続きまして、歳出予算についてご説明いたします。

予算書の3ページになります。

歳出につきましては、1 款総務費、1 項総務管理費、1 目下水道事業費1億8千250万5千円。5 目農業集落排水事業費171万4千円。

2 款公債費1億2千25万2千円となっております。

平成26年度は、儀間、嘉手苅、山城地区基本設計及び銭田地区自主設計の業務委託、長寿命化事業計画によるイーフ浄化センターの改築工事を予定しております。

平成26年3月5日提出

久米島町長 平良朝幸

ご審議よろしくお願いたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

本案についても後日予定されております予算審査特別委員会において、細部にわたって

質疑ができますので、この場においては大綱的な質疑に努めていただくようご協力をお願いいたします。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

お諮りします

議案第10号、平成26年度久米島町一般会計予算について。

議案第11号、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算について。

議案第12号、平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算について。

議案第13号、平成26年度久米島町水道事業会計予算について。

議案第14号、平成26年度久米島町下水道事業特別会計予算については、議長を除く13人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたと思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。従って、本案については、議長を除く13名の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

○ 議長 喜久里猛

以上で、全会計の予算の大綱的な質疑は終了いたしました。

お諮りします。

7日から17日までの日程で行われる予算審査特別委員会委員長に、総務文教民生委員長の安村達明委員に、副委員長に建設経済委員

長の島袋完英委員を選出したいと思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。従って、予算審査特別委員会委員長に安村達明委員、副委員長に島袋完英委員を選出することに決定しました。

以上で、本日の議事日程は全て終了しました。

本日はこれで散会します。

お疲れさまでした。

(散会 午後2時51分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号3番） 平良義徳

署名議員（議席番号4番） 翁長 学

平成26年（2014年）

第2回久米島町議会定例会

2日目

3月6日

平成26年第2回久米島町議会定例会

会議録 第2号

招集年月日	平成26年3月6日（木曜日）			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	3月6日 午前9時56分	議長	喜久里 猛
	散会	3月6日 午後4時18分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁 長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番			
会議録署名議員	5番	宇江原 総清	6番	安村 達明
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲地 泰	書記	
	係長	吉永 千枝美		
地方自治法第121条により説明のため議場に出席した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良 朝幸	教育課長	保久村 学	
副町長	大田 治雄	環境保全課長	佐久田 等	
教育長	比嘉 隆	建設課長	真栄平 建正	
総務課長	桃原 秀雄	産業振興課長	仲村渠 一男	
町民課長	平良 朝幸	農業委員会事務局長	上江洲 勝志	
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長	津波 実	
税務課長	田端 智	消防長	上里 浩	
福祉課長	山城 保雄	行政改革推進室長	平田 明	
会計管理者	儀間 由紀			

平成26年 第2回久米島町議会定例会

議事日程 [第2号]
平成26年3月6日(木)
午前10時00分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名	65p
第2		会期の決定	65p
第3		議長諸般の報告	65p
第4		一般質問	65p
		散会	125p

(午前 9時56分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、5番宇江原総清議員、6番安村達明議員を指名します。

日程第2 一般質問

○ 議長 喜久里猛

日程第2、ただいまから一般質問を行います。

一般質問の時間は、会議規則第56条第1項の規定によって、これまでどおり30分以内とします。なお、質問は質問席から一括質問、総括質問のあと一問一答方式で行います。

それでは、順次発言を許します。

2番幸地猛議員

(2番幸地猛議員登壇)

○ 2番 幸地猛議員

おはようございます。2番幸地です。質問通告書にしたがって質問いたします。3点ほど質問いたします。

まず、1点目に、火葬場の建設について。現在の火葬場は昭和54年に建設され、築34年が経過しております。施設の機能について、火葬炉が2基設置されていて、十分こと足りていると思いますが、炉前が狭く外で待機し

て焼香してるのが現状であります。また、風の強い時や雨天時には不便をきたしている状況であります。そこで、新たに火葬場を建設する考えはないかどうか。

2点目に、橋梁の耐震構造検査について。町内の橋梁の耐震構造検査を実施したことがあるか。2つ目に、国土交通省は都道府県や市町村などにある65万本の橋のほか、トンネルの安全性を、管理している自治体にすべて5年ごとに点検・診断させる方針を固めたと報道されておりますが、いつから着手する事業なのか。その対象となる町管理等の橋はどこか。3つ目に、防災計画の避難経路との関連性はどうなっているか。

3点目に、施政方針の中から、農業振興のところで、地域でとれたものは地域で消費する地産地消運動を推進するため農業直売所を整備します。とありますが新たに施設を建設する事業なのか。また、既存の施設であればどの施設を整備するのか。

以上、3点質問いたします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

おはようございます。2番幸地猛議員の質問にお答えいたします。

火葬場の建設について。ご指摘のとおり季節により焼香に支障を来しておりました。去った12月に屋根の修繕及び正面入り口に雨が打ち込まないようにカーテンを設置しました。また新たな火葬場建設につきましては、今後久米島町葬祭場整備計画を策定し取り組んでまいりたいと思います。

橋梁の耐震構造について。耐震構造検査で

すが、奥武島1号線旧橋については新橋建設時に耐震構造検査を実施し補強工事を完了しており、その他の橋については未実施となっています。

5年ごとの点検・診断についてですが、国、県からの点検・診断の指示はまだありませんので着手しておりません。町内に79箇所の橋及びボックスカルバートがありますが、点検・診断の対象となるか今後、国、県から指示があると考えております。

防災計画の避難経路ですが、久米島町地域防災計画に基づき、町内の危険区域の避難経路をできるだけ橋を避けて設定しています。

農業直売所ですが、これは字山里にある簡易的な既存の施設をとりあえず建替えてみたいと思います。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

再質問いたします。答弁では、去った12月にカーテンを設置しましたということですが、私自身も身内に不幸がありまして火葬場に行く機会がありましたので拝見いたしました。そこで現場をみることはできましたが、なんとか雨風をいくぶん凌げるという簡易的なもので、十分用を足しているとは思えませんでした。毎年冬場になりますと雨風の強い天気が続きます。今の状況ではいくらか雨風は凌げても十分ではないということですので、いつまでこのような状態に対応しているものではないと思っております。

現在の火葬場は、先ほども申しましたが、幸い炉が2基ありまして、これまで町民のニーズに、十分とはいわなくてもそれなりに尽

くしてきたとっております。現在の炉は耐震構造は大丈夫かと心配しております。去った2日に震度3の大きな地震が2回ありましたが大丈夫かなということで個人的には心配しております。そのようなことから、築34年も経っていますので、また使い勝手も悪くなりました。もうそろそろ建て替える時期ではないかということです。

答弁で、久米島町葬祭場整備計画を策定して取り組んでいくということですが、具体的にどのような方法で進めていくのかお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

ただいまの幸地議員のご質問にお答えいたします。お手元に資料もお配りしましたけれども、カーテン設置のところは11月の末に上からはく離、コンクリートの殻が劣化して落ちてまいりまして、早急に対応しないと焼香、火葬等にも支障をきたすということで、財政にお願いして予備費を充当してもらいまして対応しました。十分な対応ではなかったかと思いますが、焼香と火葬は今のままだとある程度は凌げるんじゃないかと思っておりますので、そのへんはまた今後対応していきたいと思っております。

そして、新たな火葬場の建設につきましては、葬祭メモリアルホールも含めて再度町民から必要かどうかアンケート等ももらって、久米島町葬祭場の整備計画を早めに予算をつけてもらって計画をつくり、どの予算でつくれるのかも調べながら対応していきたいと思っております。他のところの2点ほどの資料もお配りしましたけれども、対応できる補助事

業はなかなかございませんでして、調べたところ、火葬場整備にあたって活用可能な制度ということで調べていきましたら、その中に火葬場整備に活用可能な国の交付金や補助金の制度は存在せず、基本的には各自治体の単独負担で整備する必要があります。各自治体が単独負担で火葬場整備を行う場合、一般単独事業債として記載することができ、充当率は記載対象額の75%まで活用可能ですというのが出てきましたので、そのへんも含めて今後早急の整備計画を立ち上げまして取り組んでいきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

担当課長がこういうかたちで、以前につくった久米島町葬祭場整備計画、仮称案ですが、例えば火葬場だけじゃなくて祭場も含めてということで今後進めていくということで理解してよろしいでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

以前に久米島町墓地整備基本計画をつくったときも、町民の方々がセレモニーホールがあれば利用したいという方々が約48.7%おりましたので、そのへんも含めて今後その計画にアンケート等を再度取りまして盛り込んでいきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

今、担当課長が財政的に補助金がないと、これまで一般単独事業債で対応していると。要するに100%借り入れして返済ですから厳

しかったと思っております。去った2月の20日に町村議会議員の研修会がございまして、その時に県の町村課長からこういったかたちで新しい年度の予算に対して説明会がありました。その中に平成26年度町債計画がありまして、その中の過疎対策債、去年までは全国ベースで3千50億円。今年3千600億円。550億円増えているんです。その理由はということで説明がありましたが、今年から火葬場が過疎法の適用を受けて過疎債が提供されることになったんです。ですからこの過疎法というのは議員立法ですから、全国の過疎地域において葬祭場の必要性が求められてきている表れではないかなと思っております。

そこで、久米島町も葬祭場整備計画を進めるということですが、この法律を受けることになりますとおそらく財政的にはだいぶ楽になりますし、非常に前向きに取り組んでいけるかなと思っております。そこで、今回、この整備計画を進めていくということですが、進めていくためには町の基本構想、それから基本計画、新町計画に乗っけて、更には過疎計画に乗っけないと、この過疎債が適用されないですよ。現在、この火葬場についてこういった上位計画の中に入っているかどうかを確認させて下さい。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

久米島町第一次総合基本計画の後期基本計画の中で、4ページの潤いのある集落環境づくりの中の快適な生活基盤の整備ということで、葬祭場の新設、重要度A、5年重点で○が付いて、取り組む重要度があるということであつたわけしておりますので、これがまた今年

度で切れます。新たな26年度から策定されるのにも重要度がありますので、5年再度盛り込んでいって取り組んでいきたいと思いません。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

ぜひ進めていってもらいたいと思っております。現在、課長からありましたが、仮称久米島町葬祭場整備計画ですが、この火葬場はやはりいろいろ出ていますね、使い勝手が悪いと、雨風を十分凌げないということで、天気の悪い日でも何不自由なく利用できるよう、この際思い切ってすばらしい施設を建設してもらいたいと思っております。

そして、祭場建設にあたっては、祭場を進めるにあたっての基本方針、それから施設の能力、建設予定地、それから事業所など、委員会を立ち上げて、細かいところを研究して、他の市町村の施設も見て参考にしながら、島に合ったものを、ぜひ、建設してもらいたいと思いますが、町長から答弁を求めたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

葬祭場の件ですが、これにつきましては以前からなんとかしなくちゃいかんという考えは一緒だと思います。久米島町でもやっぱり老人世帯が多くなって、各集落で青年会、成人会の活動が活発さがなくなっているということで、各家々で告別式をやるというのは非常に負担がかかっているという現状です。それに基づいて幸地議員からありましたとおり、火葬場の老朽化も進んでいるということ

で、総合的に葬祭場も一緒にできないかということで、今後、皆さんの意見を集約して、この前にやっぱり必要か、必要じゃないかという基本的な部分から初めて、この計画を積極的に進めていきたいと思えます。

新町計画の中にも福祉の中に入れて込んでやっていきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

過疎法の適用もできますので、そんなに財政的には負担にならないと思っております。

次に、2点目の橋梁の耐震構造検査について。答弁では、耐震構造検査実施は奥武島1号線については新橋建設耐震構造検査を実施し補強工事を完了したが、その他の橋については未実施となっているが、これは町が建設した耐震構造検査を実施していないということですが、なぜその他の橋については未実施なのか。これまでやってこなかったのか。やるべきだったのか、やらなくてもよかったのか、そういったことを答弁お願いします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

今までの国、県制度の中では耐震検査の実施は指示、そしてまた義務づけはされておられませんでした。奥武島につきましては県の補償工事で実施しました旧橋につきましては町の方で新たに2車線にするということで新しくつくった橋、それを実施する際に効率的に財政上も考えまして、同時にやったほうがいだろうということで、また今後やるとした場合に漁港の航路との支障も出てくるということで、併せてやったという経緯であります。

この耐震構造検査については7月頃に国の方から県市町村の方に指針が示されるということでマスコミ報道で出ております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

関連しますが、いま銭田橋改修していますね。銭田橋は耐震構造検査は実施しましたか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

銭田橋の改修工事につきましては、長寿命化修繕計画策定ということで、橋の建て替える以前に町の橋全体を長寿命化を図るということで補修で長寿命化が図れないかということで調査をやっております。それに基づきまして調査した結果が銭田橋についてはすぐにも更新が必要ということで診断されて、建て替えというかたちになっています。耐震構造検査ということではなくて長寿命化を図るという観点からの調査でありました。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

答弁に再度確認したいんですが、79カ所の橋ということですね。この中に土地改良事業で施工した橋も含まれていますか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

含まれております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

この一般質問を出した後、新聞報道がなさ

れたんですが、読み上げてみたいと思います。

トンネルと橋、自治体に点検義務づけ、国交省方針。老朽化対策で統一基準ということで新聞報道されています。国土交通省は6日、都道府県や市町村道にある橋やトンネルの安全性を管理している地方自治体に5年ごとに全て点検・診断させる方針を固めた。インフラの老朽化対策として義務づけを明記した統一基準を初めて策定し、平成26年度から適用を目指す。併せて財政面や技術面での支援策も検討するという事です。

中央トンネル、中央自動車道、笹子トンネル、山梨県にありますが、天井板崩落事故を受け、国交省はインフラの総点検に乗り出した。財政難などで取り組みが不十分な自治体もある中、老朽化する施設の維持管理のため統一的なルールづくりが急務と判断した。道路法上、維持管理は努力義務となっているが、これまでは統一基準がなく、自治体ごとに取り組みに違いがあった。国交省は16年度から国管理の全ての橋を対象に5年に1回点検しており、同様の規定を盛り込んだ基準を策定して、自治体に適用すると。具体的に点検の際、健全、小規模な手当て、本格的な修繕、緊急対応が必要の4段階で診断し、計画的に修繕を促すと。点検や修繕の履歴を記録することも求めるということなんです。

そういうことで、先ほど4月ということですが、この一般質問がきたあと県の方にこういった例えば新年度から始まるこの検査について問い合わせたことがございますか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

県の方に一般質問が出た後に問い合わせしました。その際、県の方も情報は全くないということで、我々も2月27日の新聞報道でそういった情報を知り得たということでありませぬ。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

NHKでやっていましたが、これまでこういった点検作業が進まなかった理由が、どうしても専門家職員が少ないと、市町村にですぬ。そして、実際にやるときに足場を組むので相当経費がかかると、何千万円と。そうすると小さい市町村では莫大な費用がかかるのでなかなか取り組みができなかったと言われてしています。

そこで、4、5点ほど例がありますので参考に読み上げたいと思います。最近では、コスト削減の点検方法として、足場をかかなくてもできる方法として、広島のある会社でラジコンヘリを飛ばして検査データをとるということです。それから、大阪市立大学ではロボットを使った点検。ロボットは平面しかできないので裏側はなかなかできないということです。

更に独立行政法人土木研究所では、これまでコンクリートを人が剥がないとコンクリートの中の鉄筋の腐食が見られなかったんですが、車輪に磁石をつけて、曲がりくねったところも這わせて検査するというところまで研究されています。ただ、この場合に磁石ですからコンクリートはできませんよね。鉄骨でつくったものはできるんですけどもコンクリート製はできないということです。

更に進んで、東京原子力研究所ではエック

ス線を使って鉄筋の腐食を知る検査方法をやっていると。

そして更に進みまして、山口大学工学部研究所ではバスのタイヤに特殊な装置を付けて、バスが橋の上を通るときに揺れを診断しデータをつくってやっていると。このことは小規模な自治体には非常に有効じゃないかということで、山口県の宇部市で実施されているということです。

更に、鉄筋は腐食するものですから、鉄筋の代わりにアラミド繊維という特殊な繊維があるそうです。その繊維を鉄筋の代わりに使うと。ただ、これは100年以上も大丈夫なんですけど、鉄筋に比べて約7倍のコストがかかるということで、いろいろと今、大学とか研究所の方でやっています。全国的にいろいろなかたちで防災対策について研究されていますが、特に防災対策として橋やトンネルについては非常に重要な事業になってくると思っています。

今回、国の基準が町にある橋のどれどれが検査の対象になるか分かりませんが、大災害時の避難経路にいかにか橋やトンネルが大事な役目を果たすかということが重要な課題になってくると思っています。

そこで、避難路について橋と避難経路との関連ですが、答弁では、久米島町地域防災計画に基づき町内の危険区域の避難経路は出来るだけ橋を避けて設定しているということです。

しかしながら、お互い日常的に毎日通っていると必ず橋に遭遇する地域があると思うんです。例えば防災計画はあると思いますが、こういったところをどういったかたちで避難していくとか、具体的に久米島地域のあられ

ばお願いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

ただいまの質問にお答えいたします。防災計画での避難経路は先ほど出来るだけ橋を避けて設定しているんですが、その中でどうしても避けることのできない橋が数カ所あります。それも年に1回の避難訓練の中で各区長さんと話をしながら橋を避けて避難経路を設定するという事になっていきます。

それと、今年度いっぱい防災マップを計画して、やがて出来上がります。この防災マップで避難経路を全部設定して、それを各世帯に配る計画でいま進めています。それを見ればどの橋を避けて高台に避難するというかたちの防災マップ作成作業を進めているところなんです。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

避難経路は確かにマップの中でこれから示されると思うんですが、実は特に仲里地域です、高台に避難するにはどうしても橋を渡るんです。タイ原から銭田川まで川が流れているものから、どうしても常日頃のお互いの通っている道路ですから、どうしても橋を渡るということになろうかなと思っています。

そこで、よく地域のお年寄りから、公民館で部落の敬老会とか、新年会とか、例えばグランドゴルフの反省会、それから集落内清掃の時に、よく話題になります。大きな地震や津波がきたときに、タバルの橋は大丈夫かなと。町は本当にこの橋は大丈夫だと考えてい

るのかなという話がこれまで何回か出てきております。ほとんど80歳以上の高齢者の皆さんからのお話ですが、集まる度に、そういったことが話題になっております。先ほど避難経路は橋を避けて避難するという事でありましたが、しかし比嘉ですと、すぐ目と鼻の先が高台なんです。どうしても迂回ができないと思います。ですからさっき言った耐震構造をして、しっかり橋をやってほしいということですが、そのようなことからしまして、ぜひ地域の方々がどんな災害時にも安心して避難できるような、町管理の橋については耐震構造検査をして地震に耐えられるように整備すべきだと思っています。橋は町民の生命を守るということにつながっていくと思っています。ぜひ、そのへんのところに理解して橋の管理についてはしっかり取り組んでほしいと思っています。4月に県の方から説明会があると思いますが、先ほど申しましたように、どの橋が適用されるか分かりませんが、しかしながら79カ所は、ぜひ、しっかり調査をして対応していただきたいと思います。

次に、地産地消運動を推進する農業施設と、答弁では字山里にある簡易な既存施設を建て替えますという答弁ですが、実は、平成23年12月定例会において、地産地消の町の取り組み状況について質問いたしました。その時の町の答弁では、地産地消については地元で生産されている産物の調査や消費動向を調査し、地産地消ネットワークを構築していくための準備を進めているところであると。

現在大きな課題となっている夏場の野菜の供給ができるように、試験栽培を行うことで栽培技術を高め、年間を通して野菜が供給できる仕組みづくりをしているところであると

いうことでした。

今回のこの施設は、これまでの町の取り組んできた延長線上で考えたものか。また新たに、ぜひこれはやらなくちゃいけないという施策で出てきたものか、答弁をお願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

ただいまの質問にお答えいたします。これまで町の方針として地産地消ということ掲げているいろいろ取り組んできていますが、目に見える進展がなかなかなかったというところがございます。

現状としては、農村地域でありながら逆に町外から多くの野菜を輸入しているというのが現状でございます。その一方、農家が生産する規格外の農産物もかなりございます。そしてまた各家庭で家庭菜園としてつくっている余剰農産物も一方ではかなりあるという現状の中で、それをうまく島内で回す仕組みづくり、それは必要だろうということで、今回の農産物直売所の整備ということに至っております。

それから、夏場の野菜の自給率については、この事業とは別にまた海洋深層水を使った冷熱野菜栽培の実証事業を約1,000㎡のハウスをつくって始まりますので、夏場のは野菜についてはかなりの町内の自給率の向上につながるのではないかと考えております。出来れば学校給食あたりでも少々単価は高いかもしれませんが、そこを少し安くして使っただくような仕組みも必要だろうと考えています。

今回の簡易施設、山里にある施設ですが、これも元々町が地産地消を進めるためにちょ

っと補助をしてつくってもらった施設でございますが、上はトタン葺きで、側は防風ネットを張るぐらいの簡易の施設でございますが、ずっと100円で農産物をこれまで販売してきておりますので、それを少し発展させてできればと思っております。これについては8名の農家が参加して、そこで生産計画を立てて、その中の一部をそこで直売していくということになります。併せて今回、町が全島無料Wi-Fiを整備しましたが、その中に地産地消システムが入っております。例えば、今回整備する直売所に今日はどれぐらいのどういった品物があるということ登録すれば、それを見て買いに来る、あるいは注文するといったような展開も可能だと思っております。

今回の施設については、100㎡弱の小さな施設でございますが、小さなものから次第にうまく運営して発展させていければと思っております。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

今回、場所的に山里地域なんです。他の地域でもそういった団体をつくって、ぜひ地産地消をやりたいという要望があれば、それも町として対応してくれますか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

地産地消の仕組みについては、直売所だけではなくて、直売所を持たなくてWi-Fiを使ってやろうというグループも既に活動は始めています。

その施設については、今回つくるものを一

つのモデルケースとして、それがうまくいけばそれは他の地域でも可能性は十分にあると思っています。数年前に農協の方でかなり大きなものをつくってやろうという構想がありましたが、大規模施設になると運営の面でいろいろリスクが伴うとかいう部分もございまずので、小学校校区ぐらいの範囲内でこういう仕組みができれば運営上もリスクもなく、逆にまた地産地消、農産物を持ち込みやすい、買いやすいという部分があるのではないかと考えていますが、今回の山里の事例をモデルケースとして今後取り組んでいきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

自分も退職してから、ちょっと農業をやっていますが、やはりこれから段々高齢化していくと思うんです。年を取りますとなかなか投資をして例えば大型化することはなかなかできないです。ですからこの地産地消が非常に今後大事になってくるし、また地域で相当生かされてくると思うんですよね。今Aコープの方で結構やっていますが、いっぱいですね。その他の方々も出したいけれどなかなか出せない。ですからこういった施設があると自分たちで運営できるというところまでできていると思います。幸い今回、山里の方でできたので、他の地域からもおそらくそういった要望とかが出てくると思うんです。町の方としてもぜひ町全体の中でこういった地域がありますよと、こういった方向に農業を進めましょうということを理解をしていろいろなかたちで進めていってほしいと思います。

そして、地産地消の意義とかいろいろ言われていますが、ぜひこれから島の自立経済を目指すためには大事だと思います。役場職員もこれから何名か退職して、何をするか分からない。しかし、この地産地消をしっかりとやれば、それなりの仕事、島の活性化のためにお互い貢献できるかと思っています。そういうことでぜひこのことについてはしっかりと進めていってほしいと思います。

今回、この地産地消を幅広く、これまで取り組み出来なかったのが1つあるんです。加工施設がなかなかできていないんです。地産地消の中には2つあるんですね、直売を売ると、しかしながら確保して更にそれを展開していくと、地元だけじゃなくて島外に展開していくという2つの大きなねらいがあると思いますが、この加工施設についてどういったかたちで今後進めていきますか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

今回の直売所の中に、一部農産物の食材を加工して、例えば天ぷらを揚げて販売するような部分も一部小さくですが入っています。加工施設につきましては、今回も今年度予算で紅イモの焼き芋機を1件導入いたしました。今後、紅イモの生産が非常に増えてきますので、その紅イモを原料とした加工食品ができないかということ、26年度から、まだ予算化されてませんが取り組んでいきたいと思っています。

基本的には、加工するとなると、その材料となる作物が必要ですので、そういったしっかりと材料を確保できるということを前提に、そんなに大規模ではなくても、まず

は小さなものから広げていけるようなかたちで、26年度から、その分を新たに組み組んでいきたいと考えております。

それから、先ほどお話がありましたWi-Fiについて担当課から詳しく説明いたします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

関連する回答ですが、先ほど全島Wi-Fiを使った地産地消システムということですね、現在実証中なんですけど、現状として、実際家庭菜園とか農家の小さい畑でつくった野菜が消費されずに腐れてそのまま捨ててしまうというパターンが多々あるということで、いまNPO法人久米島、これは婦人会を中心としてつくったNPO法人ですが、そこが中心となって需要と供給をマッチングさせるためのシステムということで、そのWi-Fiを使っていま実験中です。それで兼城ターミナルの一角を使って直売所も開設しております。もし時間がありましたら、ぜひ、見学していただきたいと思っております。そしてまた声がけして激励もしていただきたいと思っております。

実際いま21名の農家個人が参加していて、口コミでどんどん広がってきてまして、これ以上はもう対応できないという嬉しい悲鳴も上がっております。ある意味それがうまく循環していくと、島全体に広がっていくととてもいい地産地消システムができると考えています。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

この地産地消を一気に広がりそうなんです。こういったかたちで町が音頭をとって、例えば施設をつくるとか、流通関係を整備したりだとかやりますと、結構いると思うんです。逆に言うと待ってる状態じゃないかということ。これは私も含めてなんですけど。最近、こういった加工はどうかなということ。個人的な試験的ですが、例えばダイコンの干し株ですね。昔はキビの間に植えていましたね。結構量が取れるんです。いま南部の八重瀬町でやっていますね。夏場も植えているということなんですけど、そういったかたちですぐできるものから、やはり売っただけじゃなくて、それを加工してとか、そういったことも今後ぜひやってもらいたいと思っております。

以前にも話しましたが、岐阜県の明宝村というところがあるんです。明宝ハム、ジャムが有名なんです。年寄りが例えばトマトを植えて、以前あった生活改善グループのおばさんなんかそこでジャムをつくると。そしてトマトをつくったときに買うのはキャッシュ、現金で買って、それを生活改善グループにやってそれを売ると。全国的に有名なんです。明宝ハムにプラスアルファジャムということで、そういったかたちで地道なことができる、こういった先導をさせてあげれば、この久米島は自立できると思っております。

そこで最後に町長の答弁をもらって終わりたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

地産地消につきましては、私が就任して以来ずっと懸念事項、課題でありました。こん

な小さい農業の島と言われながら、自分たちでつくった野菜を食べない。セロファンで包まれた野菜を買ってわざわざ食べていると。他所に金が流れているということで地産地消を推奨してきたわけです。これまで経過として、やはり仕組みづくりをやらなくちゃどうしようもないだろうということで、特にJAさんと協力してファーマーズを導入しようとして一生懸命やった経緯もあります。残念ながら市場の問題でできなかったんですが、それで各地域地域で、また月に何回か直売所を設けてやったんですが、これもやっぱり需要と供給のマッチングができてないというのが原因で、どんどんこれがなくなっていったという経緯の中で、先ほどもありましたとおり、何とか誰か中心になる人がいて、それでつくる人がいて、データベースをつくって、その中で誰が何をつくっているというのが分かれば、ホテルとか居酒屋とかに供給できるんじゃないかと考えたのがWi-FiによるNPO法人を中心にした活動ですが、これはWi-Fiだけではなくて、小さな場所があって、そこに人が集まるところがあれば、すぐ可能だと思います。これからもまた町が中心になって、なんとか施設の問題、場所の問題、あるいは仕組みの問題、検討して積極的に進めていきたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

2番幸地猛議員。

○ 2番 幸地猛議員

地産地消は、これからも何度か機会がありましたら取り上げていきたいと思っていますが、ぜひしっかり取り組んでもらいたいと思っています。

(2番地猛議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで2番幸地猛議員の一般質問は終わります。

次に、12番仲村昌慧議員の発言を許します。

(12番仲村昌慧議員登壇)

○ 12番 仲村昌慧議員

質問の前に訂正をお願いしたいと思います。基地問題についての3行目の、政府は「今年」のところを、「平成26年」に文章を変えていただきたいと思います。

それでは質問します。12番仲村昌慧です。通告書に従いまして3点質問いたします。まず、基地問題について。昨年12月6日に小野寺防衛相は、鳥島射爆撃場で実施している爆撃訓練の一部を米軍三沢対地射爆撃場に移転することを発表しました。政府は、平成26年1月の名護市長選挙が知事の埋め立ての可否判断に影響を与えないよう、年内に知事承認が得られることを目指して、沖縄の基地負担軽減を打ち出し、理解を得たいとの思惑があるとされていました。

そして、12月27日、知事は辺野古埋め立て申請を承認しました。県議会は公約違反に抗議し、辞任を求める決議を可決しています。仲井真知事が辺野古埋め立てを承認したことについて、町長の見解をお伺いします。

次に、鳥島射爆撃場での米軍訓練の一部移転についての詳細をお伺いします。

次に、パークゴルフ場について。久米島シーサイドパークゴルフ場がオープンして、やがて1年になりますが、これまでの利用者数・利用料・収支状況を伺います。

それから、1月16日に開催された本間カップパークゴルフ大会は、県外から多く参加がありたいへん好評でありました。今後このよ

うな大きな大会を誘致する計画はあるのかお伺いします。

3点目に、綱曳きについて。昨年13年ぶりに綱曳きが復活し、久米島町祭りを盛り上げましたが、今後、綱曳きをどう継承していくのかお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

12番仲村昌慧議員の質問にお答えします。基地問題について。知事が辺野古埋め立てを承認したことについては、政治的判断についてのコメントは控えさせていただきたいと思っております。

次に、鳥島射爆撃場での米軍の一部移転についての詳細ですが、米海兵隊岩国基地(山口県)所属の戦闘機等が嘉手納飛行場を拠点に鳥島射爆撃場で実施している空対地射爆撃訓練の一部を三沢対地射爆撃場(青森県)に移転するという計画でございます。

パークゴルフについてですが、久米島シーサイドパークゴルフ場の4月から1月までの実績として、利用者数17,178名、利用料787万6千250円、支出434万7千611円となっております。なお、緊急雇用として4月から12月までの人件費と消耗品で585万1千935円が観光協会からの支出となっておりますので、その分を町支出と合算しますと、支出の合計が1千19万9千546円となります。大会については、3月にJAL、JTAによる北海道交流大会。5月にはJTAカップが予定されています。

綱曳きについてですが、今後の大綱曳きについては昨年10月に開催した実行委員会の中

で「ワラの確保等については引き続き困難なことが予想されるが、3年に一度開催(次回28年度)することを決定しています。保存継承についても今年度実施後の反省点、要望事項等を踏まえて保存会などを中心に方法を検討していきたいと考えています。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

基地問題について再質問します。答弁の中で、知事が辺野古埋立承認したことについては、政治的判断でコメントを控えさせていただきたいという答弁であります。答弁を控えることは非常に残念であります。私は2月に琉球新報のアンケートの中で、町長はどのようなことを答えております。「政府が普天間飛行場を辺野古に移設を進める方針については、町長は移設を断念すべきだ」と回答しております。そして、「普天間飛行場返還移設問題をどう解決すべきだと思いますか」という質問に対しては、「国外に移設すべき」と回答しております。それから、「県議会や一部の市町村議会で知事に辞任を求める決議を可決するなどの動きについて」は、「議会の判断を重く受け止める」と回答しております。そして、4点目の質問の中で、「2013年1月に41市町村長がサインしたMV22オスプレイの普天間飛行場からの撤去、同飛行場の県内移設断念を求める建白書の意義について」「署名した自身の考えも変わっていないし、建白書の意義も失われていない」と回答しております。私は町長のこのアンケートに対して同感で賛同しております。

それで今回、町長が基地問題についての見

解に非常に期待しておりました。政治家は理念をもち信念を貫き、堂々と考えを述べるべきと思っています。どうですか町長、基地問題について再度見解をお聞きしたいと思いますがいかがでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

基地問題につきましては、議会の方で知事に対するコメントをやるべきかどうかと揉めました実際。しかし、私の考えというのは、ただいま仲村昌慧議員がおっしゃったとおり新聞のアンケートのとおりでございます。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

議会で答弁すべきかと揉めたということは、これは町長自身が判断すべきじゃないですか。実はですね、町長、いま一番注目を集めてる発言は、去年、建白書の要請行動の中心的な役割を果たした那覇市長の翁長雄志市長の発言がいつも注目されています。非常に私もその発言に対して共感している者でありますので、これまでの発言を述べさせていただきます。

「沖縄だけに基地を置いて本土の方たちは何もしないのでは、日本の本気度が感じられない。じゃあ沖縄が100年間受け入れようかというのは今の政治家として、責任世代として許されることではない。沖縄は日米両政府にとってちっぽけなもの。だから心を一つにして、まずノーと言わないと何でも沖縄に持ってこられる。辺野古移設を求め、今後100年は置かれ続ける基地の建設に知事自ら加担した。未来の沖縄を担う世代が、今後の基地

問題に対しての異議申し立てを行う根拠を奪ってしまうのではないかと、基地が沖縄経済発展の阻害要因となっている」とし、「沖縄は基地依存経済であるという誤った認識を正していくことが重要だ」。そして、県経済界からも県内移設反対の声が出ていることに対して「自然を満喫できる県北部に基地ができ、その上空をオスプレイが頻繁に飛ぶようになると、観光客は、素晴らしい場所に来た、とは感じないのではないかと。県経済界の方が自然環境を残すため、辺野古に基地を造らせてはならないと考えるのは当然だ」と延べている。

翁長那覇市長の信念を貫いて理念をもって堂々と発言しております。町長はこれに対してもコメントしないんですか。これに対していかがお考えでしょうか。

そして私は、もう1人のコメントを紹介したいと思います。町長もお聞きしたと思います。今年1月の久米島町の成人式で、成人者が自己紹介のスピーチの中で、名桜大学の生徒でありました。

「知事が辺野古埋立に申請したことは、非常に残念に思います。私は瀬底大橋へのヘリ墜落の現場を目の当たりにしました。普天間のオスプレイの問題も実感として感じるようになりました。私は国に屈しない人間になりたい」というコメントをしていたのを町長憶えていますか。そういったコメントをお聞きして、町長は基地問題についてコメントしないんですか。それに対してどうお考えなのか、今までのコメントに対して町長の考えをお聞きしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

知事が辺野古埋立てを承認したことについては非常に残念だと思っております。これは新聞で私がアンケートに答えたとおりであります。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

実は本土の方々、いま沖縄は基地依存経済だと非常に誤った考えをもっています。一昨年、ある県外の市議会が久米島視察に来ました。ちょうどその時に議長は公務出張で、私がその市議会を歓迎会で出席しました。その時に、本土の議員達が、沖縄経済は6割は基地経済で成り立っているようなものだと言っていました。とんでもないと、そこで私は反論しましたが、まだまだそういった認識をもっています。なぜ沖縄だけが今までの基地負担をしなければいけないかということも本当に憤りを感じています。

今、保革を超えて沖縄が一つになろうとしています。今月の22日にはオール沖縄の再結集を目指して建白書実現の協議会の発起人会議が開かれます。新たな基地は要らないというウチナーンチュとしてのアイデンティティと誇りを持って基地問題に取り組んでいただきたいと思っています。

その問題についてはもうちょっと町長から、国に対して、県に対して、堂々と基地問題については主張していただきたいと思っております。ただ基地問題は残念であるだけじゃなくてももうちょっとコメントないですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

ただいま仲村議員がおっしゃったとおり、確かに基地問題というのは本土の人達にとっては人ごとだということは、私もずっと国に行って感じたことでもあります。

現に基地経済に依存しているということもこれもおっしゃったとおりであります。北谷町をご覧になっても分かると思いますが、ハンビーが返還された、そこはものすごい経済的に活性化しているということを考えれば一目瞭然なんですね。これから言って、基地がなければ沖縄は成り立たない、とんでもない話であって、早く全部基地をなくしてほしいというのは全県民の願いだと思います。私自身もそう思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

まさに今の発言を僕は期待していたわけがあります。町長、実は一昨年の12月に翁長那覇市長はオスプレイ配備反対の際にこのような発言をしています。「沖縄に経済援助なんかいらぬ。税制の優遇措置もなくしてください。そのかわり、基地は返してください」。そして、こういうことも言っています。「米軍基地が県経済の発展を阻害している」と言っています。引き続き、この問題も含めまして、鳥島射爆撃場の全面返還を引き続き求めていただきたいと思っています。鳥島射爆撃場の詳細については回答のとおりであります。鳥島射爆撃場が、これまでとどのように負担が軽減されるか、そのことについてお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

ただいまの仲村昌慧議員の質問にお答えいたします。この訓練は、日米間の相互運用の向上を資するとともに、本来であれば嘉手納飛行場に飛来してきて、岩国からですね、嘉手納飛行場を拠点に鳥島射爆撃場周辺の訓練したいものを、年間約30日間を青森県の三沢の方に移転してやるということです。それによって普天間飛行場の騒音の軽減とか、今までずっと鳥島射爆撃場周辺で事件、事故等がありました、そのへんのある程度の軽減は図れるのではないかというふうになっております。

それと2月11日の琉球新報の方に、青森県の三沢市長が、沖縄負担軽減ということで射爆撃場の移転を容認する見通しということを経済新聞に報道されておりました。先だって、2月26日の東北新聞ですが、その中で三沢市長が25日の会見で、総合的に検討した結果、受け入れやむなしということで表明していることから、早急に移転が実現できるものと思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

今の答弁の中で、年間30日、ある程度軽減されると。年間最大で30日なんですね。それが本当に30日が負担軽減されるのかどうか不透明だと思っております。本当に軽減できるようなそれも注視していただきたいと思っております。これで基地問題については質問を終わります。

次に、パークゴルフについてです。いま収支報告を聞いた中で、約232万円ぐらいの赤字となっております。今後この赤字を少なくし、そして黒字にもっていくには、どのよう

な取り組みが必要なのかお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

我々もできるだけ町直接の管理じゃなく民間に民営委託も考えて進めておりますので、やはりこの赤字を出来るだけ黒字にもっていくためには、まずは利用者を増やす。そして歳出をもうちょっと減らす。そうなりますと利用者を増やす方策になりますと、やはり直近の資料によりますと、2月が製糖期でだいぶ落ち込んでいます。またその反面、北海道を中心に観光客がある程度利用者がおりますので、1、2、3を東北、北海道を中心とした観光客を誘客をキャンペーンする、それもあると思います。

さらに、いま火曜日を定休日にしております。現場と調整して4月から火曜日も営業する方針で現在動いております。そうなりますと4月から2月までの平均的な入場料が11月、そして月曜日から金曜日までの平均的な利用者数でいきますと水曜日、その平均的な数字をもちますと毎週火曜日オープンすると年間約76万5千円ぐらいの歳入が見込まれます。それも含めて我々出来るだけ歳入1千万円、歳出1千万円を目標に26年度は取り組んでおりますが、26年度の予算で利用料902万3千円を計上しておりますが、今後また黒字にもっていけるように努力はやっていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

いま収支状況の中で赤字が232万円あり、そして私はこれまで火曜日の休みを年中無休

にできないかということということも何回か話したことがあるんですが、その中で人件費がかかるので、それは無理だということでありました。今後そのところはどのように調整していくのか、勤務調整してやっていくのか、そのところお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

定休日の火曜日につきましては、通常どおり職員3名出勤しております。その日に集中的に芝の管理等行っております。通常どおり出勤しておりますので、いち担当課長の意見としましては、例えば午前中に海側のコースを18ホール管理すると午前中は逆の学校側でプレーしてもらおう。午後は逆に学校側を管理すると午後の利用は海側を使ってもらおう。あとは、出来るだけボランティアの方々を募りまして、午前中ボランティアで芝刈りとか、手伝ってもらえるの方々には1日無料券を差し上げて、維持管理の軽減に努めるとか、そのへんを26年度は取り組んでいきたいと思いません。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

1月16日の本間カップは大好評でした。北海道、秋田、山形、岩手、宮城、福島、石川、富山、千葉、群馬、愛知、大阪、奈良、鹿児島、14道府県からの96名の選手がみえて、それ以上の人達が見えていたと思いますが、すごい好評でした。懇親会の中でも大阪の方は久米島が好きになったと。石川の方が久米島に来て充実した日々を過ごしたと、たいへん満足していますということをいろんなゴルフ

場のコース、非常にいいお褒めがありました。

北海道から来た方が、向こうは本場ですから、このような大会は儲けるということは考えるなど。参加する人たちが喜ぶ大会にしてくれと。商品をたくさん出ささいと。スポンサーを募って商品を出ささいと。そうすることによって、その人たちは賞品をねらいに4、5日前から久米島に来て練習すると。すごい滞在期間が長くなりますから、そこで久米島に金が落ちますよということをおっしゃっていました。ぜひ、このような大きな大会を、これからどんどん誘致して観光客を増やしてほしいと思っています。観光客の誘致活動については、どのような活動をこれからなさる計画なのかお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

平成25年度も観光協会を中心に北海道にパークゴルフ場の営業に行きました。そして今年度も商工観光課で、その部分の予算を観光協会に委託して取り組んでいきますので、やはり東北を中心としたパークゴルフ場の営業に力を入れていけば、久米島のパークゴルフ場が全国的にも有名になるのではないかと考えております。

更に、先ほど仲村議員がおっしゃいました商品の件につきましては、商工会の嘉手苅会長に5月のJTAカップの際には商工会として加盟している企業から商品の提供をお願いしますということで打診していますので、快くまた了解いただいています。そのへんはまた積極的に取り組んでいきたいと思いません。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

久米島の素晴らしいパークゴルフ場、これからどんどん観光客が増えてくると思います。ただ、一番心配されるのがマナーです。私たちもやりながら、いつも癖になっていて、マナーをよく指摘されました。その時にもマナーを指摘されて、素直にそれを反省しながら一緒に交流しましたが、町内では、これは非常にいいにくいところですが、以前にも指摘がありました。立ちション便、これは非常に悪影響が出ますので、これはぜひ厳しくマナーを守るようにやっていただきたいと思っております。これからこのパークゴルフ場で久米島の冬場の観光客が増えることを期待しております。

もう1点、いつでも誰でも手軽にできるので、特に中学生、高校生の子もたちが親子でやっている微笑ましい光景があります。できたら中高生に、体育の時間に体験学習として取り入れることはできないか。そういうことも検討してみてもどうか。健全育成にもつながると思いますので、そこも教育委員会と検討して、中学生、高校生に午前中の空いた時間帯に体験することができないか、検討してみてもいかがでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

昨年度におきましては仲里中学校の3年生が遠足でパークゴルフ場へ来てパークゴルフを体験してもらいました。さらには、今年2月に隣にある久米島中学全校生徒が36ホール体験しておりますので、教育委員会に親子3世代のグランドゴルフ大会等ありましたので、そのへんパークゴルフでそれが復活でき

るのか、そのへんまた教育委員会と調整して取り組んでいきたいと思っております。あとは教育長からお願いします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

私たちも社会教育の一環として家族の交流、そして地域の交流などがありますので、そのへん学校と連携しながら子どもたちの体力づくり、今後のひとつの交流の目的として取り組みしていきたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

次に、綱曳きについて再質問します。去年13年ぶりに復活した綱曳き、どのような評価があったか、そこのところをお伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

昨年行われた綱曳きについては、島外から来た皆さんの感想ですが、こういった綱曳きというイベントは興奮もするし、すごい感動もしたということで、次回もぜひ実施してほしい、ぜひ継続してほしいという意見が多くありました。また、地域の一体感を醸成する意味でも、趣旨も含めていい取り組みなので、これからもぜひ継続して実施してほしいという意見が多々ありました。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

休憩もらっていいですか。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前11時10分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前11時16分)

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

実は今年の綱曳き、僕も綱を引きながら、女性の2人の方が、毎年これがあつたら観光客も増えるのになという言葉を交わしておりました。しかし私はこの綱曳き復活、平成18年に質問して7年かかってやっと13年ぶりに実現したことは、これがいかに大変ことだなど。皆さん相当ご苦労されたなというふうに思われます。その時ももし無理だったら4年に1回、オリンピックの年に1回してはどうかということも僕は提案しました。しかし今回、3年に1回ということを取り決めされておりますので、ぜひこれは継続していくようにしていただきたいなと思っております。

今回のこの綱曳きをするにあたって、問題点、今後の課題はどのようなものがあつたのかお伺いします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

綱曳き、大がかりなイベントです。それに準備、予算もかかります。一番懸念しているのが、やはり材料となる藁の確保なんです。実際久米島から調達することができるかといえば、今の状態では不可能です。今後継続していく上で、今回は与那原町にお世話になったんですが、本島の方から藁を取り寄せるか、綱曳きの行事に使われたやつを譲渡してもらうか、そのあたりを含めて検討課題ということになります。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

実はこの綱曳きについて、これまでずっと議会でも復活を取り上げてきたんですが、その中で、議会がしつこく追求するものですから、一昨年12月の産業まつりにやる計画をしておりました。その時に、いや産業まつりにやってもこれは何も効果はないと。半年延ばしてもいいから、とにかく久米島町まつりでやってくれということで、やっと去年のまつりで綱曳きができるようになりました。今後はぜひまつりの中での綱曳きを継承していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

大綱曳きにつきましては、やると言いながら延び延びになったことに対しては本当にご迷惑をかけたことがございます。これについては1つ大きい問題、藁の確保がなかなか難しかったということもありましたが、しかし大変なことは大変だったんですが、1回復活してやった効果というのは、もちろん人を見て感動するのはもちろんですけども、やっぱり地域に一体感が生まれたというのは、これが一番大きいんじゃないかと思っております。今後とも3年に1回と決まりましたので、前もって準備して着々この綱曳きに関して、夏まつりの一大イベントとしてやっていきたいというふうに考えています。

○ 議長 喜久里猛

12番仲村昌慧議員。

○ 12番 仲村昌慧議員

町長が答弁したように、地域が一体化になる効果、そういったのが非常に大事だと思う

ております。実は祭りには、どのような効果があるということ、ここに述べてあるのがありますが紹介したいと思います。

1つ目に、伝統文化の継承と意識の高揚に大いに役立つ。そして地域住民をよりエネルギーに集結し、コミュニティ文化の向上に役立つ。それから、職業や年齢を超えた共通の場が生まれ、地域に連帯意識が芽生える。精神的にも荒廃している多くの人々に祭りを通じて豊かな人間性を育むことができる。それから、祭りは老弱男女が、それぞれ一体となって催す唯一のイベントであり、エネルギーを発散できる格好の場でもある。レジャー志向が多様化している現代にあって、祭りだけは今なお全ての人々酔わせる最大のレジャーである。祭りはそこに住む人々の意識とコミュニティ社会の存在をより多くの人々にアピールできる最も効果のあるものである。といろいろ述べられております。

ぜひとも祭りの中で綱曳きを3年に1度ということでの取り決めがありますので、これをぜひ継承していただきたいことを願って、私の一般質問を終わります。

(12番仲村昌慧議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前11時19分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前11時28分)

次に、5番宇江原総清議員の発言を許します。

5番宇江原総清議員。

(5番宇江原総清議員登壇)

○ 5番 宇江原総清議員

5番宇江原総清です。3点質問します。第1は、鳥島射爆撃場の早期返還についてであ

ります。今年の2月11日の琉球新報に青森県三沢市の市長が、沖縄負担軽減で「射爆訓練移転容認を表明する見通し」としております。これは、三沢対地射爆撃場が、米海兵隊の新たな訓練移転が、鳥島射爆撃場で実施されている射爆撃訓練の一部も受け入れると考えられます。この際私は、鳥島と久米島射爆撃場を完全に移転、撤去を、町長を先頭に町民挙って行動すべきだと思っております。町長、このチャンスに自ら町民の先頭に立って返還運動を起こすべきではないか伺います。

また、島尻安伊子参院議員が2010年の参院選で辺野古移設問題で「県外移設」を公約しながら、稲嶺名護市長に対し「市長権限での阻止は、行政権限の乱用で地方自治上問題だ」とか、「違法な妨害活動を阻止するため、県警や海保に先んじて対策を取るべきだ」との趣旨の発言をしています。私は、この人は大ウソつきで独裁政治家だと思っております。町長は島尻参院議員のこの発言をどう感じ、どう見ているのか伺います。

第2は、コンクリート護岸の撤去と潮害防備保安林等の植栽についてであります。河川等を含みます。県農林水産部は、「沖縄の特性にふさわしい海岸整備のあり方に関するアンケート調査及び問診調査」を実施しています。その具体的な進捗状況と本件に関する町長のビジョンを伺います。

また、12月25日に県土木建築部の河川課は謝名堂川改修工事に伴う聴取を行いました。本件に関する町のビジョンと対応策を伺います。

第3は、謝名堂・泊間の久米島一周線、県道242号線ですが、この区間の拡張工事に関して、既に関係地権者から同意書86%受理し、

これは町長も含めて要請に行っておりますが、県への着工要請も行っております。その実施計画はどうなっているか。また、障害となっているのは何か、町長に伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

5番宇江原総清議員の質問にお答えします。返還行動につきましては、引き続き沖縄県及び軍転協と連携しながら、また、軍転協の最重要項目と位置づけ、返還について要請を行っているところであります。また、島尻参院議員の発言についてですが、一国会議員の発言に対してのコメントは、控えさせていただきたいと思っております。

それから、コンクリート護岸についてですが、県からのアンケート調査等は未だ実施されておられません。地元市町村、地域住民の意向を整備計画に反映させていく方針となっております。今後調査が実施されるものと考えております。

平成26年度中にアンケート調査を終え、平成26年度から適時整備地区の選定、選定地区の測量設計、平成27年度から選定地区整備が始まる計画となっております。観光振興、地域環境改善の観点からも当事業による整備を積極的に要望し取り組みをしてまいりたいと考えております。

謝名堂川の整備につきましては、治水、環境に配慮した川づくりを県に要望してまいりたいと思っております。

謝名堂・泊間の久米島一周線拡張工事についてですが、謝名堂・泊間の久米島一周線拡張工事は毎年県へ要請しております。県とし

ましても限られた予算の範囲内で整備実施しなければならぬため事業採択にはまだ至っておりません。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

再質問いたします。まず、第1の鳥島射爆撃場の早期返還についてであります。1点目は、町長は返還運動については沖縄県及び軍転協と連携をしながら、軍転協の最重要要請項目として位置づけて、返還について要請を行っているところであります。これは町長、私は後ろ向きであると思っています。町長が鳥島射爆撃場の再契約を独断専行で行ったことは、これは後々に問題を残すと私は思っております。私は、久米島町民の性格から言って、町長自ら先頭に立って町民を引っ張って、鳥島射爆撃場早期返還総決起大会を打つべきだと考えております。今からでも遅くはないから、初めは小規模の大会でも、順次大きくしていくというような方法でやっていけば、町民の多くもついてくるものと私は思っております。

そこで町長に伺います。まず、町長が先頭に立って鳥島射爆撃場の早期返還総決起大会をうちますか。次に、鳥島射爆撃場の三沢対地射爆撃場への移転要請をする意思はありますか。2点について答弁いただきます。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

鳥島射爆撃場の返還運動については、総決起大会とかいう前に、私は行政マンとして行政マンでできる最大限のことをこれまでもや

ってきたつもりであります。これからも首長として県あるいは国に対して要請はやっていくつもりであります。この返還要請については毎年やっていって、その中でいろいろな情報が入ってくるということ。ただ、私が今までやってきたのは、鳥島射爆撃場がやっと日米間の検討のテーブルに乗ったというのが、これが一番大きな進歩じゃないかと思いません。これからも返還に向けて鋭意行動してまいりますと考えております。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

町長の在任期間中にチャンスを見て実施したいということの答弁を何度もいただきました。しかし、今だって一度も開催されていないです。町民自体が消極的であるということと、そういうことであるならば、今度は政治家としての町長が引っ張っていくと、こういうような手法をぜひしていただきたいと、こういうふうに思っております。

次に、島尻参院議員の発言について、町長は一国会議員の発言に対してコメントしないと、差し控えるということの答弁をしておりますけれども、翁長那覇市長は積極的に彼女の発言に対するコメントをしております。私は政治理念をもって言えばコメントを差し控えるというような言葉は出ないと思いません。

島尻参院議員の発言は地方自治の本旨を否定したものであるわけです。違法な妨害活動を阻止するため県警や海保に先んじて対策をとるべきだとの発言については、戦前の治安維持法の犯罪前に身柄を拘束する予防拘禁なんです。これを意味していて大問題なんで

す。そして私は彼女ならば刑事特別法の積極的な活用もするものとみております。

特に、久米島射爆撃場を抱える久米島町長として、これに対するコメントを再度伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

確かに宇江原総清議員がおっしゃったとおり、地方自治法を行政運営する中で、島尻議員が言ったことというのは残念に思います。これについては首長としても、翁長議員の意見もありますけれども、我々としてもやはり前もって何かあるんじゃないかと勘ぐらざるをえない部分があるということなんです。ただ、その国会議員のコメントに対して本当にこの議会場で答えるということは、国会で何かあったときに常に答えないといけないのかということになるんですね。

私自身の思いというのは、直接重大な久米島の行政に影響を与える部分だったら、首長として答える必要があると思うんですが、これについては個人的な意見はいつでも私はもっておりますので言いますので、それはまた後ほどぜひコメントしたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

町長、私はアイデンティティで、久米島の町民としての主体性をもてということの意味なんです。そういう地方自治法の本旨に基づいて、町長自らそういったものにも参院議員に対してもブレーキを踏むような措置はできると思えますよ。そういうような意味から今の言葉は少し一歩踏み出た答弁をしております。

すけれども、もっと積極的に対応していただきたい。アイデンティティをもって対応していただきたいということです。

私が、今後の久米島の未来をたいへん案じているのは、その特定秘密保護法であります。例えば、前々から言ってますが、嘉手納弾薬庫に40万発あると言われていた劣化ウラン弾、これが秘かに鳥島射爆撃場で撃ち込まれ、あるいは投棄される場合に、その情報が特定秘密として日本政府も明らかにしない。もちろんアメリカ政府も秘匿にしますよそれは。アメリカは中国と同じく軍事兵器依存症で古いものは捨ててどんどん新しい軍事兵器を開発製造していくと。私は、そういう大国というのは必ずこういうような兵器依存になるとみております。だから私は今でこの久米島の久米島鳥島射爆撃場を早めに撤去させることが久米島の人たちの幸せにつながるものだと思っております。そして後に、それは自然への再生、こういったものも考えて対応していただきたいということなんです。

私は、アメリカ人の作家でありますアイリーン・ウイルさん、この人の著書で『プルトニウムファイル、いま明かされる放射能人体実験』の中で、アメリカは戦前からのマンハッタン計画でいろいろなプルトニウム、それからウランを開発しているんです。これが病院に入院している者、刑務所に入れられている者、それから健全であっても女性も子どもも人体実験をしているわけですけれども、プルトニウムの全身照射、放射能をあてるわけですよ。鼻口腔照射、それから睾丸照射、そしてその他の注射を打ち込んで、あるいは飲ませて、そういうようながんの発病状況を研究しているわけです。戦後もそういった人体

実験が行われてきたわけですが、アメリカ国民は50年、半世紀もの間、放射能人体実験の全容はほとんど知らなかったと言われております。

ネバタの核実験では数千人の兵士を10キロ離れて見学させて、そこで放射能を浴びさせる。ご承知のようにビキニ環礁での水爆実験、こういったものがなされているからアメリカの本質と歴史的経緯から、先ほど言いました嘉手納弾薬庫の40万発といわれる劣化ウラン弾が撃ち込まれないという保証はないと思っております。

この40万発の劣化ウラン弾は、私はアメリカには持ち帰らないと思います。沖縄、特に鳥島射爆撃場で捨てるか、使用するかということで私自身は考えざるを得ないということでもあります。

それから、前回の本会議で定例会で、平成24年小児がんが当町では5名いますと。この小児がんを含む婦人のがんの特定検診を町長は実施する考えはありますか、伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

以前もお話しましたが、いま沖縄県内にある基地内からいろいろな薬品のドラム缶が見つかったりとかいろいろなことがありました。これについては我々も健康被害について健康診断をやってくれと、これも要請文の中に全部取り組んであります。

これについては沖縄市でもありましたし、嘉手納でもありました。軍転協の要請の中にも最重要課題としてこれも取り組んで、国に対して引き続き要請してまいりたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

私は、もっと積極的に町長は行動をしていただきたいと。今のような状況だったら子どもたちや母親、こういった人たちは救えないと思います。私も県内のあるいはまた町内のそういった小児がん、婦人がんの調査の緒に就いたばかりでありますけれども、今後これをもっと深く勉強させてもらって、対応の方もしていきたいと、こういうふうに考えております。

鳥島射爆撃場の関連で、私の経験から那覇・久米島間の航空運賃が高くなっているのは明らかです。いろいろと関係者からも情報をいただきました。詳しいことは言いません。そして、鳥島久米島射爆撃場問題と航空運賃に関連して4月1日から離島割引が廃止され、航空運賃が元に戻ると聞いておりますが、その理由は何なのか。一括交付金の手続きの問題なのか、担当課長に伺います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

2週間ほど前、町民の方から航空運賃がかなり値上がりしているというお話がございまして一応確認いたしました。2週間か3週間前です。その時点においては4月1日以降の現在の離島住民コスト負担軽減事業の適用がまだ決まっていない段階で、2カ月前から航空券を販売しますので、その離島住民コスト負担軽減事業の補助をしない金額で切符を発売しております。それで約8千円ぐらい従来より高くなっているというお話がございました。ちょうど2月28日でJ T Aから国土交通

省に対して4月1日以降の離島住民コスト負担軽減事業を適用した運賃の届け出が出ております。届け出によりますと、新しい運賃が5千100円と届けられております。これは従来の4千900円にほぼ消費税の3%相当額が147円になりますが、プラスすると5千47円ですが、10円未満の端数を整理して5千100円での届け出されています。

それから、4月1日以降の搭乗分でも3月いっぱいに入りました分につきましては消費税は3%の適用、4月1日購入する分については8%の適用となります。それから、3月までに割引されていない運賃で購入された方については、申し出て申請すればその差額の分は返還されると聞いております。したがって、4月1日以降の運賃の変更については消費税相当額の上乗せということになります。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

消費税相当額のアップは、これはみんな認めるところなんです。私が言っているのは、一括交付金の部分が上乗せされるのかということ聞いております。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

ただいま説明いたしました5千100円というのは一括交付金による県の離島住民負担コスト軽減事業を適用した金額でございます。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

次に、第2のコンクリート護岸等の撤去について再質問しますが、建設課長がこれまで

県南部農林土木事務所との意見交換、要請にも積極的に動いているということは評価します。ここで、町のビジョンをと、私が言っているのは、町自体のハザードマップを作成して、事業の優先順位をつけてくれということです。これは前々から私も県に言われて、定例会でも何度か質問しております。そういうようなかたちで、町長と課長にもう一度伺います。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

ハザードマップというと防災関係のハザードマップでしょうか。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前11時52分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前11時54分)

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

ただいまの質問にお答えします。ハザードマップ的な優先順位整備についての部分についてはまだ策定しておりませんが、今回県の方で調査しております新しい海岸のあり方についてのことも踏まえまして、町の方でそういった優先順位をつけたかたちでのマップは必要かと考えております。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

ぜひ早めに提出をお願いしたいと思います。

次に、謝名堂・泊間の久米島一周線拡張工事についてですが、これは16、17年前から真泊港までの拡張工事の計画図を私は確認しま

した。県の土木建築部で。ですから、そういった設計図もあると思いますので、ぜひ早めに着工をお願いしたいと、こういうことでもありますけれども、ひとつ部落の方達ともよく相談してやっていただきたい。

それから、先ほどの謝名堂川に関してであります。謝名堂部落と比嘉部落でまたいでいるわけです、関連しているわけです。そこで、比嘉部落あるいは謝名堂部落で、まずは説明会とか意見聴取を行って、これに1回目は町長はぜひ出席してください。そういうことの考えはありますか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

謝名堂川の河川の拡幅については、これまでの経緯で儀間タイ原ダムがダムの逆風ということで県から費用対効果が認められないと言うことで、タイ原は治水という観点からやりましょうということで、ダムは触らずに川を拡幅して町民の生活環境を守るということで、これまでずっと私も出席して、この謝名堂川の拡幅のスケジュールまで参加しております。意見交換の時は、住民の皆さんの意見交換があると思います。その時もぜひ出席したいと思います。

○ 議長 喜久里猛

5番宇江原総清議員。

○ 5番 宇江原総清議員

町長、この際ですね、ぜひ両部落それぞれに出席していただいて、意見を聴取する、町の意見を述べるというような手法でいってください。

あと、両部落の合同の説明会も開催されると思いますが、その時には建設課長主体でい

いんじゃないかと思っております。私がこれまで説明したのは全て町の行く末を案じて話しているわけですが、心の隅でもいいですよ、染めておいて積極的な対応をお願いしまして、私の質問を終わります。

(5番宇江原総清議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで宇江原総清議員の質問を終わります。

12時3分前ですので、これで午前の部は終わります。

休憩します。(午前11時57分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後1時26分)

13番玉城安雄議員の発言を許します。

(13番玉城安雄議員登壇)

○ 13番 玉城安雄議員

13番玉城です。私の方からは施政方針の中から過去の本会議で取り上げたことなどを確認しながら、7点ほど質問したいと思えます。

まず、26年度施政方針について。26年度施政方針の中から質問いたします。まず初めに、1番目に、自主財源の確保や久米島の未来を担う人材育成は、最重要課題としているが、どのような施策があるのか具体的に示して下さい。

2番目に、産業振興の中でサトウキビの支援策があるが、作付面積や反収の減少の原因はどこにあると考えるか。

3番目に、観光産業振興の中で、久米島観光誘客促進事業や久米島観光受入れ体制整備事業などにより観光協会と連携を図るとあるが、過年度も事業は実施されたと思うが成果は、具体的な数字を示して下さい。

4番目に、スポーツ合宿の現状および将来

的な展望を伺います。

5番目に、教育の充実の中で学力向上の推進、塾の開設や、生涯学習環境の整備を図るとあるが、そのためにも(知の拠点)としての図書館建設が必要だと思う。建設検討委員会を設置するとしているがいつ設置し、委員の構成はどのように考えているか。

6番目に、福祉の充実の中で、「久米島町健康プロジェクト」は町民の健康意識を高めるためにも重要だと思うがまだまだ住民に対して周知不足な気がする。今後どのように周知を図り推進していくのか。

7番目に、生活基盤の整備から農道や道路認定のなされていない個所について各字区長等から要請が多々あると思うがどのように取り組んでいくか。

以上7点伺います。よろしく申し上げます。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

13番玉城安雄議員の質問にお答えいたします。施政方針の中から、1つ目の自主財源の確保につきましては、久米島町債権管理条例及びマニュアルに基づき、滞納整理の強化による徴収率の向上を目指すとともに町単独補助金の見直しや公有財産の活用、処分、基金の有効活用等による自主財源の確保を目指します。

人材育成施策については様々な観点から各課、部門がそれぞれ取り組みをしています。未来を担う人材育成は全てにおいて「久米島町が持続可能な発展を遂げる」ことに集約されると思いますが、例としてグローバルに活躍できる人材を育成する目的の中高校生の海

外派遣事業、地域企業への就業意識向上を目的とした産学官連携のジョブシャドウイングの実施などがあげられます。

2つ目のサトウキビについてですが、サトウキビの作付面積の減少の要因は農家の高齢化と経営環境の厳しさにあるものと考えています。サトウキビの反収低下の要因は物理性（土の硬さ、厚さ、排水性、保水性）、化学性（窒素、リン酸、保肥力等）、生物性（微生物量、土壌病害、線虫）が影響します。

3つ目の観光入域客については、平成23年度に79,651人まで落ち込みましたが、平成24年度から一括交付金による誘客促進事業等を実施し、平成24年度が83,094人、平成25年度は1月末現在で86,000人を見込んでいます。

4つ目のスポーツ合宿の現状につきまして、これまで2月～3月の野球中心のキャンプとなっております。今年度からの取り組みとして、陸上の合宿にも取り組んでおります。8月の国体投てきの合宿、年末からのパナソニック女子陸上部の合宿、2月のヤマダ電機女子陸上部の合宿を誘致してきました。26年度も引き続き県外の実業団陸上部及び他のスポーツ合宿の誘致に取り組んでまいります。

5つ目の図書館整備の件ですが、建設場所・規模等を検討する建設委員会委員構成は教育委員会・町長部局・議会・PTA・図書司書・その他の団体等から人選をしたい思っています。設置時期につきましては、10月頃を考えています。

6つ目の久米島健康プロジェクトに関しては、これまでも事業の実施の際にチラシを入れたり「FMくめじま」や「広報くめじま」

等でお知らせをしてきました。今後はポスター等の貼り出し等も行い周知に努めて参ります。また、久米島健康プロジェクトの事業を推進していく為に「久米島健康プロジェクト推進協議会」を設置いたします。

7つ目の集落内の未整備道路については、県福祉保健部所管の地方改善施設整備事業で整備に取り組んでいきたいと考えております。本年度は区長から要望のありました1地区の採択に向けて県と調整しております。区長から要望のある道路等については適時、県と調整し取り組みしていきたいと考えております。

（平良朝幸町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

それでは、1番目から順を追って再質問したいと思います。まず、自主財源の確保や人材育成についてですが、自主財源の確保については久米島町再建管理条例及びマニュアルに基づき、滞納整理の強化による徴収率の向上を目指すとともに町単独の補助金の見直しや公有財産の活用、処分、基金の有効活用等による確保を目指しますとしておりますが、町税や使用料については現年度分はもちろんのことですが、本年度予算に滞納繰越分として約3千万円ぐらい計上されてはいますが、この徴収についてどのように考えているか、担当課の方から説明をお願いいたします。

○ 議長 喜久里猛

田端智税務課長。

○ 税務課長 田端智

町税の収納に関しては平成17年度以降取り組みを強化したことで右肩上がりで上がって

きましたが、ここ2、3年伸び悩みがあります。というのは預貯金の差し押さえとか、そういったもので進めてきましたが、これもある程度限界にきている部分もありまして、新年度からは嘱託員を配置しまして、小口の滞納分についての取り組みを強化していきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

前回の議会の一般質問で取り上げたときにも同じような答弁がございましたが、ぜひ徴収率を上げていただき自主財源の確保に努めていただきたいと思っております。それと、滞納繰越分についても同様に、ぜひ徴収率を上げるようにしていただきたいと思っております。

補助金についてですが、補助金は奨励的なものと行政目的を実現するためのものでありまして、公益性格をもった団体の資金援助を行うものに区分されておりますが、補助金は法令によって支出される場合を除いて自治体の自由裁量で交付されることから一般財源に占める割合が高くなっていると思っております。本町ではどうなのか。また、見直しをするとしてますがどのような見直しをするのか。また、他の団体と比べてはどうか。3点伺いたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

平田明行政改革推進室長。

○ 行政改革推進室長 平田明

ただいまの玉城議員のご質問ですが、町の予算に占める全体的な一般財源の額としましては75億7千252万7千円の中の一般財源が44億1千330万円ですが、だいたい58.2%ぐらいの比率を占めております。

その一般財源の中で補助金の占める割合といたしますと、11億4千74万7千円、全体の15.1%となっております。その中には起債等の特定財源も充当しておりますので、純粋な一般財源としましては7億889万8千円、約予算額の9.4%となっております。

先ほど玉城議員からありましたように補助金にはいろいろな種類がありまして、例えば土地改良の負担金とか、一部事務組合の広域連合とか、そういう負担金もございます。その一組にかかる部分に関してはだいたい2億940万6千円、全体の2.8%が一組にかかる部分です。11億円の中のであります。その他が9億3千130万1千円、12.3%が単独補助金とかいろいろな団体等への補助金となっております。

実は、その補助金の中で24年度からいろいろ行革の中で見直しをしていかないといけないということで、特にその中で一般単独補助金についてきましては、平成24年度から取り組み始めております。各団体へ流している補助金について、使用目的とか運営状況とか資産状況等をチェックしまして、あくまで補助金というのは団体育成の補助ということで、十分な団体としての運営機能を果たしている部分に関しては収束するとか、あるいは圧縮をかけるとか、そういう手立てが必要ということで、25年度中にはそういうヒヤリングをいたしまして、また26年に関しても引き続きそういう計画でやっております。

収束したり圧縮した分はどうするのかという部分ですが、母体としてまだ弱い団体がございます。そちらの方に応分な負担をできるような感じでもっていけないかなという感じでもいま模索しながらやっている最中なんです

が、引き続き26年度も継続してやっていきます。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

補助金の割合についてお話がありました。後で資料にさせていただければいいかと思っておりますのでよろしくお願ひします。補助金が無駄なく有効に効果を發揮しているかというのいま説明がありました。事業計画、実績報告と落ち度なく審査して、今後有効な活用、有効な財政措置もお願ひしたいと思ひます。

それと一般財源として、ふるさと納税制度とか、ふるさと給付金制度というのがありますが、その状況を説明できますか、担当課の方で。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいまのふるさと納税の制度で、今年も予算の方が予定より納付者、納税してくれた方が多くなっていて、詳しい数字、今持ち合わせてないんですが、新年度分については670万円を予定しております、現年度25年度については、補正で約400万円ぐらい追加をしたんですが、やはり久米島町の事業に対する取り組み、例えば全島Wi-Fiとか、そういった取り組みを支援したいということで、100万円の単位で納付してくれた方がおります。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

ありがとうございます。ふるさと納税とかふるさと給付金というのは、ふるさと納税も

学生の頃までは久米島で生活して納税義務の年には出て行っていないとか、そういう久米島出身者がたくさんいると思いますので、ぜひそこらへん周知して、そこらへんを多くすればまた財源の方も確保しやすくなると思ひます。ふるさと給付金も久米島を愛する人たちとかいろいろそういうのがあると思ひますので、ぜひ宣伝の方もよろしくお願ひしたいと思ひます。

人材育成については、答弁にもありますがいろいろなことを取り組んでやっています。引き続きやってほしいと思ひます。その中にジョブシャドウイングというのがありますが、これは企業の方で学生が行って会社の仕事を見ながら体験するようなことだと思ひますが、久米島ではこの事業に参加している業者とか何社ぐらいありますか。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

25年度の実績でジョブシャドウイングに参加いただいた、協力していただいた企業49社です。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

どうもありがとうございます。

2番目に、サトウキビについてですが、減反減収については現状の答弁のとおりだと思ひますが、しかし操業期間のこともあり、収穫のことを考えると、やっぱり高齢者や小規模農家は作付面積を多くすることがなかなかできないというのが現状であると思ひます。サトウキビの減反減収は農家の収入も減ることになり、税の徴収等にも影響を及ぼすと思

うんです。肥培管理等々の様々な助成があるが、収穫量が増えなければそれもまたかなわない。今後、収穫を増やす施策としてどのようなことを考えているか、伺いたいと思います。担当課の方からお願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

今後のサトウキビ増産に向けての対策を申し述べたいと思います。今、玉城議員からご指摘のあった作付面積の減少、あるいは反収の低下ですが、実際に収穫面積が850haぐらまで減ってきております。単収も去年が4,154kg、約4 tということで、今年は若干はよくなると思っておりますが、いずれにせよ傾向として作付面積の減少と単収の伸び悩みがありますので、まず作付面積については、荒蕪地がまだまだございますので、少なくとも荒蕪地解消によって単年度でかなりの作付面積の確保はできるものと考えております。これについては既に久米糖さんにもお願いしまして、製糖期中でもほ場をまわって荒蕪地を探して、その荒蕪地解消事業もごございますので、まずは荒蕪地を解消してサトウキビを植えてもらうということを短期的にはやっていきたいと思っております。

それから、単収の向上については、基本的には、これは誰も知っていることではございますが、まずは土作りからということがございます。その土作りをすることによって町長が答弁いたしました物理性とか化学性とか生物性、その向上につながっていきます。これについては堆肥を入れることによって、かなり3要素は改良されていきます。ただし、これは10年かかるんです。1年ですぐ改善する

ものではなくて、やっぱり10年ぐらい徐々に改善されていくものでありますので、それは今現在の堆肥の補助を根気よく続けていくということ。

あと、いま高齢化してきて、堆肥は安くてもそれを畑にまけないという農家も非常に多くありますので、堆肥散布機の導入も考えております。これも少なくともどこがまくかという問題もありますが、ある程度まいてあげるといいう仕組みも考えていかないといけないだろうと思っております。

それから、土壌改良のひとつの取り組みとして、26年度に土壌調査を地区ごとにやりたいと思っております。これはペーハー調査だけじゃなくて総合的な分析と、深土、土壌の硬さとか粒子の粗さ、深土等を測定して、その地区ごとの土壌改良の対策をやっていかないと単収のアップにつながらないだろうと考えております。

それから、もう1点、やろうと思えば簡単なことではございますが、この増産の前提として、草さえ生やさなければある程度の収穫は現在の土壌の力でも出るんです。今は草に負けてサトウキビが育たないという状況が非常に多く見受けられます。そういうことで方法として、培土をして、根切りをして培土をしてすぐカーネックスで雑草の発芽を抑えるということをやれば、かなり雑草を抑えることができるんじゃないかと思っております。草が伸びてから除草剤をかけてしまうと、草は枯れますが当然サトウキビも少し疲れます。成長が止まる時期がありますので、そういうことで、今できることでそういった部分を久米糖さん、あるいはJAさん通してやっていけばある程度改善されると思っております。

す。

それから、サトウキビ全般的には、いまサトウキビ増産基金が非常にいい補助金がございますので、それを有効活用してサトウキビの増産に努めてまいりたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

いろいろな政策どうもありがとうございます。肥培管理の方法までどうもありがとうございました。確かに農家の高齢化で作付面積が多くなれないという実態があります。いろいろな補助、助成はあるんですが、それを利用できない、作業できないという状況もありますので、そこらへん踏まえて今後の増産に向けて取り組んでほしいと思います。

3番目に観光入域についてですが、答弁では具体的な数字が上げられているが、ここ何年か横ばが続いている状態ですが、23年度は東北大震災の影響で落ち込んだんですが、24年、25年とちょっと上がっていますが、この上がっているのが、実際は東北大震災で落ち込んだ分が元に戻っただけではないかという懸念もあるわけですが、22年度には9万1千人ぐらいいたわけですよ。そこらへん観光協会あたりが出した事業の効果としてはどのように考えていますか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

今年度なんです。個別事業のいま集計中ですが、基本的には今年度1月末現在で対前年比約4%、3千人ぐらい増えております。見込みの3千人増というのは、2月3

月が前年度同じ数字とした場合、約3%増の見込みで、実際それよりかなり上回っております。2月3月が非常に好調でございます。

今年度の要因としましては、今までなかった分の新しい増えた要素としては、まず1つはパークゴルフ場の開場がございます。あとウェブプロモーション、ウェブに広告を出してウェブから申し込みをする仕組みを今回初めてやりました。それが約2倍ぐらい伸びています。それからもてナイ効果ですね。それから2月3月につきましては楽天が優勝セールでかなり高額な宣伝費をかけて東北からプロモーションをかけています。これは町長も一緒に行ってプロモーションしていますが、プロモーションをかけていますので、その効果。

それから、産業観光として海洋温度差発電の視察やそれ以外の観光産業視察があったというのが今年度の新たな効果だと思っております。

確かに玉城議員がおっしゃるとおり、一旦落ち込んだものが戻ったという側面もあると思いますが、それは全国同じ状況で、それはまた地域間の競争がございますので、やっぱりそれなりに取り組んでいる効果はあるし、一次的に宮古、八重山が航空運賃の格差があって、かなり有利な立場にありますので、それで久米島が出遅れた感はあると思っておりますが、次第に戻ってくると思っております。

これからも、いま観光協会に委託している事業一つひとつ検証しつつ、またその効果も見極めつつ、更に新しい施策も展開してまいりたいと考えています。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

各事業の効果が出ているということであり
ます。今年に限っては、最近も巷を見れば観
光バスの数が結構多くなっているし、団体の
お客さんも増えたんじゃないかという気がし
ます。引き続き久米島の認知度を高めるため
にマスコミを通じて宣伝と、先ほどウェブか
らの申し込みもあるとありましたが、どんど
ん誘致活動していただいて、観光入域の増に
取り組んでほしいと思います。

先ほど同僚議員からありましたが、パーク
ゴルフ場を主とした誘致活動、そこらへんも
ぜひまた取り組んでほしいと思います。

4番目にスポーツ合宿についてですが、近
年野球だけじゃなくて陸上競技とか多くなっ
ている気がします。野球については施設も整
備され全国どこからでも誘致できる状況では
あるんですが、特に最近は陸上関係も行って
います。これについては誘致と担当課、関係
者の努力の結果だと思います。

先だって3月1日に久米島高校の卒業式が
あったんですが、久米島高校の當間汐織さん
がオリンピックの強化選手に選ばれて、卒
業式の中でコメントをビデオで流す場面があ
ったんですが、島の皆さんにお世話になって、
7年後を楽しみにして下さいという決意のコ
メントもしていました。

このような中、陸上関係の合宿もどんど
ん行われることを期待していますが、しかしな
がら受入側の施設がまだ陸上に関しては十分
だとはいけないと思うんです。整備について
どのように考えますか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

平成25年度から確かに陸上を中心とした合
宿の誘致に取り組んできて、取り組んできた
分については確実に効果が表れていると思い
ます。26年度にも引き続きそれは誘致したい
と思っております。

新たにこれ以外の実業団大学の関係で誘致
しているところが、まずは9月17日に城西大
学の駅伝部の監督が視察に来ました。その次
に元オリンピック選手瀬古さんが指導してい
るD e N Aランニングクラブの監督さんが1
月25日に視察に来ました。去った12月に全国
実業団駅伝大会で優勝しましたデンソーの女
子陸上部のスカウト兼マネージャーさんが1
月17日から18日にかけて久米島に視察に来ま
した。その中でD e N Aさんはもしかすると
来年の1月、デンソーさんは1月と2月の後
半から3月、2回にかけてくるのではないかと
いう情報は入っております。

そして、新たな施設の建設につきましては、
陸上競技場1つつくるのに約8億円から10億
円かかりますので、そのスポーツ合宿だけの
費用対効果を考えると、つくるべきかという
のはやはり考えるべきではないかと思ってい
ます。スポーツ合宿を受けている担当課と
しましては、今ある施設を十分に活用できて
受け入れることができるものを優先的に取り
組んでいるところでありますので、今後中学
校が統廃合されて久米島中学校の運動場も体
育館も空きます。もし今後、事業に乗せられ
るのであれば中学校の運動場を改修して、全
面的に芝を張って、そこに平面のパークゴル
フ場9ホール、もしかしたら町民のグランド
ゴルフ、さらには冬場のサッカーの合宿の誘
致等々も可能だと思いますので、新たな陸上

競技場の施設づくりは確かにいま国頭等々に行っている分、短距離も含めて相当数誘致はできると思います。そのへん今後、町の予算もございますので、そのプロジェクトも含めて今後どうするかは検討していきたいと思ひます。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

施設の整備については、厳しい財政のなか新たに陸上競技場をつくることは難しいと思ひますが、今ありましたとおり久米島中学校のグラウンド、全面芝を張って、芝の管理をちゃんとすれば、いま日本にはJリーグが何チームあるか分かりませんが結構なサッカー人口だと思ひますので、サッカーの誘致も可能だと思ひますので、ぜひ空いた施設を有効利用して、あまり金もかけずたくさんの合宿ができるように取り組んでほしいと思ひます。

次に、高校野球においても、課長からいただいた資料の中にも3月25日から北海道の北照高校が約1週間合宿ということがありますが、県内外の強豪校が久米島で合宿を行っています。昨年は久米島高校と練習試合もしていますが、今年は大会日程の都合でできないという話も聞いていますが、今後、強豪高校が島内に招へい、もしくは合宿に来た場合は久米島高校の野球部の強化も含めて、資金面も含めて、今後どのような対応ができるか伺ひたいと思ひます。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午後1時59分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後1時59分)

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

合宿がたいへん効果的であるというふうに既に今まで来た高校の監督さんからも評価を受けております。久米島高校の野球部の活性化とか、学校の魅力化につなげるためにも、来た場合は施設を全面的に無料開放等もしておりますので、あと教育委員会が取り組める部分は一緒に協力して取り組んで、そういう誘致にも取り組んでいきたいと思ひます。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

ありがとうございます。ぜひ積極的に取り組んで欲しいと思ひます。

次に5番目、図書館の建設についてですが、12月の議会でもこのことについては取り上げたんですが、答弁では事業メニュー等があるか積極的に前向きに取り組むという答弁でしたが、建設検討委員会の設置時期については10月頃としているが、なぜなのか、早めに設置した方がいいのではないかとと思ひますが、そこらへん何か考えがありましたら教育長お願いします。

○ 議長 喜久里猛

保久村学教育課長。

○ 教育課長 保久村学

ただいまの答弁にお答えします。10月予定しているのは、その建設委員会に向けての準備等がありますので、他の団体等の資料を収集しながら10月頃を予定しています。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

委員会の構成については、10月というのは

今の話で準備等ということで仕方ないかと思いますが、委員会の構成の中で教育委員会部長、議会、PTA、図書司書とあるんですが、この図書館の建設の準備に関わった有識者というのもいらっしゃるんですけど、島外でもよろしいです、そういう方の意見も聞いたらいいのではないかと思っていますが、そこらへん考えていますか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

平成26年度から検討委員会設置ということでご説明していますが、これにつきましてはやはり図書館としての立地場所、規模等が最も重要な要素となってくると思います。まずは住民がどういった図書館、場所がいいのか、それも検討しながら専門的な見知からも必要であれば沖縄本島からも招へいしたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

ぜひ様々な分野から意見を聞いて、実のある検討委員会を設立してほしいと思います。図書館の建設については12月の一般質問でも取り上げたんですが、町民からも図書館の必要性については多々話が出るようになってきています。厳しい財政状況の中でも長年議論されてきたんですが、遅々と進まないわけですよね。図書館の建設は町民の自発的な学習、文化活動を資料として援助し、また地域の情報センターとして人づくりや町づくりを支え、地域づくりの原点となりうると思います。久米島の発展のひとつは、第1に人づくりであります。そのためにも図書館の果たす役割

は大きいし、図書館が地域の活力の源になるよう早急に建設委員会を立ち上げ議論してほしいと思います。この件について町長のコメントをいただきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

図書館については以前から必要あるのかなのかという議論もありましたし、住民からつくってくれという要望もたくさんありました。ただ、我々として今一番抱えている課題は事業メニューです。自主財源でつくれるわけではないので、これについてはいろいろな予算メニューを探して、これを何とか事業化を進めていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

探せばたくさんあると思いますので、たくさんはなくてもぜひ事業メニューを探していただいて取り組んでほしいと思います。

6番目に健康プロジェクトについてですが、この健康プロジェクトを立ち上げた経緯については、いろいろな広報とかでも紹介されていますが、過去の子ども検診の結果、受診した子どもたちの2割の子どもに肥満、高血圧症、高脂血症があり、この中でも二次検診を行った肥満児の約5割が糖尿病の予備群であったといわれております。子どもの肥満率にしても全国の平均は約8.5%、沖縄では10.3%、久米島では20.4%。沖縄の中でも特に久米島は子どもの肥満率が高いという結果が出て、その結果、子どもたちの将来の健康を考えて子ども健康プロジェクトを立ち上げて取り組んだと紹介されています。子どもの

生活習慣を変えるのは大人の生活習慣を変えなければ解決はないとして、久米島健康プロジェクトを立ち上げたという説明がありましたが、その中でも40歳以上で、施政方針の中にもありましたように、生活習慣病からくる糖尿病予備群が75%、動脈硬化症の原因となるコレステロールの異常値が62%、65歳未満の死亡率がかなり高い現状の中で、福祉課を中心にこの健康プロジェクトについて住民に啓蒙活動を行っていますが、その中でも住民の意識が足りないような気がします。

先だって、鎌田先生の講演も聞きまして目から鱗が落ちる思いもしました。食生活を改善すれば、かなり解消できるという話もありました。この中で、福祉課が中心になって啓蒙活動を頑張っていますが、事業を実施して意識の改革の効果が出てきているのか、それに子ども健康プロジェクトも含めて、その効果が出ているのか伺いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

山城保雄福祉課長。

○ 福祉課長 山城保雄

まずは子どもの方の健康状態ですが、小学校5年生から健康診査していますが、その結果は前より徐々に良くなってきております。大人健康プロジェクト、子どもの健康プロジェクトにおいては公立病院の小児科先生、院長先生の協力の下、FM放送で呼びかけたり、それから病院に外来で来る皆さんに健康の大事さを説明したり、いろんなかたちで今取り組んでおります。町としては推進運動プログラムをやったり、ウォーキングの指導をしたり、いろんなかたちで取り組んでやっております。

あと1つ非常に大事なことが食のプロジェ

クトということで、島で採れた新鮮な野菜を食べましょうというかたちで、これも公立病院とタイアップして、公立病院の軒先で毎週土曜日やっているということ。

それから、食堂とか居酒屋に出向いて健康メニューを提供してもらいたいということも取り組んでおります。

それから、答弁にもあります久米島健康プロジェクト推進協議会、これまで健康推進協議会という組織の名称はありましたが、しっかり町民が実践できるような組織をもう一回作り上げて、各職場においても職員の健康増進に取り組むという宣言をしてもらいな、島全体が健康意識を醸成できるようにやっていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

推進委員会を立ち上げて啓蒙活動をするということですが、ぜひ各団体にも呼びかけしてそこらへん取り組んでほしいと思います。これも大事ですが、まずは個人個人の意識が一番大事だと思いますので、そこらへんも含めてまた取り組んでほしいと思います。

最後に7番目に基盤整備ですが、集落内農道とか農道等の整備の要請は各字の区長も住民生活に支障を来しているから要請していると思いますが、そういった要請はだいたい各字から何件ぐらい出ているのか分かりましたら建設課長お願いします。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

要望路線の数については正確な数字は把握しておりませんが、今後要望路線を把握して

整理して、今後の整備計画に生かしていきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

整理して考えるということですが、農道につきましては毎年補修している箇所がありますよね。そこらへん補修する金額よりおもしろい整備した方がいいんじゃないかという場所については、予算等も踏まえて優先順位をつけて事業メニューを探していただいて対応してほしいと思います。

町民の生活、福祉の向上、産業振興の基盤となる町道、農道の整備等は積極的に取り組んでほしいと思います。

最後に、施政方針全体について、今回私が質問したことについて町長のコメントを最後にいただいて終わりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

玉城議員がおっしゃったとおり、我々は常に施政方針の中にも、町民のために、久米島のためにということ、これが一番大きな事だと思うんです。この中には子どもたちからお年寄りまで、私自身、子どもがいつでも明るく元気よく、若い者が将来に夢がもてる、お年寄りが安心安全で暮らせる町づくり、これからも一生懸命取り組んでまいりたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

13番玉城安雄議員。

○ 13番 玉城安雄議員

すばらしいコメントどうもありがとうございます。これで私の一般質問を終わります。

(13番玉城安雄議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで13番玉城安雄議員の一般質問を終わります。

次に、8番島袋完英議員の発言を許します。

(8番島袋完英議員登壇)

○ 8番 島袋完英議員

8番島袋です。通告に従って質問いたします。まず、観光・商工課の再配置についてであります。1点目に、商工・観光課は、何年にどのような観点からは廃課になったのか。2番目に、新たに課に昇格させ商工・観光にもっと取り組むべきだと思うがどうか。

次に、具志川漁港の改良についてお尋ねします。1、具志川漁港は、廃港になっているのか。2番目に、改良工事を入れ、活用すべきではないか。改良方法として、湾側の陸向けの方へもっと掘り下げて、波が奥までいくような、そういうふうな方法にすれば活用もできるのではないかと思います。どう考えるか。

次に、県道イーフ線の改良工事についてあります。この工事は事業始まっておりますが、何年に採択された事業か。2番目に、終点はどこか。3番目に、何を目的としての事業か。4番目に、この事業が採択された頃、仲泊・鳥島地区の、旧具志川村の街であります。その拡張工事、道路工事の協議は協議されたのかどうか。5番目に、すでに採択されている新興通りの事業は、なかなか進んでおりませんが、どんな理由があつてこんなに遅れているのか。

次に、新庁舎建設について伺います。新町の統合庁舎建設の計画はどうなっているか伺います。2番目に、30年以内に起こりえる可

能性が70%以上と言われて今盛んにいろんなメディアで学者たちも言っておりますが、大きな地震が起こる可能性があるということなんです。大震災が発生した場合、庁舎は町民の尊い人命、財産を守るための司令塔です。新庁舎建設についてどう考えるかお伺いします。

兼城港湾の整備についてです。日台漁業協定で、久米島にも支援事業があるか。また、そういうのを要望はしたことはあるか。2番目に、水産庁の水産業強化対策事業を活用し、兼城港を監視船の寄港地として大型船が接岸できる港に整備要望すべきではないかと思いますがどうか。3番目に、現在進められているバースの工事ですが、西側も浚渫されると思います。その土砂で、ふれあい公園前を埋立てたらどうか。埋め立て地が毎回台風で波が上がって浸水するということがありますので、これを防ぐためにもこの土砂を利用するはいかがかということです。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

8番島袋完英議員の質問にお答えいたします。観光商工課の再配置についてですが、商工観光課につきましては平成23年度から組織改革の一環としまして、簡素で効率的な組織とすることや課の規模等を基本に、関連する課の統合を行ってまいりました。新たに昇格させる件につきましては、今後、問題点や課題等を検証し、組織改革が必要であれば取り組んで参りたいと思います。

具志川漁港についてですが、具志川漁港につきましては廃港ではありません。今後、廃

港の方向またはどのように活用するのか、漁協、県と調整しているところですがまだ結論は出ておりません。

県道イーフ線の改良工事の件ですが、採択年度は平成23年度、工事終点はB&G財団体育館入り口手前です。事業の目的は安全性の確保、利便性の向上、観光の振興、地域活性化に図る目的で実施しております。仲泊・鳥島地区の事業につきましては当事業と同様、継続して県へ要望しております。新興通りの進捗状況につきましては事業費を用地補償の先行取得に充てており平成25年度は工事実施しておりませんが事業は進んでおります。

新庁舎建設についてですが、新庁舎建設につきましては、平成20年2月26日に行われました「第3回庁舎建設検討委員会」において、現在の厳しい財政状況の下では、当分の間は困難である。」という答申を受けているところでもあります。その後、早期に実現できるよう基金の積み立てを行っているところでもあります。2番目につきましては、大震災時の対応等や位置も含めて庁舎建設検討委員会で検討してまいりたいと思います。

兼城漁港の整備について。日台漁業協定の支援事業ですが、沖縄漁業基金事業が利用可能になります。2番目の水産庁の事業で国土交通省所管の港湾を整備するのは困難だと考えています。3番目の件ですが、現在実施中の兼城港兼城地区、花咲地区の整備事業において一部埋立を予定しております。埋立に要する土砂は航路の浚渫土砂を流用しますが足りない状況であります。ふれあい公園前埋立を港湾浚渫土砂を流用するものとして埋立計画するのは困難なものがあります。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

商工観光課の件について、同僚議員の質問にもありました。22年の9万台から23年には7万台に、1万2千ぐらい落ちたわけです。その後順調な回復ということで8万3千、8万6千ということなんですが、先ほども言っていたように震災後の持ち直しの影響もあるんじゃないかと私も思いますが、4千から5千ぐらい増えていますが、そうすると今年度で9万にまた戻るのかなという気もしますが、観光面での一括交付金でたくさん事業がつけられています。観光協会に丸投げしているような感じだと思うんですが、新たに観光課と設置してやればそこで予算の使い方ももっと効率的になるんじゃないかと思いますが、課長どうですか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

商工観光課で観光振興をやっている時の一つの課題として、当時の商工観光課はイベントを全て持っているわけです。年中イベントに追われてなかなか政策的な業務ができないということで、じゃあ課の規模を大きくしたらどうかということで課の統合をして人が増えたらイベントの対応をしやすくなるんじゃないかということで統合した経緯もございます。

それと、課を統合してもやっぱりイベントというのは年中大きな負担になるわけです。そこで大きなイベントは環境保全課に移してやっていただいております。そのお陰で我々は24年度から新たにできました一括交付金に

ある程度集中して執行できる体制になっているということです。外形的な問題ではなくて中身で職員が仕事をやりやすい環境になるのかどうかという部分が大事だと考えております。職員の数は多ければ多いほどいいわけですが、今財政がこれだけ厳しくなってくる中において、やっぱり重要なのは民間と行政が手を取り合って町づくりを行う、協働の町づくりというのが一番重要だと考えておりますので、私としてはあと少しは増えてほしいという素直な気持ちもありますが、今与えられた現行の人員でできるだけやっていきたいと思っております。

それと、いま一括交付金の事業も丸投げではなくて、町がやるべきことは町がしっかりとやっております。例えば、観光振興計画をつくるとか、ウェブプロモーションをかけるとかいった、町が直接の事業も半分近くございますので、それを今二人の職員で観光関連施設の管理もしながらやっているわけでありまして。課のあり方についてはいろんな考え方があると思いますので、大いに議論をしながら、どういった方が行政目的を達成することができるかという議論を踏まえて対応していければと思っております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

今の答弁のとおり、あなたとしてはこのままでのいいと。別に仕事が多いとか、今のままで続けてもいいという考えですか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

決して今の状態がベストだとは考えており

ません。いろんな議論を踏まえて課のあり方を決めれば、それでよしということでございます。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

観光の最後、これは町長の施政方針にも順調に回復しておりますと書いておりますが、今後の見通し、目標がないんです。これをどれぐらいみているのか。何年で何人までもっていく考えですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

以前から久米島観光の目標は15万人ということは20年ほど前からずっと目標が立てられておりました。残念ながらいろいろな外的要因、社会情勢の移り変わり、いろいろな部分でまだ達成はできておりません。目標はあくまでも15万人ということでありませう。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

何年で15万人にもっていくつもりですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

現状を考えた場合に、航空路併せて、ホテル併せますと、現状を考えた時には来年度すぐ15万人になるということはちょっと厳しい状況だと思います。よほどバブル時代のような状態になれば可能性はないとも限りませんが、ただ私どもが一番懸念しているのは航空運賃の問題、あるいは2時間以内で那覇を往復できるような船の問題、いろいろな

ことを解決すれば、これも可能になってくるんじゃないかと考えております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

今の推移からすると年間5千人増えるとして10年後ですよ。10年後には15万人ぐらいにもっていく考えはありますか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

具体的に何年後に何万人という目標はございませんが、15万人という目標は常にもっております。これは観光協会あるいは役場内部でも同じ目標に向かって今事業を進めているわけでありませう。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

目標というのは何年までにいくらとやらないと、20年かかるのか、50年かかるか分からないですよ。石垣が新空港になってあと何年でしたか、あと5年ぐらいですか、今70万人近くいっていますね。石垣が100万人見込んでいます。県は1千万人、そういうふうは何年で何人に目指していこうとそういうものを立てないと駄目じゃないですか。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

ただいま町の観光振興計画をつくっております。これは各部門毎に過去の実績を分析して、久米島町の強み弱みがそれぞれあります。例えば弱みという部分では航空路線の問題があります。船の問題があります。それをいつ

までにどう改善していく、そうすれば5年後にはいくらにもっていくという計画を具体的につくっているところです。従って、観光振興計画の中で5年後の目標は設定いたしません。今それに取り組み中であります。

町長が先ほど示しました15万人ということは我々も町長からその指示を受けておりますので、これを将来の目標として、それを実現するには何年かかるかということも含めて将来の目標として、しっかり新たに取り組んでいきたいと考えております。当面は観光振興計画の5カ年の目標を具体的に定めていくということで、今年度中でやりたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

そういう計画を立てているのであれば、数字も出ているんですか、5年後には何名達成できそうだというような。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

例えばそこも含めて精査しているところがございます。ですからまずは今年度で9万人に近づける。その次のステップは平成15年の10万人に乗せる。その次のステップはそれにいくら上積みできるかということになるかと思っております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

順調に回復してきておりますので、これに乗って5千人から6千人、7千人、8千人と増えるように努力していただきたいと思いま

す。

次に具志川漁港の件ですが、今県とも調整中とあります。これは利用者から声を聞いて質問に立っているんですが、せっかくあるのに使えないという、何とか使えるようにできないかということがありましたので問いました。答弁によって県と調整中というんですが、いつ頃までにはっきりするんですか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

時期についてはまだ明確にいつまでということはお答えできませんが、県の方とも大東の方で同じような工法で掘り込み式で漁港をつくっておりますので、これが具志川漁港に技術的に適用できるのか、そこらへんも含めて26年度、大東島の視察も含めて検討していきたいということで県と調整しているところであります。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

ありがとうございます。いずれにしても早めに活用できるように努力していただきたいと思っております。

次にイーフの件でございますが、安全性、利便性、観光振興、地域活性化、このいずれの理由も旧具志川の新興通り、中央通りにも当てはまるものなんです。合併当時、両通り会の活性化に向けての取り組み、両通り会の改良工事をぜひやるといふ、本当に県にも要請して、県知事と文書で交わすべきじゃないかということまでやったんですが、知事は文書ではできないと、とにかくやりますと。合併後もこれを取り組みますという回答を私た

ちは聞いているわけです。ところがほとんど進んでいない状況で、その中でイーフのあの路線が新たにまた改良されるということは、これは目に見えて分かるものは皆住民もなぜかとなるわけです。合併して両方とも同じように発展していくべきのが、あまりにも差があるんじゃないかと。しかも中央通りは歩道もないんです。新興通りは歩道があるんですが、中央通りは歩道もない。しかも清水小学校、西中、元の具中に行くスクールゾーンにもなっていると。そういうところが進まないで、イーフの今の道路を改良するということは、他所から見れば本当に贅沢な工事だというわけです。ですからどうしてそうなったか、町長。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

まず、計画の経緯からお伝えしないと誤解を招くと思いますが、イーフ地区は島尻から真泊まで旧仲里村時代に計画はつくられておりました。それを三位一体改革のあおりで銭田で止まってしまったのを、住民の要望を受けて、何回も要請してやっとその計画を元に戻してそこまでやったという経緯がございます。それはぜひ誤解しないでもらいたい。降って湧いたように工事ができたわけではございません。何十年も経った前に計画をつくって、それを要請で復活させたという経緯がございます。

中央通り、新興通りにつきましては私もずっと関わってきました。就任してから。これも国に、通り会の皆さんと一緒に何回も行って、県にも行ったりしてやってきて、計画が立てられたのは、定かではないですが去年、

一昨年だと思います。その中でトントン拍子でいったのは私は速度としては早く進んだという思いであります。ただ島袋議員が遅々として進まないというのは、住民の合意形成ができていない部分だと思います。そこはぜひとも地域が合意すれば県もゴーサインを出すというところまでいっているんですが、なかなか地域合意ができてないということが、これまでありました。

私は就任以来ずっと関わっていますから、この経緯は私自身しっかり分かっておりますので。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

その経緯は分かりました。ただそういう関心のある住民達は、あまり差がありすぎるので、その内容まで分からないわけです。旧具志川側の通り会の件ですが、最近この2、3日になって居住者たちが立ち退いて、今はもう家の取り壊しをやるかなというふうになっていますが、これはすぐ工事が済むのか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

25年度予算におきましては現在物件の補償、それを主体的に行っております。継続しまして26年度工事に入る予定となっております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

今例えば営業しているお店が立ち退いて壊す感じの作業になっていますが、これは別に県の工事とは関係ないわけですか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

県の工事で補償費として支払いしまして、家主さんの方で現在取り壊ししているという状況です。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

実際、工事実施は26年に入ってからですか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

そうです。26年度工事となります。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

それから、中央通り会、アーリ橋から清水小学校まで、その件は進んでいますか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

中央通りの整備につきましては1月に通り会の役員の方々と意見交換しまして、今まで整備が進まなかった原因としまして、両側に拡幅するという計画じゃないと駄目ということでの地元からの要望がありまして、そうした場合に県の方では事業費が相当嵩むと、それでは採択が厳しいのではないかとということで、前回の役員の皆さんとの意見交換では片方に寄せての拡幅ということでの合意形成が可能かどうかということでまた取り組みをやっていきたいということでありました。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

その件をそれで進めるということになったと思いますが、県とは話は進めているんですか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

県の方とはまだ調整はしておりません。通り会の方での具体的にそういった同意が得られるかどうか、できた時点でまた県の方と調整していきたいと考えております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

これも合併して13年経過しています。早めに進めていただきたいとお願いしておきます。

それから、新庁舎ですが、住民サービスの拠点として統合庁舎の建設をし、職員及び住民の速やかな一体性の確立を図る。しかしその間は既存庁舎を使用しておくということで新庁舎計画にもなっているんですが、もう11年、12年過ぎております。未だに回答では20年に庁舎建築検討委員会をもったというんですが、その後に大きな地震があるわけです。東日本大震災があったんですね。あれだけの地震は想定外のことが起こっているわけです。最近では。それにも関わらず建設委員会、検討委員会は、その後も1回ももたれてないといいますがどうですか。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

建設検討委員会が平成20年の2月に第3回で当面は財政面で厳しいものがあるというこ

とで、いま休止状態になっております。それも庁舎を建設するには約10億円ぐらいかかるといわれておりましたので、その中で5億円は基金積み立てしないとなかなか厳しいんじゃないかということで、5億円ぐらいの積み立てが、ある程度目処が立ったら再度検討委員会を開いて新たに検討しましょうということでありまして、先ほどご指摘がありました地震があった後には、確かに1回も開いていないということです。

26年の1月現在で、建設基金が2億1千万円ぐらいありますから、あと4、5年では目標の5億円に届くと思っておりますので、その辺を目処に再度検討委員会を立ち上げて実施していきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

総務課長、こっちがお金貯まるまで地震は待たないかもしれませんよ。いつ起こるか分からない状況で、なんか危機管理がないというのはそのへんじゃないかと思うんです。向こうのことで沖縄は地震がないんだと。地震がないから自信があるということもいうんですが、それが、まさか、ということを我々想定して取りかからないといけないと思うんです。ですから私は今の復興特例何とかいろいろありますよね、国が出した。これが復興予算でこんなのができるのかと思うような国会で、つくられているんですが、こういうのも利用できるんじゃないですか、逆に庁舎だったら、どうですか。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

復興予算ということですが、先週総務省の会計検査がありまして、復興予算に関しては相当厳しいものがありまして、そういった庁舎建設には、なかなか該当しないということの説明を受けております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

その予算でつくっているところはだいたい大丈夫じゃないかと思うようなところを、大きな地震があったときには持たないかもしれないということで建て替えをしましたとか理由をつけていますよね。この庁舎なんか海拔3mないんじゃないの。イーフあたりは2mですよ。5m以下のところは一発で駄目なんです。ですから一番そういうものに該当理由づけはできるんじゃないですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

島袋議員がおっしゃるとおりでもあります。東北あたりでも大震災のあとどこへ町づくりをするか半分半分なんです。元の場所へつくる、あるいは丘へ登る。それで自治体が非常に判断に迷っている部分があります。例えば我々が今住んでいる地域を考えた場合に、本当に高台に新しくつくるものは全部引っ越すかと。そうはならないと思います。もし何かあった時というのは減災という名目で、それで地震対策を防災計画の中に取り入れております。ハードの部分はすぐ高台にということではできませんので、ただ、この中で地域の人たちが住んでいる近くに役場がある方がいいんじゃないかという意見もございしますので、これについては建設検討委員会の中

で再度検討してまいりたいと思います。

場所、どの地域というのもこの中で決定していくと思います。必ず高台というふうには限らないんじゃないかとも考えております。

○ 議長 喜久里猛

平田明行政改革推進室長

○ 行政改革推進室長 平田明

島袋議員の質問の中で庁舎建設の部分ですが、総務課から行政改革推進宛に移管された事務で公共施設等総合管理計画の策定があります。全公共施設について老朽化状況や、利用状況を調査し、今後の施設の新設、更新や維持管理等についての基本的な方針を26年中にまとめる予定です。庁舎のみならず一番心配なのが学校施設です。また町民がよく利用する改善センター等の集会施設とか、児童・生徒の集まる教育施設、そのへんの老朽化がどんどん進んでいる状況で、庁舎のみならずいろんな公共施設の老朽化対策をどうするかということで、一概に庁舎建設基金で庁舎を新築するだけじゃなくて、そういう観点で取り組みをし、全体的に調査しております。夏頃にはまとまりますので、議会の皆さんにご説明申し上げて、これからの公共施設の更新、新規にやる部分や現在の状態を説明しながら、それも併せて基金の基準といいますか、それも含めて庁舎を優先にやるべきか、あるいは先ほど説明したような公共施設をやるべきかというのを検討していく時期にきていますので、そのへん含めてご理解を願いたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

説明もよく分かっておりますが、町長が必

ずしも高台とは限らないというのは私は反対です。やはり高台ですよ、どんなことがあっても。今からの建物は、特に公共施設は、学校にせよ15m以上のところに持っていかないと、後で後悔しますよ。やっぱり高台です。

庁舎建設権等委員会というのは少なくとも1回はもつべきじゃないかと思いますが、どうですか。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

新たに建設検討委員会の規約に則って、新たに委員を選定しまして、その時には議員の皆さんにも2人ぐらいお願いするかと思いますので、検討委員会を早めにもちたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

兼城港の整備についてであります。いろいろ書きましたけど、これは私の要望で書いてあるんです。せっかく日台漁業協定を結ばれて、宮古、石垣、与那国には結構事業を入れているんです。これは地元から要望があるもんだと思いますが、水産庁の水産業強化対策事業という資金があって、それでいろいろ新聞にも出ているんですが、本町としては加工施設とか冷凍施設とかできますので、しかし他に要望するものがなかったのかどうか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

以前に日台漁業協定の説明で、水産庁長官が2度ほど参りましたが、我々も水産庁の船を久米島に停泊させてくれという要望はいた

しました。ただ港の構造上、喫水域が5mちょっとしかありませんので、水産庁の船は7m以上ということで、浚渫をして大々的に改造しないと停泊できないという状態でありました。私ども以前から保安庁の大きい船も兼城港に入れたいと思っていたんですが、やっぱり喫水域の問題です。今後兼城港湾、花咲もひっくるめて、喫水域というのは問題となっていくしますので、これをなんとか解決する方法を考えていきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

ですからせっかくそういう状況にありますので、理由立ていろいろできるんじゃないかと思うんです。そういうことで浚渫、岸壁から整備させておけば、目的は水産庁の監視船の寄港として指定してもらって、そこを整備してくれという要望はできるんじゃないですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

これはできます。また現にお願いをしました。我々は海上保安庁の長官ともお会いしまして、ぜひともこの大きい船を兼城港、つまり新しいバースを効率的に使うということがこれまでの懸念でしたので、これを使ってくれという要望もいたしました。これについては要望はしますが、実際に船が停まる環境であればすぐ来ると思います。だからその船が停まる環境にするというのが我々の役目ですが、これは県あるいは国に対して大きな事業となりますので、これは継続的に要望していきたいと思います。

もちろん浚渫の問題、入り口から兼城港までの距離を全部浚渫しないとなかなか大きい船は入れないということです。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

ですから港湾だけの問題じゃなくて、私も燈台の島の入口、そこから変えていくぐらいの工事を国にやってもらいたいということを行政から要望してほしいと思います。

県の25年度の補正予算で社会資本整備総合交付金の配分で久米島は地域活性化観光振興を支援する港湾整備事業として9千万円がついていますよね。これはどの事業になるんですか。いま宮城組がとっている事業に入るんですか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

これにつきましては、港湾の県の方で事業を実施しております花咲地区も新規採択で調査が入っております。そして兼城地区につきましては工事が進捗しているという状況です。兼城港についての予算だと考えられます。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

分かりました。

それから、今の工事でたぶん浚渫するだろうと思ったものですから、その浚渫をふれあい公園の前に移して、ついでにそこを埋立したらどうかということも要望したんですが、これはこの地図から見ても分かるように、鳥島漁港とガラサー山、そこまでやると水平な平行の防波堤になるんです。ふれあい公園の

前が湾になっていますがそこが湾にならないようになるんです。そうすれば波の上がる心配もないということで、それから浦地川の赤土の防止にもいくらか湾内で鳥島漁港から兼城港湾内で止められるんじゃないかということでやったんですが、そういう考えはないですか。

○ 議長 喜久里猛

真栄平建正建設課長。

○ 建設課長 真栄平建正

現在のところ兼城港の事業計画の中では浚渫につきましては現在の採択されている事業の範囲内、要するに岸壁の整備、そして一部用地に掛かる埋立の部分での計画が採択されております。航路等の浚渫につきましては入り口含めて現在採択されておられません。航路については一部前に台湾船が座礁した地域、あの一帯が浚渫される予定となっております。

○ 議長 喜久里猛

8番島袋完英議員。

○ 8番 島袋完英議員

最後に、やっぱりそこは波高といいますか、埋立地の公園の浸水、あの近辺の浸水を防ぐためにも一直線になるぐらいの防波堤をつくった方がかえっていいんじゃないかと思imasので、何か事業を見つけてできればと要望して終わります。

(8番島袋完英議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで8番島袋完英議員の質問を終わります。

休憩します。(午後2時55分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午後3時04分)

1番棚原哲也議員の発言を許します。

(棚原哲也議員登壇)

○ 1番 棚原哲也議員

1番棚原でございます。私の方から3点ほど質問いたします。まず1点目に字真謝の旧仲原家の利活用についてでございます。旧仲原家は沖縄の歴史の大家であられた仲原善忠、善秀先生の生誕の屋敷であるが今般、町が買い取り大規模な改築がなされているが

(1)買い取り及び改築にかかる経費は総額でいくらぐらいか。

(2)改築終了後の利活用及び管理運営の方針を伺いたい。

2点目、ハテノ浜、御願崎灯台設置場所及びトンバラ岩の帰属について。

ハテノ浜、御願崎灯台設置地区及び飛原岩(トンバラ)が久米島町に帰属しているか伺いたい。

3点目、町内の各漁港に放置されている廃船の処理について。

現在、各漁港の用地内に多くの使用不能状態の漁船及びプレジャーボートが放置されており、漁港内の用地の有効利用の面から廃船の早期撤去の必要があると思うが、今後の対策を伺いたい。よろしくお願ひします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

1番棚原哲也議員の質問にお答えいたします。

字真謝の旧仲原家の利活用についてですが、仲原家の改修にかかる費用は総額で5千187万7千972円になります。

今後の利活用方針として町民・観光客を対

象に「久米島の歴史・文化に触れることができる施設、観光等地域活性化の拠点施設」を基本に据えて、管理・活用団体を提案型で公募中です。

ハテノ浜等の帰属についてですが、ハテノ浜、御願崎灯台設置地区及び飛原岩（トンバラ）につきましては、現在、久米島町に帰属はしておりません。

あと廃船の処理についてですが、放置漁船対策につきましては、沖縄県と現場調査を行って対応を検討しましたが、所有者の処理費用の負担の問題があり、実施することができませんでした。引き続き沖縄県と協議しながら対策を検討してまいりたいと思います。

（平良朝幸町長降壇）

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

ただいまの町長の答弁について再質問を行います。仲原家の利活用についてです。買い取り及び改築にかかる経費総額がいくらかの質問に対し、改修総額として5千187万7千972円と答弁されているが、買い取りにかかった費用もそれに含まれているのかお伺いいたします。

次2点目に現在屋敷の正面には既に仲原家の説明書きが刻印された石碑が建立されていますが、家屋に5千万余りの高額の費用をかけて改修する必要があるのか。

3点目、家屋に文化財的な遺産が保存されているのか。

4点目、管理活用団体を提案型で公募中との答弁だが町の広報等で町民に対し告知されているか。

5点目、利活用方針として町民観光客を対

象に久米島の歴史文化に触れることができる施設、観光等地域活性化の拠点施設を基本に据えているとしているが、敷地は県道及び町道に面していて観光バス、レンタカー、タクシー等で観光客等来客が合った場合、駐車場の必要性があると思うが、付帯施設として駐車場の整備も計画があるのか。

次6点目、管理を民間委託とした場合に委託金額は、年間どれぐらいを想定しているのか、以上6点お伺いいたします。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

ただいまの仲原家の改修にかかる費用、先ほど町長が総額で申し上げたのですが、買い取りに関しては土地代込みということで1千396万5千472円で買い取りをしております。

あと仲原家の2つ目に仲原家の文化財的価値ということですが、実際、仲原家の家屋については、博物館の方にもいろいろ調べてもらったんですが、仲原先生が生まれた家じゃなくて、そのあとの兄弟の方達が住んでいたという家ということで、文化財的な価値については今の段階では評価できないということでした。ただ、保存活用について屋敷内にフールとか、そういった当時の久米島の生活風土を知る上で貴重な構築物もあるということで、そのあたりはぜひ残して活用してほしいという博物館のアドバイスもありました。全体的には家屋としての使いかたも含めてなんですが、文化財的な活用というよりは一つの久米島の歴史を発進する場というようなことで使ってはいかがかというアドバイスを受けております。

2つ目に活用についての方法の提案、告知

については10月11日に町のホームページ、そして広報で告知をしております。ただ関心を示した1団体あと個人の方が2名、関心を示して、資料、その提案の要領とか貰っていったんですが、期限内の申し込みはありませんでした。

あと駐車場については、現在、交差点から役場方面に向かって上り坂の方なんですけど、その道路側溝の横の方に乗車で3、4台止まれるスペースを駐車場として確保しております。告知の中で、その管理、活用方針の提案ということでやっていて、実際、委託という性格ではなくて、その仲原家を活用してそこから収入運用でその維持管理も自分たちで捻出する方法ということで、告知をしております。実際、委託費いくら出すんで、ぜひ管理してくれということではありません。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

ただいまの答弁で町長の方で答弁していただいた金額については5千100万余り、これについては改修費用ということで、その他に1千300万余りの買い取り費用を含む…。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

土地代とこの改築費用。

○ 1番 棚原哲也議員

含まれているわけですか。

○ 議長 喜久里猛

もう1回説明して下さい。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

この5千118万7千円の中に、土地代1千396万5千円が含まれています。改築費用につい

ては設計監理を含めて3千722万2千500円になります。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

金額については確認できました。利活用について、家屋がこれだけの修繕費をかけて改修する必要があるということなんですけど、先ほど室長の方からはフルとか昔の生活様式がまだ屋敷内に残っているということでの説明でありますけど、このような家屋については島内数カ所にそういう感じの昔の生活様式そのまま残っている地域はあろうかと思いません。博物館の方で鑑定してもらっても、その価値については、まだ家屋の価値については評価できないということの答弁なんですけど、今後これが1例目というか、今後こういう仲原家みたいな家屋住居跡が、住む人が子どもたちが孫が住まないと、仲原家についてもしばらくは親戚の方々が交代で見回りして管理していた状況だったと思うんですけど、ちょうど善忠先生の孫に当たる方が町長の同級生が健在だと思うんですけど、久米島に戻って生活をするという考えがなくて、売却の方に至ったと思うんですけど、こういうかたちで1例作ってしまうと、将来的に今の町内にある文化財指定されている上江洲家とか、浜川家とかそういうところもまた同じようなかたちで子孫の方々が居住しない管理していけないとなった場合には、また町が買い取って同じような形で費用をかけて改修して管理もしていかなくなるんじゃないかなという思いがありまして、今の質問に至ったんですけど。

やっぱり家屋の価値のあるものでしたら、それなりの評価をされて観光客、それから町

民のいろんなかたちでの活用方法で答弁されておりますように、町民と観光客対象に歴史文化に触れる施設としての活用方法、もし上江洲家、浜川家も同じような状況になった場合には、向こうこうの場合には、そういういろんな遺産や文化財的な展示物なんかもありますので活用できるんですが、この仲原家のような家屋また付帯する施設としてフールが残っているぐらいで、これぐらいの金をかけて改修する必要があったのか、そういう思いでこの質問は出したわけなんです、今後のこともありますので、町長の方からこの件に関してちょっと答弁があればお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

仲原家を保存しようというのは文化財の価値があるから保存するというものではございません。仲原善忠という久米島のヒーロー、英雄を何とか後世に残すという目的で屋敷を購入したわけです。ぜひ、ここらへんは勘違いなさらないでもらいたと思います。

全国的に「おもろさうし」の部分で沖縄文学の中で第1人者これについては本土の方が非常によく知っているんですが、久米島ではなかなか仲原善忠先生で、なんぞやというぐらいにしかわからないという部分これを人材育成やいろいろな島のピーアールするためにもこれ残しておいた方がいんだらう、後世に残すために仲原家の屋敷ごと買い取って仲原善忠生誕の地として保存しようということがあります。

まず根本的な部分から、やっぱり考え方が違うからそういう質問になると思うんですが趣旨はそういう部分であるということをご理

解いただきたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

町長ただ今の答弁のように、やっぱり考え方がお互い違う考え方を持っていて、私の場合には石垣の上に正面玄関口に説明書きで仲原善忠先生生誕の地ということで、石碑が建立されていて、それで十分じゃないかなと、建物までこっだけ金をかけて改修する必要があったのかなという思いがありまして、質問したんですが、執行部の考え方は、今、町長の答弁もあつたとおりかと思っておりますので、その件に関しては以上で終わります。

次にハテノ浜、御願崎灯台設置場所及びトンバラ岩の帰属についてでございます。現在久米島町に帰属していないと答弁されているが、ハテノ浜は久米島観光の一番の著名なマリレジャーのスポットであり周辺海域は御願崎灯台海域含め好漁場を形成し、久米島漁協が取得している共同漁業権20号の中に位置し、その一部が米軍の射爆場に含まれている。またトンバラ岩は島尻崎から4kmほどの沖合に位置している岩礁であるが、周囲の海域は好漁場である。共同20号の漁業権の圏外になっていて町内の漁業者の既得権がない状況にある。

この帰属の問題に関して周辺離島の例としまして、昨日、陸域及び海域については7km以内全てが国立公園に指定された渡嘉敷村、座間味村では全ての無人島、それから岩礁が村有地に併合され通称、チービシのナガンヌ島、神山島も無人島であるが、渡嘉敷村の村有地として帰属している状況にある。国は昨年、尖閣諸島を国有化してから国内の無人島

及び岩礁を全て国有化する方針を打ち出している。本町としても町益を守るために早急に国に対し町有化に向けて要請する必要があると思うが、取り組み方針をお伺いしたい。よろしく申し上げます。

○ 議長 喜久里猛

桃原秀雄総務課長。

○ 総務課長 桃原秀雄

ただいまの質問なんですが、今ご指摘の3カ所につきましては、現在、総合事務局の管財部の方として、海洋政策部の方に今問い合わせをしているところで、どのような位置づけをされているのか、そのへんを確認しながら、また町に帰属できるのかどうか、もし帰属できたとしたらどのようなメリットがあるのか、そのへん踏まえて問い合わせをしているところであります。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

国有化される前に町有化しておかないと町の町益、これは漁業者の權益もあります。トンバラ岩に関しましては、漁業権の範囲外に今ありますので、久米島町の漁業者が優先的に活用できないと、これは他所の漁業者がトンバラ周辺に来て漁業してもこれは取り締まるとかそういうこともできない状況になります。そこも久米島町の町有地として帰属させればそのトンバラ岩から何km以内というかたちで漁業権の拡張といいますか、そういうこともできますので、非常に町益、漁業者の利益そこらへんもでてきてると思いますので、ぜひこの地域について町有化するという方向で国との調整、国有化される前に国と調整して町有化に向けて取り組んでいただきたいと

思いますが、町長これにつきましてお願いします。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

この海岸線の問題については、まだまだ私もわからない部分もありますので、これを県からあるいは国から意見を聞いて対処したいというふうに考えております。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

次に3点目、漁港に放置されている廃船の処理について担当課に対し再質問を行います。放置漁船対策について引き続き県と協議しながら対策を検討するとしているが、一つ目、町内の漁港及び港湾に放置されている使用不可能な船舶の隻数、総数で何隻ぐらいあるか担当課で把握しているか。

2つ目でございます。処理についての県の支援について、これは県管理の漁港における漁船のみが対象になっていて、町管理漁港及び港湾の用地に放置されている漁船やプレジャーボート遊漁船等も対象にするよう要請する必要があると思うが担当課の考えをお伺いしたいと思います。

次に、今現在、県の方で支援方針を打ち出しておりますが、支援につきましては離島からの海上輸送の2分の1の費用のみを補助するというようになっており、処理費用及び陸上費用については所有者の負担となっております。これが高額な費用となり所有者がこの処理について取り組めないということで放置状態が解消されないと思われま。早急に処理するには、県に対し支援額の増額を求める

必要があると思うが、今後の取り組み方針をお伺いしたいと思います。担当課の方でよろしくをお願いします。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

まず町内の廃船の数でございますが、県管理の漁港には17隻ほどございます。町管理の漁港については、ほぼ同数ございまして、正確な数字というのはちょっと確定はしておりません。廃船の判断がこちらが廃船だと思っても相手は廃船じゃあないという部分もございましてほぼ同数ございます。それからすると30から35前後は十分にあるということでございます。それから処理についての県の支援でございますが、これは収集運搬費これは1隻あたりこれは標準の漁船になります。長さが10m、幅2.5、高さ2.3、重量15トンの想定で35万450円かかります。その2分の1が県から補助がでるようなかたちになっています。これをリサイクル料金とか、本島内の運搬賃とか含めると1隻あたり57万2千円の費用がかかるということで、今回も県と調査しまして、漁協さんも含めて主と直接それぞれ確認をしてやりましたが、これだけの費用は負担できないということで、結局は実施することができませんでした。

この県の補助金については、あくまでも県管管理の漁港だけが対象になっておりまして、町管理の漁協に放置されている漁船については対象になりません。あくまでも漁港管理者の責任でもってやるべきだという考え方の元で補助要項が作成されております。

当然口頭では町の管理の漁港にあるのも一緒にできないかというご相談もいたしました

が、そこは非常に難しいということでございます。

補助率の2分の1についても県内全て統一の補助率となっておりますので、それでは厳しいよと増やすべきじゃないかということは申し上げております。

あとまたやり方としては、逆に今2分の1の補助に町の補助を上乗せして、ある程度、漁協さんにも負担していただいて、その皆さんの負担も軽減して早期に処理できるような体制ができないかどうかということについても漁協やあるいはうちの財政担当と詰めて今後やってみたいと考えております。いずれにせよ町の管理の漁港にある物については1隻あたり57万2千円それをある程度町も負担しないといけないということになるかと思っておりますので、そこらあたりも含めてちょっと26年度以降関係者と協議をして検討してまいりたいと思っております。

○ 議長 喜久里猛

1番棚原哲也議員。

○ 1番 棚原哲也議員

ただいま仲村渠課長の方から隻数調査した結果での隻数が県管理漁港に17隻あと町管理漁港に17隻ということで大まかな数字がでておりますが、去った3月1日、県管理漁港の仲里漁港これは真謝から真泊、泊、銭田までこの4カ所4種漁港で県の管理になっております。

ここを回って見ましたら、もうまさに今後完全に使用できないだろうという漁船、それからプレジャーボート含めて真泊に8隻、真謝に7隻、泊が6隻、銭田7隻と、これが28隻ほど確認できました。

それから町管理の1種漁港である儀間、鳥

島、具志川なんです、儀間漁港の方に7隻、鳥島については約26隻、それから具志川漁港に2隻と35隻。

それから漁港ではないんですが、兼城の港湾の船だまり大田の方なんです、そこに6隻と島内全体で約69隻ほど確認しております。先ほどの課長からの報告ありました数の約倍近くの隻数が放置されて、もう古い物については船の上に2mほどの樹木が生えてるとそういうのも、これは鳥島漁港の方に鳥島漁港については台風時高潮の場合に潮が水位が上昇するというので嵩上げして民間の下の方に大分嵩上げして船置き場を造っていますが、そこに今置かれているのが大多数なんです、そういう廃船が26隻ほどもそこに放置されていれ高潮の場合に船置き場が不足しているだろうと、これ早急に船について撤去する必要があるんじゃないかなと、そういうふうに思っております。

それから県管理の漁港については県の補助事業が2分の1海上輸送についてあるということなんです、先ほど課長からお話がございましたように、町の予算もプラスして所有者の負担者軽減を図って、処理する必要があると思うんですが、これが所有者がスムーズに撤去できるぐらいの助成が漁業としてもまた協力できるかどうかということなんです、これは漁船を対象にいまのところ支援事業がありますが、プレジャーボート等も各漁港にございます。漁船以外のプレジャーボートについても、適応するように、今後検討していただきたいと思いますが、そのへんひっくるめて総体的に検討できるかどうか、お伺いしたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

棚原議員が丁寧に細かく調べていただいてこちらの発表と約倍ぐらい違うということになっていますが、そこは非常に難しいところで、これが廃船か廃船じゃないかという部分については、まずはそれと今プレジャーボートと含めてというお話ですよ。結局は県からの漁港を占拠して非常に支障があるというのはプレジャーボートあっても漁船であっても変わりはありませんので含めて町としては対策を考えなければいけないだろうと考えております。

それから今、廃船の仕方については離島から運搬して中城港で一旦中間処理するんです。要は破碎して、それをその材質ごとに分類して、最終的にファイバーについては九州の方に持って行って九州で処理するというようなかたちになっています。そういうことで、かなりコストかかっていますが、仮にこの中間処理を島でやるのが、島の産業廃棄物の免許でやることができれば、もう少しコストも抑えることができるんじゃないかなというような考え方もございますので、そこらあたり含めてやっていきたいと思えます。

町、あるいは漁協さんの協力を得てやっていくにあたってプレジャーボートも含めて対応できればと考えております。

因みに、じゃあどのぐらいなら漁民の皆さんが負担していただけるのかというと仮に52万7千円の4分の1は本人負担と使用者負担となりますと、約13万2千円ぐらいになります。3分の1ですと17万5千円で半分ですと26万3千500円というかたちになりますので、これは財政と詰めながら漁協さんがどのぐら

い負担してくれるのか、詰めながらこれはずっとそのままではいけませんので、一応方針だけは26年度中に決めたいと思っています。

○ 議長 喜久里猛

1 番棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

取り組み方針、ただいま答弁していただきましたが、この最近の船舶については、ほとんどがグラスファイバーでできていて長期間放置していても、なかなか朽ちらないということで、これを早急に撤去処理しないと漁港または港湾の有効利用もできませんので、そのへんは財政の問題もあるかと思いますが、検討していただいて、早急に廃船処理について早急に対応していただきたいと思っています。

(棚原哲也議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで1 番棚原哲也議員の一般質問を終わります。

最後に、6 番安村達明議員の発言を許します。

(安村達明議員登壇)

○ 6 番 安村達明議員

安村です。3 点ほど聞きたいと思っています。

1 点目にアーラ林道のサクラについて、今年は例年になく、管理が行き届きすばらしく咲き誇り大変感動しました。久米島の桜まつりをもっと早い時期から島外、県外へとアピールし、久米島の観光や経済効果に繋げてはどうか。桜まつりがうまく活用できれば、久米島の活性化にも繋がり住みたい人々も出てくるかもしれません。

今後、久米島特有のサクラの植樹等の取り組みについて伺いたい。

2 点目、農業、畜産、漁業の専門的知識者

について伺います。本町の基幹産業である農業、畜産、漁業について、従事者の高齢化と担い手不足の問題を取り上げ、振興対策を示されているが、町には、農業（野菜・花卉・果樹）、畜産（獣医）、漁業の専門的指導者はいるのか。

町民からの質問です。農業や畜産業、漁業の発展のためには、指導者は絶対必要だと要望している。本町には、各分野の専門的知識者がいるのか、それともすべて町外の組織に依存しているのか伺う。

3 点目、久米島高校の生徒募集について、本町は、昨年生徒数が減少し廃科の危機に直面した。久米高園芸科存続のため、全国から生徒の募集の取り組みを始めたが、しかし受入体制が整わず、苦慮していると聞いている。東京や大阪での説明会では、順風満帆な走りに見えた生徒募集は、現在どのような状況か、4 月から新年度が始まるが苦慮している現在の態勢について伺います。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

(平良朝幸町長登壇)

○ 町長 平良朝幸

6 番安村達明議員の質問にお答えいたします。

アーラ林道のサクラそして久米島特有のサクラの植樹等について今後の取り組みについてですが、球美の島緑化公園建設事業でサクラゾーンの中にクメノサクラ・クメジマザクラの植栽を行っていきたいと考えております。

農業、畜産、漁業の指導者についてですが、本町の職員には、農業、畜産、漁業の専門職員はおりいません。専門分野については、農

業は、県の農業研究センター、南部農業改良普及センターなどと、畜産については、農業共済組合の駐在獣医師や沖縄県の畜産研究センター、畜産課などと連携して取り組んでおります。理想としては、それぞれの専門家がいたほうが良いと思いますが、現実問題として定員管理や財政、費用対効果の問題等もあり専門の職員を採用するのは現在のところ困難だと考えております。

(平良朝幸町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

(比嘉隆教育長登壇)

○ 教育長 比嘉隆

6番安村議員の久米島高校の生徒募集についてお答えいたします。12月の応募開始により県外から3名、県内3名の応募があり書類選考及びインターネット電話による遠隔面接結果、県外2名、県内3名が選考を通過し久米島高校を受験する予定となっております。ちなみに里親は4世帯に了解をいただいておりますので、受験生が合格した後、細部にわたり調整を図ってまいります。

(比嘉隆教育長降壇)

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

去年の12月と1月と4、5回ほど林道へ状況を見に行きました。よく手入れされており花が満開するなという予感は十分ありました。それで2月7日だったと思いますが、FM放送を聞いていたらサクラの苗を70本程度植栽したとの話があり職員の頑張りを知り感心をしました。植林したという場所はその林道なのかそれともだるま山なのか、そのとき

に70本程度職員が植栽したみたいな話だったんですが、200本から250本程度の苗を準備されていたという話もあったんですが、いかがですか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

ただいまの安村議員の質問にお答えします。FM放送での70本というのは、70本ではなく桜まつりに記念植樹として我々が150本アーラに植える苗から7本差し上げて、それをだるま山に記念植樹したんだと考えております。

○ 6番 安村達明議員

7本？

○ 環境保全課長 佐久田等

150本日本サクラの会から貰い受けまして残りの143本は全てアーラ林道に植えました。現在、平成22年度から2年度にアーラに100本、23年度にだるま山旧飛行場跡に56本、24年度には同じくだるま山公園地内に70本、アーラに100本、今年先ほど申しましたように147本植えてサクラの花見ができるように体制を整えていきつつあります。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

ここまで頑張ってもらったら私の質問というよりは提案をしたいんですが、林道入り口の場所が現在でもあやふやでわかりにくいというのが、世間からの話がありまして、島尻部落か儀間部落入り口付近にサクラを植栽して道しるべにしてはどうかという話もありまして、特に儀間入り口付近からは数百メートルの間はサクラの木もなく私有地、結局、畑や

お墓が点在していますよね。そして林道へ続くような道路とは思えない感覚にとらわれてしまうような感じがするんです。それでそのへんの地主の方々をお願いしてサクラの木を植栽させてもらってサクラの道案内がサクラの木で、できればどうかなと思っているんですが、同時に島尻入口も同様だと思いますが、こういうサクラの木で道案内するということはどうなのでしょう。どうですか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

道路の拡幅となると隣の建設課長が答えると思います。確保した後に、その植栽ができるスペースがあれば積極的に植栽はやっていきたいと思っています。現在、所々にあるのは今この時期のサトウキビの搬入にサクラがたいへん支障をきたしているというお叱りも受けて、なかなか植栽できないところもございませので、今後、町道儀間29号線の拡幅があれば、植栽できるスペースも確保してもらって、それは積極的に植栽は行っていきたいと思えます。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

儀間入口の墓の点在するあのへんは前はサクラは植えていなかったんですか。サクラ植栽されていたような感じがするんですが、どうですか。

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

私が来てからは植栽はしていません。隣の山城課長も植えていないということですが、

もしかしたら墓の主が植えたのがあったかどうか確認していません。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

前に同僚議員からクメジマザクラのDNAの話がありましたよね。あの件についてはどうなりました。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

平成23年にクメノサクラ、そしてクメジマザクラ、それ以外の不明のサクラについてDNA鑑定をしております。クメノサクラはもちろん全国どこにもないサクラだということになっていて、久米島唯一だということになっています。クメジマザクラについてはカンヒザクラとクメノサクラの交配種ということで人為的に作ったものです。あと2系統不明なサクラがあって現在、解析中です。まだ日本の何所にもないサクラだということ、解析途中ということをお伝えします。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

2例が確定されているということですから、それでこの前テレビを見ていたら「梅は咲いたがサクラはまだかいな」という川柳的なものがありますよね。テレビでやっていたのが太宰府天満宮のサクラと京都のサクラ、奈良のシダレザクラ、違う違う、梅だ梅というのがあったんですよね。ですからサクラが咲く前に梅を植えて、その花の持続性を梅だったら、たぶん沖縄だったら11月の後半ぐらいから咲くんじゃないかなと思うんですが、

昨日、沖縄の図鑑調べてみたら沖縄でも梅というのはあるわけですね。そういうことも考えてみてはどうかということ。

それから楽天が日本一になりましたから、仙台球場に久米島の固有のサクラを寄贈して植えてもらったというのが私の提案です。答弁しますか？

○ 議長 喜久里猛

佐久田等環境保全課長。

○ 環境保全課長 佐久田等

まず最初に梅につきましては、実際に植えて実証して検討していきたいと思います。

そして仙台球場への植栽については、開幕戦に招待、町長か副町長がありますので、そのときに直接球団社長に提案していきたいと思います。

現在、阿嘉にある苗畑において平成23年度から接ぎ木したクメノサクラが何本か既に綺麗に白い花が咲いておりますので、時間があればクメノサクラのイメージももてるかと思っておりますので、ぜひとも現地へ行って見てもらいたいと思います。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

次に、産業アドバイザーについてですが、思ったとおりの答弁で町、国などの農業政策である農地プランの積極的な活用により担い手育成や農地集積を進め同時に栽培技術や経営技術の改善向上を振興に上げておりますが、私としては国の制度の問題ではなく久米島の人々の高齢化と担い手不足、若者が集まらないという課題だと思うんですね。それで各分野のアドバイザー的な人材のことで、専門的知識のない者が、要するに指導者

がないような島には帰って来る若者はおらないと思うんですね。この問題が何で農業を知らない僕がこうしゃべるかということ、これ家に集まってくる70才以上の高齢の方が集まってくると、担い手不足、うちの畑をどうするんだろう、僕ができなかったらどうするという話よくでてくるんですね。

そして私のたいしたことのない盆栽を見るふりして僕の所に来てその話をし、何とか町に聞いてくれないか。町がこういうことをできなければ子どもたちに、こういう畑を継がすことができない、もう田畑を捨てるのかなみたいな話をするものですから、その質問をしたわけなんです。それで当面に、定員、管理財政。費用対効果の問題が一番重用しされていたんですが、どういうふうな試算をしてこういうふうな答弁をしたのかということをちょっとコメントをしてください。

○ 議長 喜久里猛

仲村渠一男産業振興課長。

○ 産業振興課長 仲村渠一男

町の定員管理につきましては、現在196名の職員からあと4、5年後には180名ぐらまで絞っていく定員管理計画ですので、その中において専門職を採用するところがあるかといったら非常に厳しいところがあると思っております。今、担い手不足のお話でしたが、担い手不足と町の専門職員というのは全く関係がないわけではないんですが、直接的な要因ではないだろうと考えています。担い手育成については今、人・農地プランの中で青年就農給付金ということで45才未満の者が新たに農業を始めようとする場合、年間150万、これ5年間ちゃんと一人前の農家になるまで支援していきましょうという

非常にいい制度もございますので、やっぱりそういった制度を使って後継者の育成というのは取り組んでいきたいと考えております。

あと個別の専門的な問題については、例えば去年のイネヨトウの発生があったとした場合は、これは県の病虫害防除センターに専門家がたくさんいますので直ぐ来ていただいて一緒に対策を考えて実行していきます。先ほど一般質問の中にあったサトウキビの単収の低下という問題があったら今農研センターを呼んで見てもらって、それをどうするかということでやっておりまして、基本的な先ほどの一般質問で答弁しました土壌分析をまずやって、しっかりその対策をやっていきましようということをやっています。

後は今、紅芋の植え付け面積が増えてきていますので、それを専門的な立場からどうしようかということについては今定期的に南部の営農支援センターから専門家を呼んで、そこで協議会の中で懇親会をしていきます。

そういった専門家の必要な部分については、町でなかなか単独で採用するというのはなかなか難しいというところがありますので多いに県の職員を活用して招聘して技術的な問題には取り組んでいきたいと思っております。

それと基本的には町行政、県、そして農協さん、あるいは久米糖さんそれぞれ役割分担がございますので、どちらかと言えば町はそれぞれの課題を拾い上げて、それを解決するにはどうすればいいかという部分でいかにいろんな助成制度を活用して、その課題を解決していくかという、行政手腕の方で力を発揮していくべきで、やっぱり専門的な部分についてはやはり専門を抱えている機関にお願い

して、お互い連携してやっていくのが担い手の育成にも繋がるし、町全体の農業の振興にも繋がっていくものだと考えております。

そういう意味で専門職をかかえるということは理想としては非常に良いことだとは思いますが、現実的に非常に厳しいところだと思っています。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

大変わかりやすい答弁で、もう感心しました。それとそういうふうToUpperい答弁をされると今度はつかかりたくなるんですよ。これ町の職員が20代で入りますよね。そしたら定年まで40年余り働くわけでしょう。その中の前半の10年ぐらいどうですか若い従業員に研修なり講習なりさせて、それなりのある程度の知識を持たせたらどうですか。そしたらその職員の意識改革にもなると思いますよ。そういう若い役場職員がこういうこともできる、こういうこともしている。ああいうこともしているとなれば現在の若い者達というのは昔僕なんかと違って交流的なものがものすごく強いものがありますからね。かえってこういうので若いのが帰ってきて、じゃあ、君が指導してくれるなら僕も農業にも移ろうかなとか、そういう話もでてくると思うんですよ。

例を話しますと、僕の友人で平成15年ぐらい前に自動車学校の検定員を辞めて農業に移って、そしてスイカを始めた、それがもう豪邸みたいな家を造って大成功されているんですよ。最近、会ったある議員は今帰仁の議員ですが、もう辞めて議員では食っていけないから農業を始めようかなみたいなことを、こ

の前言っていました。そのぐらい今帰仁、本部というのは農業が普及して若い者が集まるような状態になっているらしいです。

あなたがさっき話した150万の補助金の話もしていましたよね。そういう話も同じような活用的なことをやっていると思うんですが、どうして久米島では若い者にやり手が集まらないのか、何で今帰仁、本部方面は、そういうようにして改善されてきているのかということが、とても疑問に思うところだったんですよね。ただ僕のおくまでも一つの思いでありますので、これは何とも言えないんですが。

町長、地産地消の問題ありましたよね。地産地消というのは町長が推進されているのは農業だけですか。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

地産地消というのは基本的には自分で作ったものを自分たちで食べるということなんで、つまり大きく拡大すれば地域で取れた物を地域の人で消費するということです。ですからそこに団体があるとか何とかというのは二の次で、とにかく地元でできたものは地元で消費する地元からお金を出さないというのが地産地消の考えですが、これ農協だけとかどこだけとかという問題ではありません、久米島全体として考えればそういうふうになります。

○ 6番 安村達明議員

農業だけなのかと聞いているんです。

○ 議長 喜久里猛

平良朝幸町長。

○ 町長 平良朝幸

いいえ農業だけじゃないです。農業だけじゃないということなんですよね。つまり例えば豆腐を作る島内で消費する。あるいはイモを加工して商品を作る、そういう中で消費する。外へ出す商売の商も入っていますから、ですから農業だけではないということです。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

農業だけじゃないということをおっしゃったので、温度差発電の方がありますよね。あの温度差発電は成功して、いつ頃実用化できて、いつ頃温度差発電の電力を地産地消できるんですか。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

今、温度差発電の質問がでましたので、私の方で回答したいと思います。県が事業主体となって、現在、真謝にあるプラントを実証試験しております。これは来年26年度いっぱい試験が続きます。いろんな性能試験とかあと新しい技術を途中から加えて熱交換プレートというのがあるんですが、それを加えて、その効率を検証する事業とかいろいろ入っています。その実験終了後に実用化に向けてはやはり取水量を増やして今の10倍の出力にするという目標があります。着実にその工程は作っているところですので、あと課題は取水管に百数十億というお金がかかると、その発電設備も含めて、そこをどうするかという大きな課題が残っております。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

百数十億かかる？

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

取水管と、その設備に100だいたい4、50億という予算がかかります。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

百数十億かかる、こんなにかかるんだったら、沖縄電力に払った方がいいんじゃないのかなと思うんだけど僕は。

○ 議長 喜久里猛

もう一回説明して下さい。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

単純に設備の方に焦点があててしまったんですが、実際にその100億以上のお金がかかるというのは、発電だけにこれは使うのではなくて、水産養殖とか、あと野菜の実証試験とかいろんなものに使っているんですが、それをもっと拡充する意味で、トータル的にはそれぐらいの金かけて経済効果もそれぐらい出るといような計算で計画を進めております。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

これは宮古のことが新聞に出ているんですが、太陽光発電を地産地消にしようという来間島での、そういう再生可能エネルギーとして活用するとか、エタノール製造プラントでは日本アルコール産業東京がバイオエタノール製造やサトウキビを利用した肥料化事業を今後進めていくみたいなこともやっているんですが、これ久米島では太陽光発電とか風力

発電というのはやっぱり面積的には無理な所がありますか。

○ 議長 喜久里猛

中村幸雄プロジェクト推進室長。

○ プロジェクト推進室長 中村幸雄

宮古の離島も含め再生可能なエネルギー、E3ガソリンとか、いろいろ太陽光も含めて大々的に取り組んでおりますが、久米島においても風力、太陽光プラス温度差発電という、エネルギーのベストミックスというふうに表現しているんですが、そういった可能性を現在調査しております。これは県が久米島全域を調査しておりまして、実際の風力発電の立地可能性、あと太陽光パネルを敷き詰められる土地があるかというのを、今調査している最中です。

やはり久米島の面積からすると実際メガワット級の風力発電とか設置できるのかなというふうな少し疑問点は残るんですが、可能性調査はしているところです。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

その話を聞いて、いろいろ小さな島だからいろんな難しいところもあると思うんですが、久米島の発展のためにはどうしたらいいかということ、みなさんよくお考えになられていると思うので、そのへんでその質問を終わらせていただきます。

それから3番目です。生徒募集の問題で里親制度については4世帯で了解を得たとありますが、入学生は決まったのか、それと里親制度はどどこにどうするという事で調整はできたのか、ちょっとお聞きします。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

島外から5名の子どもたちが今回、今日、明日の久米島高校の入学試験があります。まずは入学試験をクリアしないことにはどうしようもありませんので、今日6時半からまずは島外の子どもたちと、それから里親の面談はいたします。しかし実際に、これから細かい調整が入っていきますので、明日の試験が終わり最終的に久米島高校の合格発表がでたあとでないと、そのへんのことはまだわかりかねます。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

そうか。せっかく6名募集に参加したということなんですが、全て入れたらどうですか。足りないのに。どう思われますか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これは昨年度の12月から応募開始し、それから島外から6名の応募があったわけなんですけど、いろいろインターネットをとおし、そして自己診断書を提出してもらいまして、その中で私たち委員の中で選考した結果5名ということになりました。この6名の中にはいろいろ課題を抱えている子どもさんもいましたので、絞って5名ということになっております。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

これは、沖縄タイムスの久米島高校の生徒募集、魅力ある学校づくりに、下地という方

が書いてあるんですがね、これは町内の40家庭を訪問し、地元の有志がとあるんですよ。

これ今日私の同僚議員が持ってきて、私に見せたものですが、これだけの名簿、名前が上がっています。久米島の商工会の会長とかそういった人たちが載っているんですが、どうしてこの人たちは生徒を受け入れ募集の中に入ってこないんですか。入っていますか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

魅力、そして高校の発展を考える会の中でもいろいろ意見交換をしたわけなんですけど、やはり受け入れについては厳しいというお話がございました。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

これだけの人たちが集まって自分たちは何もしないで、他からどうしてお願いします。はい、わかりましたと受け入れますか。誰もやらないと思いますよ。これだけの人間が集まってこういう話をして、受入体制もきちんとしてできないまま話がどんどん進んできましたよね。

最後にはなんと書いてあるかという7年前の隠岐島前高校、これ本当に真似ようとして真似することができなかったみたいな印象を取られているわけですよ。それで最後に行政、学校、地域が連携し課題を掘り下げ、久米島発の教育施設も打ち出し、何よりも島の生徒たちにとって魅力のある学校づくりを期待したい。そう言っているんですよ。そういわれてそれに対しての体制づくりとか、そういう気持ちに対しての教育長なんかの気持ち

としては、受け止められる気持ちとしてはありますかどうか。準備できていますか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

まずは今の久米島高校の現状を考えて見た場合に、どうしても島外からの子どもたちの募集、そして島外へでていく子どもたちが久米島高校へ入れるような、そういった環境作りが求められております。これにつきましてもやはり町民の総意ということで、これまで久米島高校の取り組みをしたこと、経緯もございまして、これからも久米島高校の魅力化、そして久米島高校に入りたいようなそういった環境学習が構築できることをいうふうに考えております。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

議論はその程度でいいかな。今この制度は来年もずっと続けていかれるわけですよね。そのままで、はいですかどうですか。

○ 議長 喜久里猛

比嘉隆教育長。

○ 教育長 比嘉隆

これまで有識者の皆さん方の意見を聞きながら島内を何カ所か回ったわけなんです、現状として厳しいということがございます。ですから次年度以降につきましては、里親制度というのは本当にお願いできる箇所があるのか、そのへんは私の方から今何も申し上げることができませんが、たいへん厳しいような状況にあります。

○ 議長 喜久里猛

6番安村達明議員。

○ 6番 安村達明議員

今の状況では、あまり突っ込んででもなんでしようから、ただ私の方から自分が名桜大学ができたときに、あのときは何十年前のときに、今帰仁自動車学校の親父が元今帰仁の議員で議長でもあったんですが、その方が名桜大学を創設しようとしたら受入体制がないということでベルモア東洋というホテルがあって、一つのホテルを借り切ったというか、そういうようなかたちをとって学生を入れてそこから順序よく学生寮が寮を造るまでに至ってきた経緯があるんですね。ですから久米島にも小さなホテルとか、民宿とか、こういう下宿制度ができるようなところがあると思うんですよ。学校もあるし、そしてもし家庭で受入体制ができないようなかたちになってくると今度は寮母制度しかないと思うんですよ。人の子どもを預かって3年間預かるのは、ただごとではありませんよ。

例えて言うと那覇からオジー、オバーいるから久米島から免許取りたいと来ても1週間持ちませんよ、ケンカして、さっと帰っていなくなったり。今の人間関係そのぐらい難しいもんですから、子どもたちを受け入れて魅力ある学校にして、久米島高校を存続させたいと思うのであれば、やっぱり受入態勢というそこから一番最初に初めて、みんなで考えていくようなことを考えていかなければならないと思っております。

もう答弁いりませんから、ですから大学の関係のかたちもありますので、いろいろなことを利用して久米島高校の学生を多くしてできるように教育長、頑張ってください。

それから最後に町長、もう最後ですから、

あなたに話したい。議員は全部知っています
議員は全員。この前の研修のとき、八重山ヒ
ジュルーという話を聞きました。ウチナー方
言の八木正男先生のね、なかなかおもしろい
と思いました。話知っていますか、八重山ヒ
ジュルーの言われというもの知らないよね。
しゃべりましょね。人頭税を課せられて朝
から晩まで牛馬みたいに働かされて、お家
の中がいつも空っぽ、いつ訪ねて行っても空
っぽヒジュルコーコー、これの習わしで八重山
は八重山ヒジュルー、こうなったらしいです。

はい、本題に入りましょう。町長2、3年
前に久米島はオヒジュルーと言われた、誰か
に言われたでしょう？ 忘れた？ 副町長、
覚えていないか。どうですか。どこかの企業
の大物に言われたんでしょう。忘れた？ 2、
3年前ですから誰かに聞いて思い出して、後
でもいいから答弁して下さい。2、3日後待
っておきますから。はい、以上です。終わり
ます。

(安村達明議員降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで6番安村達明議員の一般質問を終わ
ります。

以上で一般質問は終了しました。

本日の日程は全て終了しました。

本日はこれにて散会します。

お疲れ様でした。

(散会 午後4時18分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号5番） 宇江原 総 清

署名議員（議席番号6番） 安 村 達 明

平成26年（2014）

第2回久米島町議会定例会

3日目

3月25日

平成26年第2回久米島町議会定例会

会議録 第3号

招集年月日	平成26年3月25日 (火)			
招集の場所	久米島町議会議事堂			
開散会日時 及び宣言	開会	3月25日 午前10時12分	議長	喜久里 猛
	散会	3月25日 午前10時52分	議長	喜久里 猛
応招議員 出席議員 出席14名 欠席名	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	棚原 哲也	8番	島袋 完英
	2番	幸地 猛	9番	崎村 正明
	3番	平良 義徳	10番	饒平名 智弘
	4番	翁 長 学	11番	山里 昌輝
	5番	宇江原 総清	12番	仲村 昌慧
	6番	安村 達明	13番	玉城 安雄
	7番	喜久村 等	14番	喜久里 猛
(不応招) 欠席議員				
会議途中退席議員	番		番	
開議後出席議員	番		番	
公務欠席議員	番		番	
	番		番	
会議録署名議員	11番	山里 昌輝	12番	仲村 昌慧
職務のため会議に 出席した者	職名	氏名	職名	氏名
	事務局長	仲地 泰		
	係長	吉永 千枝美		
地方自治法第121条により説明のため議場に参加した者の職氏名				
職名	氏名	職名	氏名	
町長	平良 朝幸	教育課長	保久村 学	
副町長	大田 治雄	環境保全課長	佐久田 等	
教育長	比嘉 隆	建設課長	真栄平 建正	
総務課長	桃原 秀雄	産業振興課長	仲村渠 一男	
町民課長	平良 朝幸	農業委員会事務局長	上江洲 勝志	
プロジェクト推進室長	中村 幸雄	上下水道課長	津波 実	
税務課長	田端 智	消防長	上里 浩	
福祉課長	山城 保雄	行政改革推進室長	平 明	
会計管理者	儀間 由紀			

平成26年 第2回久米島町議会定例会

議事日程 [第3号]

平成26年3月25日(火)

午前10時12分 開会

日程	議案番号	件名	頁
第1		会議録署名議員の指名(久米島町議会会議規則第120条)	129p
第2	議案第10号	平成26年度久米島町一般会計予算について	129p
	議案第11号	平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算について	129p
	議案第12号	平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算について	129p
	議案第13号	平成26年度久米島町水道事業会計予算について	129p
	議案第14号	平成26年度久米島町下水道事業特別会計予算について	129p
第3	議案第30号	寄付により取得した土地の所有権確認に関する和解について	134p
第4	同意第1号	教育委員会委員の任命について	135p
第5	報告第1号	議員定数調査特別委員会報告について	136p
		閉会	138p

(午前 10時12分 開議)

○ 議長 喜久里猛

おはようございます。予定より若干遅れましたが、これより本日の会議を開きます。本日の議事日程は予めお手元に配布したとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○ 議長 喜久里猛

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、11番山里昌輝議員、12番仲村昌慧議員を指名します。

日程第2 平成26年度久米島町一般会計予算

平成26年度久米島町国民健康
保険特別会計予算

平成26年度久米島町後期高齢者
医療特別会計予算

平成26年度久米島町水道事業別
会計予算

平成26年度久米島町下水道事業
会計予算

○ 議長 喜久里猛

日程第2、議案第10号、平成26年度久米島町一般会計予算。

議案第11号、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算。

議案第12号、平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算。

議案第13号、平成26年度久米島町水道事業会計予算。

議案第14号、平成26年度久米島町下水道事業特別会計予算についてを一括議題としま

す。

以上の5件については審査を予算審査特別委員会に付託してありましたので、予算審査特別委員長の報告を求めます。

安村達明予算審査特別委員長。

(安村達明予算審査特別委員長登壇)

○ 予算審査特別委員長 安村達明

平成26年度予算審査特別委員会委員長報告を行います。予算審査特別委員会委員長の安村達明でございます。3月5日の本会議において、予算審査特別委員会に付託されました議案は、議案第10号、平成26年度久米島町一般会計予算。

議案第11号、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算。

議案第12号、平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算。

議案第13号、平成26年度久米島町水道事業会計予算。

議案第14号、平成26年度久米島町下水道事業特別会計予算の5会計予算であります。

3月7日、10日の2日間にわたり、各款ごとに予算科目を分割して行いました。

執行部から関係職員の出席のもと、慎重に審査を行いました。予算審査特別委員会で多くの質疑がありましたが、その中から要点を抜粋してご報告します。

まずはじめに、平成26年度久米島町一般会計予算の審査状況の概要について報告します。

新年度の予算総括を見ますと、全体で約2億9千200万円のびているが、どのように予算編成したのか。との質疑に対し、予算編成は、シーリング方式ではなく積み上げ方式で査定しました。という答弁でした。

一括交付金の中に、畜産事業を計上できなかった理由はなにか、との質疑に対し、個人の資産形成にあたり一括交付金の交付要件に合致しないと指摘があり、計上しませんでした。新年度は、優良雌牛導入事業を農協をとおしてのリース方式で行います。という答弁でした。

公民館修繕管理事業として、297万6千円計上されているが、どの字の公民館の修繕費なのか。との質疑に対し、字大田、字大原、字泊から修繕要請があり、見積の約8割を予算計上しています。との答弁でした。

グリーンビュー阿里地区の維持管理費に50万円を計上されているが、その根拠と年何回、掃除をするのか。との質疑に対し、1日1人7千900円で、1日1区画を清掃する見積で、年2回、実施する予定です。という答弁でした。

大綱曳きが実行委員会で、3年に1回実施することに決まったようですが毎年できないか。との質疑に対し、地域や町民から相当な負担を感じたとの意見があり、3年に1回実施することに決まりました。回を重ね毎年実施に繋げたい。という答弁でした。

F M久米島の電波が入らない地域があり、行政情報などに不公平さが生じている。対策を講じて欲しい。との質疑に対し、全島ワイファイを利用した放送で不感地帯の解消がクリアーできないか確認しているところです。という答弁でした。

新築後、固定評価の結果を開示できるか。との質疑に対し、開示は基本的にできません。4月の縦覧期間に情報を公開します。という答弁でした。

社会福祉協議会の移転に要する費用が予算

措置されていませんが、どう対応するのか。との質疑に対し、久米島中学校跡に移転することは、内部決定しています。6月補正予算で措置します。という答弁でした。

環境衛生費が前年比で900万円あまり増となっているが、その要因は何か、との質疑に対し、大きな要因は、北原にあった最終処分場の廃止届けに伴う水質調査委託料181万円、ボーリング調査委託料150万円、一般廃棄物処理基本計画策定業務委託料の441万円が主な要因です。という答弁でした。

アーサムシの防除確立研究調査事業等で202万円計上しているが、効果が期待できるのか、との質疑に対し、専門的な機関の助言が受けられる民間会社に調査委託し、本格的に調査いたします。との答弁でした。

町民の健康増進のため地域支援事業配食サービスの対象をひろげることができないか。との質疑に対し、配食弁当は、かなり予算がかかります。バランスの取れた食事を作れるように自立支援していきたい。という答弁でした。

法人保育所支援事業で高額の前算が計上されているが保育士などの処遇は、改善されたのか、との質疑に対し、処遇改善の補助金もありましたが、それに対する補助金は要らないとのことで返還しました。処遇改善には至っていません。という答弁でした。

ビーチクリーナーの導入整備事業に1千300万円計上されているが、クリーナー導入後、管理運営をどのような方法でやるのか、との質疑に対し、導入後は、町が直接、管理運営し臨時的に賃金職員を雇用して対応していく計画です。との答弁でした。

青年農業給付金事業と新規就農一環事業と

は、どのような事業内容か、との質疑に対し、青年農業給金は、新規就農者で250万円以下の所得者に対し、給付される事業です。新規就農一環事業とは、機械などの設備を一回限定で購入できる事業です。との答弁でした。

久米島高校の里親補助金が96万円計上されているが、一ヵ月で1人の補助金は、いくらになるのか、そしてその保護者の負担額は、いくらになるのか、との質疑に対し、1人あたり、2万円の補助をいたします。保護者の負担額は、4万円を予定しています。との答弁でした。

久米島初の女性消防官が誕生しますが、期待しているところは？。との質疑に対し、救急患者の41%が女性です。プライバシーやデリケートな面について、躊躇することなく対応できるものと期待しています。との答弁でした。

次に、平成26年度久米島町下水道事業特別会計予算について。

現在、下水道の接続率は、何パーセントか、接続率をどのように高めていく考えなのか。という質疑に対し、イーブ地区が58.6%・仲泊地区が58.0%で町全体で58.3%の接続率となっています。FM久米島、広報誌、チラシや区長会をとおして接続を呼びかけていきたい。という答弁でした。

下水道敷設計画と平行して、各戸の接続に対する考え方を収集しているか。との質疑に対し、柵の位置の承諾は取っているのですが、接続の確認は取っていません。今後、接続意思確認まで、やっていきたいと思います。との答弁でした。

次に、平成26年度久米島町水道事業会計予算について。

現在、棚卸しは年何回、実施しているか、また、4月から消費税が上がるが、どのように課税するのか。という質疑に対し、棚卸しは、年1回、実施しています。また、消費税は、水道料金を算定した金額に8%加算していきます。という答弁でした。

繰越滞納が多くあるが、大口の収納は、どうなっているか。との質疑に対し、9千953万円あった滞納繰越額の内、5千422万円収納があり、残り3千500万円余りとなっています。大口で収納が進まない事業所があり今後も努力をしていきます。との答弁でした。

次に、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算について。

家族が別の保険に加入している場合でも他保険料の滞納督促が、世帯主に届くが、改善はできないか。という質疑に対し、制度上そうなっています。町民への周知の必要を感じている。という答弁でした。

消費税が上がり、物価も上がる情勢の中、葬祭費の補助も改正する考えはないか。との質疑に対し、国全体、県全体の中で額が決まっていますので、議論の場があれば、これを念頭に協議してきます。との答弁でした。

次に、平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算について。

後期高齢者の医療費が引き上げられるが、町の対応はどうなっているか、対象者から相談はないか。との質疑に対し、限度額は引き上げられますが、保険料が上がるとは聞いていません。また、住民からの問い合わせもありません。との答弁でした。

その他、町税、水道料、下水道使用料等の滞納繰越分については、徴収率向上を図り、町の収入財源の確保に向けて、最大限の努力

をするようにと、各委員から強い要望がありました。

以上が予算審査特別委員会に付託されました、一般会計、水道事業会計、特別会計について、質疑の概要を申し述べました。予算審査特別委員会でたくさんの質疑が出ましたが、多くの面で割愛させていただきましたことをご容赦下さい。

質疑を終了し、討論に入りましたが、賛成、反対の討論はありませんでした。

続いて採決に入り、議案第10号、議案第11号、議案第12号、議案第13号、議案第14号は、全委員をもって原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で委員長報告は終わります。

(安村達明予算審査特別委員長降壇)

○ 議長 喜久里猛

以上で委員長の報告を終わります。

委員長報告に対する質疑を省略したいと思います。

ご異議ありませんか。

(多数の「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。従って、委員長報告に対する質疑は省略することに決定しました。

これから討論を行います。

まずはじめに、議案第10号、平成26年度久米島町一般会計予算についてを議題とします。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

2番幸地猛議員。

反対、賛成、どちらですか。

○ 2番 幸地猛議員

賛成。

○ 議長 喜久里猛

反対討論ありますか。

はい、幸地猛議員

○ 2番 幸地猛議員

それでは平成26年度久米島町一般会計について、次の条件を付して、賛成討論を行います。

まず1点目に、第1次総合計画との関連ですが、今年度で第1次総合計画は終了いたします。引き続き第2次久米島町総合計画、基本構想、基本計画、実施計画が策定されて予算編成が出されるべきだと考えています。町行政の基本中の基本、総合計画が作例されないうまま平成26年度予算が策定されているということであります。第1次久米島町総合計画の基本構想は久米島町の将来あるべき姿を展望し、長期にわたる町づくりの根幹となる構想で各種計画の基礎となるものです。計画期間は10年であり目標年次は2013年とします。となっております。

以下、それに基づいて基本計画、実施計画は策定されて、それを基本に予算編成がなされるのが、正当なものだと思いますが、このような行政が執行されることは非常に残念なことだと考えています。これは久米島町が一番、根幹となる総合計画を蔑ろにして行政が進めていると言われても仕方がないと思います。

総合計画の重要さを常に認識して、業務にあたれば防げることははずです。総合計画を策定しないで予算編成がなされている市町村他にはありえないと考えております。ここで執行部の猛省を促したいと思います。

2点目に繰越明許費についてであります。

繰越明許費では新年度に繰り越されるものから平成26年度予算と同等な扱いをされて執行されます。昨年もこのことについて触れましたが、今年も11億円余りの事業繰越があります。繰越の中には、やむを得ないで繰越をされる事業もございますが、ややもすると年度内に予算執行ができなければ繰越手続きを取るという手法が安易な考えがあるのではないのかなという感じがしています。せっかく厳しい予算編成をしたにもかかわらず、昨年も今年も10億円以上の繰越がだされているということでもあります。予算執行にあたっては、年度当初から、しっかり執行計画を立てて取り組めば解消できることだと思っています。

以上2点であります。このことをしっかり認めて今後の行政にあたってもらうことを切に要望しまして、この案に賛成します。

○ 議長 喜久里猛

他に討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第10号、平成26年度久米島町一般会計予算についてを採決します。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案について委員長報告のとおり賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第10号、平成26年度久米島町一般会計予算委員長報告のとおり可決されました。

次に、議案第11号、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算についてを議題とし

ます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第11号、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算についてを採決します。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案について委員長報告のとおり賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第11号、平成26年度久米島町国民健康保険特別会計予算については委員長報告のとおり可決されました。

次に、議案第12号、平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算についてを議題とします。

討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第12号、平成26年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算についてを採決します。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案について委員長報告のとおり賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第12号、平成

26年度久米島町後期高齢者医療特別会計予算については委員長報告のとおり可決されました。

次に、議案第13号、平成26年度久米島町水道事業特別会計予算についてを議題とします。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第13号、平成26年度久米島町水道事業会計予算についてを採決します。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案について委員長報告のとおり賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第13号、平成26年度久米島町水道事業会計予算については委員長報告のとおり可決されました。

次に、議案第14号、平成26年度久米島町下水道事業特別会計予算についてを議題とします。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第14号、平成26年度久米島町下水道事業特別会計予算についてを採決します。

本案に対する委員長報告は、原案可決であります。

本案について委員長報告のとおり賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第14号、平成26年度久米島町下水道事業特別会計予算については委員長報告のとおり可決されました。

日程第3 寄付により取得した土地の所有権確認に関する和解について

○ 議長 喜久里猛

日程第3号、議案第30号、寄付により取得した土地の所有権確認に関する和解についてを議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

おはようございます。それでは議案30号についてご説明申し上げたいと思います。

まず説明に入る前に場所についてですが、これは県道一周線の阿嘉の高架橋の工事に伴う場所になります。よろしくお願ひしたいとおもいます。

寄付により取得した土地の所有権確認に関する和解について

次の通り寄付により取得した土地の所有権確認に関する和解について、地方自治法第96条第1項第12号の規定により議会の議決を求める。

1. 事件名

寄付により取得した土地の所有権確認

2. 申立人及び相手方

(1) 申立人

沖縄県島尻郡久米島町字比嘉2870番地

久米島町

(2) 相手方

沖縄県南城市佐敷字新里602番地の3

連絡先 沖縄県島尻郡与那原町字与那
原3668番地

氏名 上原武戸

同不在者財産管理人 上原浩一

(3) 相手方

沖縄県南城市佐敷字新里602番地の3

連絡先 沖縄県島尻郡与那原町字与那
原3668番地

氏名 平田ウト

同不在者財産管理人 上原浩一

3. 和解の内容

これは別紙1、別紙2にありますとおりで
あります。ご参照ください。

平成26年3月25日 提出

久米島町町長 平良朝幸

提案理由であります。寄付により取得し
た土地の所有権について、町が所有権を有す
ることを確認する和解するためには地方自治
法第96条第1項の規定により議会の議決を必
要とする。これがこの議案を提出する理由で
あります。

なお、別紙1に和解内容、物件目録、同じ
く別紙2に和解内容、物件目録を添付して
おります。ご審議よろしくお願いたします。

(大田治雄副町長降壇)

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから議案第30号、寄付により取得した
土地の所有権確認に関する和解についてを採
決します。

本案は、原案可決することに賛成の方は挙
手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、議案第30号、寄付
により取得した土地の所有権確認に関する和
解については原案のとおり可決されました。

○ 議長 喜久里猛

休憩します。(午前 10時37分)

○ 議長 喜久里猛

再開します。(午前 10時39分)

日程第4 教育委員会委員の任命について

○ 議長 喜久里猛

日程第4号、同意第1号、教育委員会委員
の任命について議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

大田治雄副町長。

(大田治雄副町長登壇)

○ 副町長 大田治雄

同意第1号、教育委員会委員の任命につい
て、下記のことを教育委員の会委員に任命し
たいので、地方教育行政の組織及び運営に関
する法律、第4条第1項の規定により議会の
同意を求める。

記

住 所 久米島町宇江城1175番地の3

氏 名 平良弘光

生年月日 昭和32年11月26日

平成26年3月25日 提出

久米島町長 平良朝幸

提案理由

現教育委員の當間裕子氏が平成26年3月31日付けで辞職するので、その後任を任命するため地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により議会の同意を得る必要がある。これがこの議案を提出する理由であります。

2枚目以降に教育委員の任命についての資料、そして学歴書、そして先ほどありました確認書、刑罰等の調書を添付しております。

(大田治雄副町長降壇)

ご審議よろしくお願いたします。

○ 議長 喜久里猛

これで提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

○ 議長 喜久里猛

討論なしと認めます。

これから同意第1号、教育委員会委員の任命についてを採決します。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、同意第1号、教育委員会委員の任命については原案のとおり可決されました。

日程第5 議員定数調査特別委員会報告について

○ 議長 喜久里猛

日程第5 報告第1号、議員定数調査特別委員会報告についてを議題とします。本案については議員定数調査特別委員会の調査が終了しましたので、平良義徳委員長に報告を求めます。

(平良義徳委員長登壇)

○ 委員長 平良義徳

報告第1号

議員定数調査特別委員会報告について
議員定数調査特別委員会の調査を終了したので、会議規則第41条に基づき別紙のとおり報告します。

平成26年3月25日

久米島町議会議長 喜久里猛殿

議員定数調査特別委員会委員長 平良義徳
議員定数調査特別委員会報告

第2次久米島町行政改革大綱及び行政改革行動プランに基づき久米島町議会として、議員定数について調査するため、地方自治法上の根拠を有する議員定数調査特別委員会を設置し調査をすることになり、平成25年9月定例議会において議員定数調査特別委員会に関する決議をし、7名の委員が選出され調査研修、協議をしていくことになりました。

これまで5回の委員会を開催、検討資料として、前回、平成18年から平成19年にかけて調査した議員定数調査の経緯および報告、沖縄県内および全国の類似町村の町村議会の定数状況、国勢人口比較、面積比較、議員1人あたり人口比較、財政力指数、経常収支比率などを比較し、議論を重ねてまいりました。

また、議員全員を対象に「議員定数について」の研修会を開催し、集中的に知識を高めるとともに、議員全体協議会の場に行政改革推進室長の出席を求め、行政改革行動プランで

示された議員定数見直しの考え方について説明を受け、その背景を確認しました。

沖縄県内、町村の議員定数と人口、面積、職員数などのデータを比較し調査をしたが、久米島町の現況に類似した自治体が少ないことから全国に調査を広げ類似団体（人口5,000人～10,000未満）のデータを収集し、調査、協議を重ね次の結果に至りましたので報告します。

調査の当初は、財政面なども含めて比較、協議しましたが、議員定数は、「行革」や「経費削減」などの経費との関係を主たる理由にすべきではなく、町村合併している自治体、町村合併せず独自で振興を模索した自治体があります。類似町村との単純比較ではなく、町村合併を含める人口、面積、交通機関、地域実情などに応じた適正な議員定数を把握することが重要との意見が強く、このことに重点をおき、協議を重ねてまいりました。

全国に類似団体（人口5,000人～10,000未満）が、141団体が存在し、内、議員定数14名と定めている自治体が32団体あり、離島の6自治体が含まれています。

久米島町を含め離島の自治体においては、港湾の管理、水源管理、浄水管理、海岸線保全管理、公立病院の管理運営など広範囲と多岐にわたる行政事務を執行していることから、このことを事件として議会審議にあたる議員についても、幅広い識見と専門性が求められることから議員定数の削減は、議会力の低下につながり、自治体の意思決定において、十分な審議がつくされないことが危惧される。

議会は、自治体の意思決定機関であり、住民を代表して審議、意思決定することになる

ので、久米島町の地域実情にふさわしい数が必要である。議員定数の安易な削減は、議会活動を沈滞させ空洞化させる危険があり、住民の年齢層、性別、職業、各地域から満遍なく、選出された議員で議会構成されていることが望ましく、議員定数を削減した場合、各地域、各階層の議員構成にほどとおく、更に若年層や女性の議会進出が難しくなり、議員定数削減は、広く住民の意思を反映させるといふ議会の代表機能の低下を招きかねないとの考え方で一致しました。

結論としまして、議員定数は合併時32名から18名、18名から14名の変遷の経過において議論がつくされ、議員定数は14名が適正と結論づけられたが、今回の慎重な調査においても、前回同様、議員定数は14名が適正と全委員の意見が一致しました。

以上で委員長報告を終わります。

（平良義徳委員長降壇）

○ 議長 喜久里猛

これで議員定数調査特別委員会報告を終わります。ただいまの委員長報告に対する質疑を省略したいと思います。

ご意義ありませんか。

（多数「異議なし」の声あり）

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

反対討論ありますか。

1 番 棚原哲也議員。

○ 1 番 棚原哲也議員

1 番 棚原哲也でございます。賛成討論を行います。ただいまの議員定数調査報告に賛成の討論を行います。

両村合併後本町議会は32名から18名、18名から14名の変遷で議員定数を削減してきた。

平成19年度の議員定数調査委員会においては、10回の委員会を開催慎重に調査審議が尽くされ、議員定数14名が適正との見解を示したが、著しい社会情勢の変化がないにもかかわらず、再び議員定数の削減の要請があり困惑している。議会の重要な機能は、地域の行政需要を的確に把握して要請に反映させること、行政を監視して地域の均衡ある行政、住民に即応した行政を確保することである。町長をはじめとする執行部に議会の存在意義が理解されていないことが窺え、大変、残念である。財政状況を背景に、一定の先入観の下に議員定数削減を善とする考え方は本末転倒であり、議員定数削減は議会力の低下につながり、住民のための民主政治と議会運営を阻害するものである。

よって、委員長報告に賛成し、討論を終わります。

○ 議長 喜久里猛

他に討論ありませんか。

討論なしと認めます。

これから報告第1号、議員定数調査特別委員会報告についてを採決します。

本案は、委員長報告のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○ 議長 喜久里猛

全員挙手です。従って、報告第1号、議員定数調査特別委員会報告については委員長報告のとおり可決されました。

閉会中の議員の派遣について

○ 議長 喜久里猛

次に閉会中の議員の派遣についてをお諮りいたします。

本件については沖縄県公認会計士会主催の公会計特別研修会に閉会中の議員派遣をしたいと思います。

これにご意義ありませんか

(多数「異議なし」の声あり)

○ 議長 喜久里猛

異議なしと認めます。よって、閉会中の議員派遣については、決定されました。

○ 議長 喜久里猛

以上で本日の議事日程は全て終了しました。

3月5日から長期に渡りました本定例会は予定されておりました全議案が議員各位並びに執行部のご協力により、無事終了することができました。ここに深く感謝申し上げます。

これにて、平成26年第2回久米島町議会定例会を閉会します。

お疲れ様でした。

(閉会 午前10時52分)

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

久米島町議会議長 喜久里 猛

署名議員（議席番号11番） 山里 昌輝

署名議員（議席番号12番） 仲村 昌慧